

# 神青協

NO. 130

発行日 令和2年3月31日

発行者 神道青年全国協議会



令和の御大典  
奉祝事業特集



# 令和の御大典奉祝事業特集

## 目次

会長挨拶……………

3

### 令和元年度 令和の御大典奉祝事業

東京都神道青年会……………	6	三重県神道青年会……………	23	岡山県神道青年協議会……………	43
神奈川県神道青年会……………	7	静岡県神道青年会……………	25	広島県青年神職会……………	44
埼玉県神道青年会……………	8	岐阜県神道振興会……………	27	山口県青年神職会……………	45
群馬県神職青年会……………	9	長野県神道青年会……………	28	徳島県青年神職会……………	46
千葉県神道青年会……………	10	新潟県神道青年協議会……………	29	香川県神道青年会……………	47
茨城県神道青年会……………	11	福井県神道青年会……………	31	愛媛県神道青年会……………	49
栃木県青年神職むすび会……………	12	石川県神道青年会……………	33	高知県神道青年会……………	50
山梨県神道青年会……………	13	富山県神道青年会……………	34	長崎県神道青年会……………	51
北海道神道青年協議会……………	15	京都府神道青年会……………	35	福岡県神道青年会……………	52
宮城県神道青年協議会……………	16	大阪府神道青年会……………	36	大分県神道青年会……………	53
福島県神道青年会……………	17	兵庫県神道青年会……………	37	佐賀県神道青年会……………	54
岩手県神道青年会……………	18	奈良県神道青年会……………	38	熊本県神道青年会……………	55
青森県神道青年会……………	19	滋賀県神道青年会……………	39	宮崎県神道青年会……………	56
山形県神道青年会……………	20	和歌山県神道青年会……………	40	鹿児島県神道青年会……………	57
秋田県神道青年協議会……………	21	鳥取県神道青年会……………	41	沖縄県神道青年会……………	58
愛知県神道青年会……………	22	島根県神道青年協議会……………	42		

### 平成三十年度 中央研修会

第一講 「神に仕えて想うこと 〜鹿島の神と水戸の教え、そして鹿島神宮の中今〜」	60
第二講 「現代社会と氏子 〜科学の力と祈りの力〜」	71
第三講 「氏子の未来とまちづくり 〜神社を中心とした地域活性化の可能性〜」	83
株式会社 Orairiクリエイティブマネジメント代表取締役 常盤 良彦 先生	
割烹旅館 肴屋本店代表 大里 明 先生	
『ガールズ&パンツァー』プロデューサー 杉山 潔 先生	
脳科学者・医学博士・認知科学者 中野 信子 先生	
鹿島神宮 宮司 鹿島 則良 先生	

### 令和元年度 夏期セミナー

第一講 「践祚大嘗祭の基礎知識」	101
第二講 「言論界における左派・右派の現状と その対立を超えてゆく方法」	115
第三講 「SDGsの概要と政府の取組」	123
役員紹介（令和元年・二年度）……………	130
活動報告（令和元年度）……………	131

## 第三十一代会長挨拶



神道青年全国協議会 会長 金田 祐季

特別な中にも特別な「中今」を皆様と共に歩める喜びを噛みしめて  
みます。申すまでもなく、御代替りといふ特別な時です。

今上陛下におかせられました。昭和から平成の御代替りの折には、全国各地の  
践祚遊ばされました。昭和から平成の御代替りの折には、全国各地の

御社で放火事案が相次ぐなど不穏な動きもあつた中で、会員各位には御譲位の安泰を願ひ、警戒を強められたことと思ひます。また、一部の心ないメディアや論調から、奉祝ムードに水を差す動きがでることへの懸念もあつたこととせう。しかしながら、今次の御代替りにおいては、大過なく国民挙つて奉祝の内に御大礼の諸儀式が齎行されました。大嘗祭後の大嘗宮一般参観では、平成時を大凡三十四万人上回る、七十七万二千人が拝観されたさうです。皇室への敬慕と関心が愈々高まつてゐることの一つの証左ではないでせうか。

これも偏に、今より七十余年前、敗戦を機に国家並びに神社神道存亡の機に立たされた我が先達が、皇室、国家、神社神道存続に奔走し、爾来、先輩諸賢の弛みない努力と、積極果敢な活動により今日まで奮闘されてきた足跡によるものであることを私達は決して忘れてはならないでせう。

さうした先輩方の思ひを受け継ぎ、御代替りといふ特別な時に臨むにあたり、神青協では国民等しく奉祝の内に御大礼の諸儀式が恙なく齎行されることを活動の柱とし、各単位会にはその機運醸成に努めていただくやう呼

びかけてまゐりました。

令和元年八月三十日正午、「天下大祓(てんかおほはらへ)」を古例に則り、名称、日時を選定し、全国単位会同日同時刻一斉齋行。大嘗祭の恙ない齋行を祈念申し上げるのは勿論のこと、プレスリリースを勧奨し、大嘗祭が国家的重儀であること、神社祭祀が宮中祭祀と連動してゐることを知らしめること等を目的に行ひました。単位会においては、それぞれの地域の特色を活かし、まさに日本全国海川山野で祓ひの儀式を行つていただきました。参集困難な会員には、奉務神社で、職場で、ご家庭で、場所を問はず大祓詞を奏上いただきました。さうした全国会員の赤誠が少しでも大御心に沿ひ奉り、大嘗祭の恙ない齋行に寄与できたならば望外の喜びです。

また、単位会においても様々な奉祝事業を実施いただき、奉祝の機運醸成に努めていただいたことは誠に有り難く、頼もしく、感謝の念に堪へません。時代が移ろひ、斯界を取り巻く状況が刻一刻と厳しさを増していく中で、時に将来を悲観してしまふこともありませんが、全国同志諸君がゐるならば、どのやうな時代を迎へようとも、どれだけ大きな壁が立ちはだからうとも、絶対に乗り越えていける、さう確信することができました。

そして御代替りと併せ、もう一つの特別な「中今」を歩んでゐます。それは、神青協創立七十周年といふ特別な時です。

平成三十一年四月十七日、畏くも彬子女王殿下の御台臨を仰ぎ、神道青年全国協議会七十周年記念大会を開催させていただきました。全国の同志が集ひ、歴々の諸先輩方にも駆けつけていただき、多くの祝意と励ましを頂戴致しました。また、記念事業の一環として、沖縄県波照間島にて御大典奉祝国家平安祈願祭を齎行し、参列者一同心一つに祈り捧げました。かうして神青協の足跡を辿り、先輩方の熱情に触れる度、更なる活動に邁進していかうとの決意を新たに致してをります。

価値観が多様化する昨今。かつてのやうに右派と左派、保守と革新といふ二極の対立構造で語ることはもはや困難です。また、日本社会のみならず、世界的にも国家を超えた共通の課題が山積致してをります。かうした背景を踏まへ、本会報が、今を生きる我々と、未来を担ふ青年会員の行く手を照らすものとなることを願つてをります。



**天下大祓**

〔期 日〕 令和元年八月三十日  
〔場 所〕 亀戸天神社（参加者五十名）  
〔内 容〕 境内にて大祓詞を奏上。

**創立七十周年記念事業**

**「米作り神事・塩作り神事」**

〔期 日〕 令和元年五月〜十一月十五日  
〔場 所〕 都内各社・伊豆大島・栃木県  
〔内 容〕 会員の手で米・塩を作り、都内各社へ奉納し、大嘗祭当日祭の神饌としてお供へしてもらった。



# 令和の御大典

奉祝事業特集



### 天下大祓

〔期 日〕令和元年八月三十日  
〔場 所〕武蔵一宮氷川神社（参加者会員二十四名・一般約百三十名）  
〔内 容〕舞殿にて天下大祓を奉仕。

関東地区

## 埼玉県神道青年会

関東地区

## 神奈川県神道青年会



### 天下大祓

〔期 日〕令和元年八月三十日  
〔場 所〕鶴岡八幡宮（参加者三十名）・御嶽神社（参加者十名）  
〔内 容〕各御社にて大祓詞を奏上。

### 令和二年歌始会・詠進

〔期 日〕令和元年七月末～九月十五日  
〔内 容〕今上陛下の仰せされたお題「望」の歌を詠み、宮内庁へ提出。

### 天皇家下御即位奉祝パネル展

〔期 日〕令和二年七月十三日～十四日  
〔場 所〕横浜そごう新都市プラザ  
〔内 容〕今上陛下の皇太子時代からの足跡を辿り、諸祭儀の様子をパネル展にて発信。



関東地区  
千葉県神道青年会

天下大祓

【期 日】令和元年八月三十日  
【場 所】玉前神社（参加者会員十二名・一般十三名）  
【内 容】雨天のため玉前神社参集殿にて大祓詞を奏上。



御大典奉祝事業 教養研修会

「近代の神社神道と大嘗祭」

【期 日】令和元年九月三十日  
【場 所】千葉県神社庁（参加者十九名）

天皇陛下御即位 記念植樹

【期 日】令和二年三月  
【場 所】千葉県各地  
【内 容】特に台風被害の大きかった神社に力を入れて行った。

関東地区  
群馬県神道青年会



天下大祓

【期 日】令和元年八月三十日  
【場 所】烏子稲荷神社（参加者会員八名・一般七名）  
【内 容】会長の本務神社にて斎行。祭員四名。  
（次第：手水、参進、修祓、大祓詞奏上、天下大祓、退下）





関東地区  
栃木県青年神職むすび会

新帝陛下御即位奉祝御朱印展

～栃木の神社巡り～

【期 日】令和元年五月十四日～二十日

【場 所】東武宇都宮百貨店

【内 容】御大礼関連パネルの  
展示と冊子の配布。

天下大祓

【期 日】令和元年八月三十日

【場 所】栃木県神社庁神殿



関東地区  
茨城県神道青年会



天下大祓

【期 日】令和元年八月三十日

【場 所】筑波山女体山山頂（参加者十六名）

鹿島神宮（参加者八名）

大甕神社（参加者十一名）

【内 容】各御社にて大祓詞を奏上。





**奉祝天皇陛下御即位  
令和元年度山梨県神社関係者大会**

〔期 日〕 令和元年十一月十八日  
〔場 所〕 YCC 県民文化ホール（参加者十六名）  
〔内 容〕 「天皇陛下御即位奉祝祭」に祭員、伶人奉仕。

**大嘗祭に際し  
神社庁神殿にて  
行ふ祭祀**

〔期 日〕 令和元年十一月十一日  
〔場 所〕 山梨県神社庁（参加者七名）  
〔内 容〕 山梨県神社庁が主体となつて  
行ふ奉祝祭祀に献幣使随員、  
祭員、伶人奉仕。

**天皇陛下御即位奉祝  
山梨県民大会**

〔期 日〕 未定  
〔場 所〕 山梨県庁噴水広場  
〔内 容〕 山梨県神社庁が主体となつて行ふ奉祝事業に助勢。



**山梨県神道青年会**



**天下大祓**

〔期 日〕 令和元年八月三十日  
〔場 所〕 北口本宮富士浅間神社（参加者十名）  
〔内 容〕 会長奉務神社にて大祓詞を奏上、  
都合により来られない会員は各奉務  
神社にて奏上。



東北地区  
宮城県神道青年協議会

皇居勤労奉仕

【期 日】令和元年五月二十日～二十四日  
【場 所】皇居（参加者二十三名）  
【内 容】当会設立七十周年事業として、熊谷会長他二十二名にて皇居勤労奉仕を行った。

天下大祓

【期 日】令和元年八月三十日  
【場 所】宮城県神社庁（参加者十九名）  
【内 容】宮城県神社庁神殿前にて熊谷会長他十八名により大祓詞を奏上した。

天皇陛下御即位をお祝ひする  
宮城県民大会

【期 日】令和二年四月十一日  
【場 所】電力ホール  
【内 容】奉祝実行委員会によるパレードと奉祝大会開催に際しての助勢。



北海道地区  
北海道神道青年協議会



天皇陛下御即位奉祝

『みんなで祝おう  
〜平成から令和へ〜』

【期 日】令和元年五月二日  
【場 所】アリオ札幌（参加者五十二名）  
【内 容】更なる奉祝の気運を高めるべく、複合型商業施設にて特にこれからの日本の未来を担ふ若ひ世代や子供たちにむけて雅楽・松前神楽・和太鼓の演奏・餅まき等を行った。  
また、奉祝記帳所を設け、千二百一名が記帳。記念品として国旗小旗等を配布。約三千名が来場した。

天下大祓

【期 日】令和元年八月三十日  
【場 所】北海道神宮頓宮  
（参加者会員二十九名・一般百五十名）  
【内 容】北海道神宮頓宮境内にて天下大祓を執行。ポスターを作成し、広く一般に案内した。一般参列者には記念品（天下大祓記念木札）を用意した。  
大祓式は齋主以下祭員六名で奉仕、その他神青会員は白衣白袴にて参列した。





東北地区

## 岩手県神道青年会

### 岩手県御大礼奉祝式典

〔期 日〕 令和元年十一月十七日  
 〔場 所〕 岩手県公会堂  
 〔内 容〕 岩手県御大礼奉祝会（会長・達増拓也岩手県知事）主催により、県民約千名参集のもと代表の祝辞や青少年を中心とする伝統芸能で、祝意を表した。



### 天下大祓

〔期 日〕 令和元年八月三十日  
 〔場 所〕 駒形神社（参加者九名）  
 〔内 容〕 会員九名にて奉仕、岩手県神社庁奥州支部長・山下明様以下八名参列。

### 天下大祓

〔期 日〕 令和元年八月三十日  
 〔場 所〕 春日神社（参加者十六名）  
 〔内 容〕 会員十六名が参加し天下大祓を齎行した。

### 奉祝懸垂幕作成・頒布

〔期 日〕 令和元年五月一日  
 〔内 容〕 県内各社へ頒布。県内総代の会社・家庭への頒布推進。県内外関係者への頒布推奨。



東北地区

## 福島県神道青年会





東北地区  
山形県神道青年会

天下大祓

- 〔期 日〕 令和元年八月三十日
- 〔場 所〕 山形県護国神社  
(参加者会員十名・職員六名・一般八名)  
日枝神社(参加者一名)
- 〔内 容〕 山形県神道青年会主催で大祓式を斎行。  
当日参加困難な会員は奉務神社で大祓詞を奏上。

令和の御即位奉祝祭

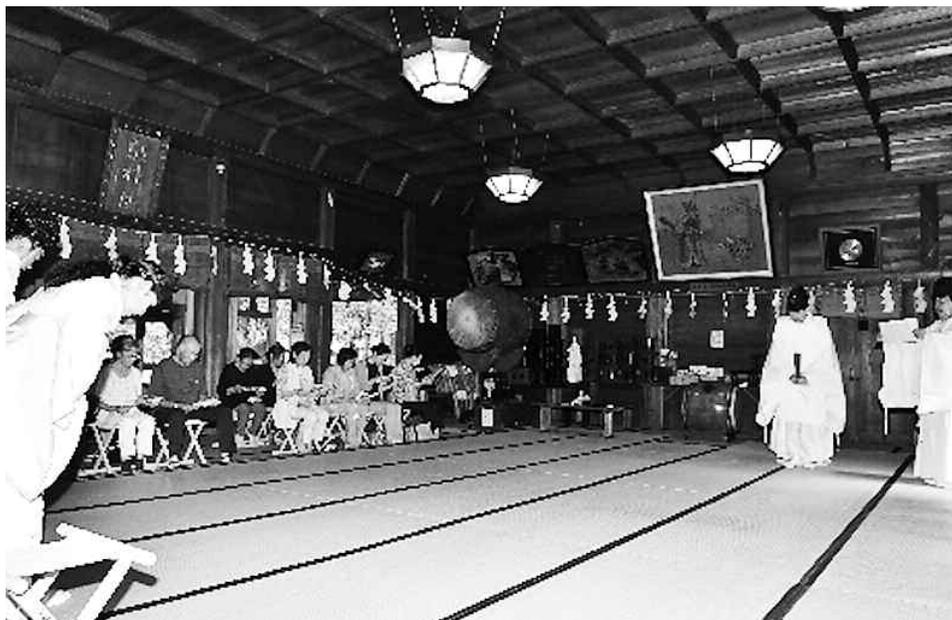
- 〔期 日〕 令和元年十一月八日
- 〔場 所〕 遊学の森(参加者会員二十五名・奉仕協力二名・来賓十五名)
- 〔内 容〕 陛下に由縁の深い県民の森『山形県・遊学の森』にて斎行。  
『第五十三回全国植樹祭』にて上皇后陛下がお手植された大山桜を記念事業として植樹。『第三十八回全国育樹祭』と同様に記念品として地元特産の金山杉で靴べらを作製。

令和の御即位奉祝記念植樹(仮)

- 〔期 日〕 未定
- 〔内 容〕 会員奉仕神社にて植樹を検討中。



東北地区  
青森県神道青年会



県内奉祝事業の写真収集  
及び映像化事業

- 〔期 日〕 平成三十一年四月初旬  
令和二年十二月初旬
- 〔場 所〕 青森県内
- 〔内 容〕 県内各社及び団体の奉祝事業の写真を集集し、映像化。SNSで映像を配信。

天下大祓

- 〔期 日〕 令和元年八月三十日
- 〔場 所〕 猿賀神社(参加者四名)  
岩木山神社(参加者五名)  
岩木山神社奥宮(参加者一名)
- 〔内 容〕 各神社にて合計十名が天下大祓を斎行した。

県内奉祝事業の写真収集及び映像化事業

- 〔期 日〕 未定
- 〔内 容〕 県内各社団体の奉祝事業の写真を更に収集し、映像化。SNSで映像を配信。

写真展

- 〔期 日〕 未定
- 〔場 所〕 青森県内
- 〔内 容〕 県内各社及び団体の奉祝事業の写真を表示し、一般の方にご覧頂く。







**伊奈富神社御大典奉祝  
事業助勢**  
〔期 日〕 令和元年十月二十二日  
〔場 所〕 伊奈富神社（参加者五名）  
〔内 容〕 御大典奉祝提灯行列の当日  
受付や行列誘導。



**御大礼奉祝委員会主催  
記帳所助勢**  
〔期 日〕 令和元年十月二十三～二十七日  
〔場 所〕 神宮宇治橋前（参加者八名）  
〔内 容〕 宇治橋前にて記帳所の受付助勢。



**御大礼奉祝委員会主催  
提灯行列助勢**  
〔期 日〕 令和元年十一月二十一日  
〔場 所〕 神宮宇治橋前（参加者六名）  
〔内 容〕 宇治橋前にて提灯行列誘導などの  
助勢。

## 三重県神道青年会



**天下大祓**  
〔期 日〕 令和元年八月三十日  
〔場 所〕 東岡神社（参加者二十名）  
〔内 容〕 複数人が集まって大祓式を奉仕した。



**創立七十周年記念事業  
記念講演会**  
〔期 日〕 令和元年八月二十四日  
〔場 所〕 三重県総合文化センター  
〔内 容〕 演題「知られざる皇室」  
講師 フリージャーナリスト・  
アナウンサー 久能 靖先生



### 天皇陛下御即位記念奉祝提灯行列

【期 日】令和元年十一月二十七日  
 【場 所】大井神社宮美殿・おび通りからくり時計塔前  
 (参加者二百四十五名)  
 【内 容】一五時～ 奉祝式典  
 一五時三〇～ 提灯行列スタート  
 一九時三〇～ 聖寿万歳三唱

### 三島の天皇陛下御即位奉祝行事

【期 日】令和元年十月二十七日  
 【場 所】奉祝式典 三嶋大社宝物館前広場  
 奉祝パレード  
 三嶋大社社頭～本町交差点～楽寿園北口  
 (参加者約三千名)

### 天皇陛下御即位浜松奉祝大会

【期 日】令和元年十二月七日  
 【場 所】浜松市福祉交流センター  
 【内 容】奉祝コンサート  
 祝賀式典  
 記念講演「平成から令和へ  
 ～今一度天皇について考えよう～」  
 竹田 恒泰先生

## 静岡県神道青年会



### 天下大祓

【期 日】令和元年八月三十日  
 【場 所】富士山本宮浅間大社奥宮(富士山頂上)・同拝殿、県内各所  
 【内 容】大祓詞奉唱。

### 天皇陛下御即位記念

#### 奉祝提灯行列

【期 日】令和元年十月二十二日  
 【場 所】宮美殿～島田市本通三丁目  
 おび通りからくり時計塔前  
 富士山本宮浅間大社・  
 富士宮市内目抜き通り  
 (参加者約千二百名)  
 【内 容】一七時～  
 オープニングセレモニー  
 一八時～  
 提灯行列スタート  
 一九時三〇～  
 聖寿万歳三唱





## 天下大祓

【期 日】令和元年八月三十日  
 【場 所】長野県神社庁神殿（参加者二名）・子壇嶺神社（参加者三十六名）  
 山家神社（参加者十七名）・穂高神社（参加者二十三名）  
 長姫神社（参加者八名）・諏訪大社下社秋宮（参加者五名）  
 【内 容】本庁規定に準じて斎行。

## 講演会

「御代替りについて」  
 【期 日】令和元年八月三十日  
 【場 所】子壇嶺神社（参加者三十六名）  
 【内 容】天下大祓に併せ、長野県神社庁  
 教化講師山崎洋文先生による講演会を行った。

## 県奉祝大会

奉祝パレード助勢  
 【期 日】令和元年十一月二十日  
 【場 所】まつもと市民芸術館く松本城  
 （参加者約八百名）  
 【内 容】県の奉祝大会及び奉祝パレードへの助勢活動。

## 大嘗宮拝観研修

【期 日】令和元年十一月二十六日  
 【場 所】皇居（参加者七名）  
 【内 容】県支部主催の研修に併せて、大嘗宮を拝観した。



## 岐阜県神道振興会



## 天下大祓

【期 日】令和元年八月三十日  
 【場 所】岐阜護國神社（参加者二十四名）  
 【内 容】一、参 進  
 一、報 鼓  
 一、大祓詞奏上  
 一、布麻の儀  
 一、四方祓の儀  
 一、天地祓の儀  
 一、報 鼓

## 天皇陛下御即位

### 奉祝記念事業助勢

【期 日】令和元年十月二十日  
 【場 所】高山市民文化会館  
 【内 容】オープニング  
 浦安の舞  
 第一部 奉祝記念式典  
 開会のことば  
 国歌斉唱  
 奉祝委員会 大会長式辞  
 来賓祝辞  
 来賓紹介  
 聖寿万歳  
 閉会のことば  
 奉祝記念演奏会  
 崇敬真光平成五色太鼓  
 奉祝パレード出発





### 天皇陛下御即位奉祝日の丸パレード 天皇后陛下下行幸啓提灯奉迎

【期 日】令和元年九月十六日  
【場 所】パレード 新潟市中央区内（参加者会員二十名・一般約千名）  
提灯奉迎 信濃川右岸やすらぎ堤公園（参加者会員二十一名・一般約千六百名）

### 天皇陛下御即位 新潟県奉祝式典

【期 日】令和元年十一月二十八日  
【場 所】ANAクラウンプラザホテル新潟  
【内 容】天皇陛下御即位新潟県奉祝委員会主催の事業。  
当日は奉祝委員会代表委員・運営委員、県知事、国会議員、県会議長、県内市町村の首庁や議会議長、各界各方面の団体代表者、協賛者、神社関係者等総勢六百五十名が参集。当会会員は運営スタッフとして参加。

【内 容】天皇后陛下には、九月十六日～十七日にかけて「第三十四回国民文化祭」にいがた2019第九回全国障害者芸術・文化祭にいがた大会」開会式に御臨場並びに地方事情御視察の為、新潟県に行幸啓遊ばされた。これに併せて天皇陛下御即位新潟県奉祝委員会は「奉祝日の丸パレード」並びに「提灯奉迎」を実施。当会会員は運営スタッフとして参加。

## 新潟県神道青年協議会



### 天下大祓

【期 日】令和元年八月三十日  
【場 所】諏訪神社（参加者十八名）  
春日神社（参加者一名）  
【内 容】各社にて大祓詞を奏上し祓へを修した。





**奉祝天皇陛下御即位  
第四十八回  
天皇陛下御誕生日奉祝大会**

〔期 日〕 令和二年二月二十三日  
〔場 所〕 織協ビル大ホール  
（参加者六名・一般約百五十名）  
〔内 容〕 神青会員六名を含む神職十七名が大会運営を助勢。奉祝式典、記念講演。  
講師 月刊「正論」編集長 田北 真樹子先生



**大嘗祭奉祝国旗掲揚活動**

〔期 日〕 令和元年十一月十一日～十五日  
〔場 所〕 福井駅前商店街（参加者十名）  
〔内 容〕 県神社庁臨時大祓齋行前日より三日間に亘り、各組合や商店街連合会の許可を得て、アーケードの支柱に三十本の小旗の国旗を掲揚した。

**臨時大祓・  
天皇陛下御即位奉祝大会**

〔期 日〕 令和元年十一月十二日  
〔場 所〕 福井駅西口広場ハピテラス  
（参加者約千名）  
〔内 容〕 神青会員十六名を含む神職五十名が臨時大祓を奉仕した。大祓前、会場の三〇〇インチの大型ビジョンに神青会の天下大祓が流された。

**福井県神道青年会**



**天下大祓**

〔期 日〕 令和元年八月三十日  
〔場 所〕 午前七時 氣比神宮（参加者二十四名）  
正午 足羽神社（参加者十六名）  
〔内 容〕 継体天皇をお祀りする足羽神社で福井県下を清めるべく、福井の海と九頭龍川足羽川日野川の三大河川の水を禊槽に注ぎ奉仕員が禊齋をし、定刻、雨儀にて庁



には、北陸道総鎮護の氣比神宮にて五畿七道の一つである北陸道の若狭越前を清めるを目的に、宮司や職員を始め、氏子青年会参列のもと大祓詞奏上と大麻にて道の祓いをした。

長を始め宮司や職員、来賓や神政連所属議員代表ら参列のもと天下大祓を齋行した。後に併せて、国歌斉唱、聖寿の万歳をし、皇室の弥栄を願った。又、天下大祓を齋行する前





北陸地区  
富山県神道青年会

奉祝天皇陛下御即位  
献穀田

御田植祭並びに抜穂祭

【期日】令和元年五月十六日、九月二十日  
【場所】水島神明宮並びに宮田  
【内容】天皇陛下御即位を奉祝し神宮に献穀米を奉献する為、神田にて御田植祭、抜穂祭を行った。

天下大祓

【期日】令和元年八月三十日  
【場所】雄山神社峰本社  
【内容】霊山立山の主峰雄山にて大祓詞を奏上、天地を祓った。

奉祝天皇陛下御即位  
献穀田 献穀米奉献参宮

【期日】令和元年十一月二十六日  
【場所】神宮  
【内容】農作業に従事頂いた営農組合の方々と共に献穀米を神宮に奉献した。



北陸地区  
石川県神道青年会



天下大祓

【期日】令和元年八月三十日  
【場所】尾山神社（参加者三十二名）  
白山山頂（参加者二名）  
【内容】各神社にて大祓詞を奏上。



天皇陛下御即位  
石川県奉祝大会

【期日】令和元年十月三十日  
【場所】本多の森ホール、中央公園  
（参加者約二千百名）  
【内容】県内挙げて今上陛下の御即位を奉祝するための、記念式典、奉祝清興（太鼓奏）、奉祝パレード（提灯行列、パトントワリング、吹奏楽など）への助勢。







近畿地区

## 奈良県神道青年会

### 天下大祓

【期 日】令和元年八月三十日  
【場 所】春日大社（参加者十一名）  
【内 容】大祓詞を奉唱した。

近畿地区

## 兵庫県神道青年会



### 天下大祓

【期 日】令和元年八月三十日  
【場 所】生田神社（参加者二十二名）

### 御大典記念教化研修会

～次世代へ守り伝えていく日本の国柄～

【期 日】令和元年十一月二十八日～二十九日  
【場 所】皇居東御苑内大嘗宮・國學院大學渋谷キャンパス・國學院大學博物館・  
靖國神社・遊就館（参加者二十六名）  
【内 容】大嘗宮の見学・國學院大學にて齊藤智朗氏による講義の受講。



近畿地区

## 和歌山県神道青年会

創立五十周年事業

梅酒完成奉告祭

天皇陛下御即位奉告祭

〔期 日〕 令和元年六月二十二日

〔場 所〕 須賀神社

〔内 容〕 周年記念事業で会員自ら梅の収穫から漬け込みなどを行ひ、記念品の梅酒を作成。完成の奉告祭を会長齋主の元齋行し、併せて天皇陛下御即位を言祝ぎ御即位の奉告祭を執り行った。

天下大祓

〔期 日〕 令和元年八月三十日

〔場 所〕 熊野那智大社

〔内 容〕 大祓詞奉唱・奉仕員祓・皇居方面祓・一同御神前を拝礼した。東新支部は熊野那智大社に集まり執り行った。奉仕員は会員各位・熊野那智大社巫女・熊野那智大社にて職場体験学習中の地元中学生。事前には中学生には御大礼等について説明した。



近畿地区

## 滋賀県神道青年会



天下大祓

〔期 日〕 令和元年八月三十日

〔場 所〕 滋賀縣護國神社(参加者二十名)

〔内 容〕 天下大祓の齋行に併せて祭式研修会を開催。研修の最後に天下大祓を齋行、受講生全員で大祓詞を奏上した。





中国地区  
**島根県神道青年協議会**

**天下大祓**

【期 日】令和元年八月三十日  
【場 所】稲佐の浜（参加者会員十九名・一般約十名）  
【内 容】参加者全員で大祓式を斎行。

**天皇陛下御即位奉祝  
記念綬頒布事業**

【期 日】令和元年七月～十二月  
【場 所】島根県内全域  
【内 容】国旗竿頭に敬意を表すための「記念綬」を県内外に約三百枚頒布。

**奉祝 天皇陛下御即位  
第七十一回**

**島根県神社関係者大会  
運営協力**

【期 日】令和元年九月十四日  
【場 所】出雲市民会館  
【内 容】「奉祝祭・浦安の舞」  
「記念式典」  
「記念神楽上演」他



中国地区  
**鳥取県神道青年会**



**天下大祓**

【期 日】令和元年八月三十日  
【場 所】滝山神社（参加者十三名）  
【内 容】参加者全員で大祓式を斎行。  
大祓式斎行に先立って滝山神社竜王滝にて禊錬成。

**天皇陛下御大典  
奉祝ポスター制作**

【期 日】令和元年九月～十月  
【内 容】天下大祓の様子とともに、即位礼及び大嘗祭について啓発するポスターを制作、県内全宮司への送付。

**天皇陛下御大典奉祝祭**

【期 日】令和元年十一月四日  
【場 所】鳥取県神社廳（参加者十名）  
【内 容】参加者全員による奉祝祭の斎行。

**天皇陛下御即位奉祝の集ひ**

（主催）鳥取県神社廳、鳥取県神社總代会、  
神道政治連盟鳥取県本部  
【期 日】令和元年十二月十二日  
【場 所】ホテルニューオータニ鳥取（参加者四名）  
【内 容】鳥取県女子神職会会員による「豊栄の舞」（当会より二名奉仕）。





中国地区

## 広島県青年神職会

### 天下大祓

【期日】令和元年八月三十日  
【場所】厳島神社（参加者二十七名）  
【内容】参加者全員で大祓式を斎行。

### 天皇陛下御即位奉祝記念 国旗掲揚推進キャンペーン

【期日】令和元年二月七日  
【場所】広島市内中心部（参加者十五名）  
【内容】啓発メッセージを印刷したポケットティッシュと、日本の国旗国家ハンドブックをセットにしたものを二千個を広島市内中心部で配布。

### 天皇陛下御即位奉祝記念 第五回 皇居勤労奉仕

【期日】令和二年二月十七日～二十一日  
【場所】皇居（参加者千四名）  
【内容】会員並びに県内神社関係者を対象に、勤労奉仕を実施。



中国地区

## 岡山県神道青年協議会



### 天下大祓

【期日】令和元年八月三十日  
【場所】岡山県神社庁神殿  
【内容】会員又一般の参加者と大祓詞を奏上。

### 令和改元、天皇陛下御即位、奉祝事業 令和だんじりまつり・祝賀パレード

【期日】令和元年十月二十二日  
【場所】津山市中心市街地  
【内容】天皇陛下御即位を祝ひ、大隅神社・高野神社・徳守神社の三つの神社の津山が誇るだんじりが集結し、公開展示を行ひ、一般参加者などだんじりによる祝賀パレードを実施。



### 令和元年 天皇陛下御即位

#### 奉祝式典・提灯行列

【期日】令和元年十一月二十日  
【場所】奉祝式典 岡山シンフォニーホール  
提灯行列 岡山シンフォニーホール～岡山駅まで  
【内容】奉祝式典に引き続き、市民約千三百人の提灯行列を実施。



### 天下大祓

〔期 日〕 令和元年八月三十日  
 〔場 所〕 大浜海岸（参加者約五十名）  
 〔内 容〕 日和佐浦大浜海岸に斎場を設け、天下大祓を斎行。



四国地区  
**徳島県青年神職会**

中国地区  
**山口県青年神職会**



### 時局講演会

〔期 日〕 平成三十一年四月二十五日  
 〔場 所〕 山口県神社庁  
 〔内 容〕 講題『国家の重儀・皇位継承儀礼』  
 講師 高松八幡宮宮司  
 金長 広典先生

### 天下大祓

〔期 日〕 令和元年八月三十日  
 〔場 所〕 赤間公園  
 （参加者会員十八名・一般約四十名）  
 〔内 容〕 赤間公園にて大祓詞を奏上。

### 天皇陛下御即位奉祝

#### 山口県民大会

〔期 日〕 令和元年十一月二十八日  
 〔場 所〕 山口市民会館  
 （参加者約千五百名）  
 〔内 容〕 第一部 奉祝祭典  
 第二部 記念講演  
 講題『日本といふ国』  
 講師 藤原 政彦先生





**御大礼奉祝記念事業 御大礼奉祝祭**

- 〔日時〕 令和二年三月九日
- 〔場所〕 香川県神社庁
- 〔内容〕 御大礼奉祝記念事業として調製した献穀米、奉献酒、御塩を中心とした神饌をお供へし、齋主・祭員齋服を著装の上、祭典を斎行した。

**御大礼奉祝記念事業 奉献酒醸造**

- 〔日時〕 令和二年二月一日～三月八日
- 〔場所〕 ほうらいせん吟醸工房
- 〔内容〕 抜穂祭で収穫した献穀米を用いて、御大礼奉祝祭に用いる奉献酒の醸造。

**御大礼奉祝記念事業 献穀米頒布**

- 〔日時〕 令和元年十一月七日
- 〔場所〕 香川県内各社
- 〔内容〕 抜穂祭後に収穫した新穀を県内の各社へと送付した。

**御大礼奉祝記念事業 抜穂祭**

- 〔日時〕 令和元年十月十日
- 〔場所〕 白鳥神社齋田（参加者会員四名・一般一名）
- 〔内容〕 白鳥神社の齋田において抜穂祭を斎行した。

**香川県神道青年会**



**御大礼奉祝記念事業 御塩調製**

- 〔日時〕 令和元年六月十一日
- 〔場所〕 白鳥神社（参加者八名）
- 〔内容〕 御大礼奉祝祭に神饌として用いる御塩の調製を行った。  
汲み上げた海水を釜で煮立たせて濃度を高め、にがりを取り除いた上で結晶化させる手法を用いた。

**御大礼奉祝記念事業 御田植祭**

- 〔日時〕 令和元年六月十一日
- 〔場所〕 白鳥神社齋田  
（参加者会員八名・一般三名）
- 〔内容〕 御大礼奉祝祭に神饌として用いる新穀、その苗を白鳥神社齋田へと植え付けるにあたり、御田植祭を斎行した。この新穀は奉献酒の醸造に用いられる他、県内各社へ新嘗祭用の新穀としても頒布する。

**令和の天下大祓**

- 〔日時〕 令和元年八月三十日
- 〔場所〕 石清尾八幡神社  
（参加者会員十名・一般約十名）
- 〔内容〕 石清尾八幡神社において大祓の神事を斎行した。境内にて事前に掲示を行ひ、当日は一般の方が十名ほど参列した。  
斎行後、神社本庁発行の御大典に関するリーフレット等を頒布した。





四国地区  
高知県神道青年会



天下大祓

〔期日〕令和元年八月三十日  
〔場所〕桂浜（参加者六名）  
〔内容〕桂浜に於いて皇居に向かひ大祓詞を奏上。



四国地区  
愛媛県神道青年会



天下大祓

〔期日〕令和元年八月三十日  
〔場所〕各奉務神社（参加者七名）  
〔内容〕各御社にて大祓詞を奏上。





九州地区  
**福岡県神道青年会**

**天下大祓**

〔期 日〕令和元年八月三十日  
 〔場 所〕龍門神社上宮（参加者会員十一名・一般八十四名）  
 下宮（参加者会員五名・一般二十名）  
 〔内 容〕奉仕者は前日より参籠し、天下大祓を斎行、RKBミューズに撮影を依頼。プレスリリースや参列案内を各方面にした為、神青会以外にも多くの参列があった。  
 また、天下大祓に参列できなかった会員は各御社にて大祓詞を奏上（十一社）。

九州地区  
**長崎県神道青年会**



**天下大祓**

〔期 日〕令和元年八月三十日  
 〔場 所〕長崎県神社庁（参加者十一名）・亀山八幡宮（参加者一名）  
 諫早神社（参加者一名）  
 〔内 容〕神社庁に集合できない会員は、各社任意にて大祓詞を奉唱。

**宮フェス**

〔期 日〕平成三十一年  
 四月十三～十四日  
 〔場 所〕長崎県護国神社  
 （来場者延べ千名）  
 〔内 容〕宮フェス開催に合せて長崎県神道青年会「宮フェス」を実施。  
 神道教化ブースを設け、平成御大典記録写真パネル展等を行った。





九州地区

## 佐賀県神道青年会

### 天皇陛下の御即位をお祝ひする 佐賀県民の集ひ

【期 日】令和二年二月二十二日  
【内 容】奉祝式典・奉祝パレード助勢  
(中央大通り店舗へ挨拶回り・ピラ配り、案内看板作成・奉祝式典、奉祝パレード警備誘導等)。

### 天下大祓

【期 日】令和元年八月三十日  
【場 所】天山神社(参加者七名)  
【内 容】大祓詞奏上。

九州地区

## 大分県神道青年会



### 平成度主基地方 風俗舞練習会

【期 日】令和元年六月十八日  
【場 所】春日神社  
【内 容】平成度主基地方である大分県では令和の御代となり、改めて平成度に伝習賜った風俗舞の意義やその歴史を伝承していく為に行った。

### 天下大祓

【期 日】令和元年八月三十日  
【場 所】各自奉務神社  
【内 容】会員各自の奉務神社にて大祓詞の奏上を行った。

### 教養研修会

【期 日】令和二年三月十一日  
【場 所】大分県護国神社  
【内 容】御大典による御代替りに際し、平成度主基国である大分県として大嘗祭における主基国・風俗舞の歴史について、今一度教養を深め風俗舞を伝承していく意義をより深いものとすべく計画してゐる。





九州地区  
宮崎県神道青年会

大嘗祭奉祝御神田行事

〔期 日〕平成三十一年四月二十二日～令和元年九月九日  
〔場 所〕御神田  
〔内 容〕「米作りは我が国の基」として繁栄してきた国柄に思ひを致し、昭和五十六年より受け継がれてきた当会御神田行事を、例年以上に拡大拡充し齎行した。県内全地区で連携して奉仕し、令和の御代の平安を会員皆で祈念した。参列には地元の方は勿論、神社関係者と保育園児も多数参列いただいた。九州地区協議会の奉祝事業とも連動し、紙芝居の読み聞かせを用いて子供達への教化や、宮崎県神社庁と連携して奉祝記念大会参加者への初穂米配布を行った事で、大嘗祭奉祝の機運上昇と教化活動に努めることができた。

◆祭典

御神田清祓並び播種祭

(平成三十一年四月二十二日)

御田植祭 (令和元年五月十七日)

除蝗祭併風鎮祭 (令和元年七月二十九日)

抜穂祭 (令和元年九月九日)

天下大祓

〔期 日〕令和元年八月三十日

〔場 所〕天安河原

〔内 容〕河原で禊ぎを行ひ、その後大祓詞を奏上。



九州地区  
熊本県神道青年会



天下大祓

〔期 日〕令和元年八月三十日  
〔場 所〕八代神社(参加者十一名)

奉祝天皇陛下御即位

「交聲曲 海道東征」演奏会  
(熊本県神社庁主催)

〔期 日〕令和元年十二月二十三日

〔場 所〕熊本県立劇場

〔内 容〕フライヤー・ポスター作成、演奏会当日の助勢。

天皇陛下御即位 熊本県奉祝式典

(天皇陛下御即位熊本県奉祝委員会主催)

〔期 日〕令和二年二月二十四日

〔場 所〕熊本城ホールメインホール

〔内 容〕各界からの祝辞、奉祝演奏、天皇陛下御即位奉祝パレード(神青助勢)。



九州地区  
沖縄県神道青年会

天下大祓

〔期 日〕 令和元年八月三十日  
〔場 所〕 波上宮（参加者七名）・普天満宮（参加者十名）  
沖縄県護国神社（参加者十名）  
〔内 容〕 各社にて大祓詞を奏上。

九州地区  
鹿児島県神道青年会



天下大祓

〔期 日〕 令和元年八月三十日  
〔場 所〕 菅原神社（参加者七名）  
〔内 容〕 菅原神社前にて大祓詞を奏上。

天皇陛下御即位を  
お祝ひする集ひ

〔期 日〕 令和元年九月二十五日  
〔場 所〕 天文館ベルク広場  
〔内 容〕 雅楽・舞楽（蘭陵王）・  
豊栄舞・装束着付けの  
披露、県内神社御朱印  
パネル展示、奉祝記帳。

天皇陛下御即位をお祝ひする  
鹿児島県民の集ひ

〔期 日〕 令和二年二月二十三日  
〔場 所〕 鹿児島市民文化ホール  
〔内 容〕 助勢。



# 中央研修会

神道青年全国協議会では、文化伝統の継承・発展の観点から、「歴史的仮名遣ひ」を用い、将来ともこの方向性を堅持する方針です。夏期セミナー、中央研修会の講演録は、広く会員内外に読まれ、研鑽の機会を提供することを目的としてをります。より広く活用頂く為、敢えて講演録に限り、「現代仮名遣ひ」を用いる表記させて頂きます。

● 期日 平成三十一年三月十三日～十四日 ● 場所 水戸プラザホテル

主題

# 「氏子と共に歩む時」

～過去・現在・未来の中で～

【第一講】演題 「神に仕えて想うこと」

～鹿島の神と水戸の教え、そして鹿島神宮の中今～

講師 鹿島 則良 先生(鹿島神宮 宮司)

【第二講】演題 「現代社会と氏子 ～科学の力と祈りの力～」

講師 中野 信子 先生 (脳科学者・医学博士・認知科学者)

【第三講】演題 「氏子の未来とまちづくり」

～神社を中心とした地域活性化の可能性～

講師 常盤 良彦 先生(株式会社 Oarai

クリエイティブマネジメント代表取締役)

講師 大里 明 先生(割烹旅館 肴屋本店代表)

講師 杉山 潔 先生

(『ガールズ&パンツァー』プロデューサー)



## 第一講

# 「神に仕えて想うこと」

## ～鹿島の神と水戸の教え、そして鹿島神宮の中今～

鹿島神宮 宮司

鹿島 則良 先生



皆様、こんにちは。ようこそ水戸の地へお越しくださいました。

今日の趣旨を拝見しますと、水戸学の話も出てまいります。常磐神社において、その後、鹿島神宮で御奉仕しているということ、私に白羽の矢が立ったわけですが、余りお話が上手じゃないものですから、どうしようかなと思っておりましたけれども、私は、何事をするにも神様の許可を得てやっておりますので、神様に伺ったならば、行ってこいということでございますので、今日は、お時間をちょうだいしてお話をさせていただきたいと思っております。よろしくお願いをいたします。

今、講師の私の紹介、丁寧に御説明いただきました。ありがとうございます。



れが日本の国にとつて要なんだよということを書いた石碑が立っておりますので、もしお寄りになりましたら、これは弘道館の中の鹿島神社の入口に建っておりますので、ご覧いただけたらなというふうに思います。

そういうことで、日本の国の歴史の中で今生かされているということを常に感謝しながら、皆様も、これから神職として奉仕していただけて、きちんと次の世代へ神社を渡していただけたらなと思っております。

次に、神職として、特に私のように、勅祭社であります鹿島神社の宮司として御奉仕して以上、色々と神様のことを考えながら御奉仕しておるわけでございますけれども、神社はそもそも誰のものなのかということをしつかりと認識して御奉仕をしていただけたらなというふうに思います。

神社規則の第三条、どこの神社にもそういう規則があると思いますが、本神社は、御祭神何々の神を奉斎し、公衆礼拝の施設を備え、神社神道に従つて祭祀を行い、祭神の神徳を広めるといことが書いてありますが、これがまず神職としての基本でございます。

そして、神社は誰のものかということ、特に私どものような勅祭社の場合は、天皇陛下からお預かりしているお社である、そして氏子の皆様からお預かりしているお社である、また、それぞれの神社は神社本庁からお預かりしている神社であるということを考えていただけて、決して神主が所有者ではないよ、法律上は確かに、代表役員、宮司誰々ということになっていきますけれども、あくまでも神社の保有者は神社本庁もしくは氏子、そして、もっと大きく言えば、神様の持ち物なんです。私は、よく皆さんから、鹿島神社で一番偉いのはこの宮司さん

樋大神、それから香取の経津主大神、このお二人のことが意外と知られていない。この御祭神の名前が意外と知られていない。これを何とかしなきゃならないなということ、この本を書こうと思っております。

ほんの少しだけ書いたところで、実は地震が来ちゃうんですけども、ちよつとちらちらと見ていただいて、後でゆつくり読んでいただければいいんですが、氏子の皆さんも、参拝される皆さんも、戦後教育の中で日本の神話というものが教えられていない。教えられていないために、鹿島神社の御祭神の武甕槌大神であるとか、香取の経津主大神ということが意外と知られていなかったものですか、これを何とかしなきゃならないなということ、古事記に書かれている建御雷神はこういうことですよということでお書きしました。

今日出席されている皆さんは、ここまでの話を知っておられるので、神主さん相手にこの話をしてもしょうがないのですが、地元の人に、鹿島神社と諏訪大社の関係、これは、神話の中で、出雲の伊那佐之小浜で力比べをやって、鹿島の神様が勝って、出雲の建御名方神が負けて、諏訪まで逃げて行って、そこで捕まって、そこに神社をつくってもらったのが諏訪大社なんだよということ、そういうことも意外と知らないものですか、そういうお話をしてあげると、氏子、崇敬者の皆さんは大変喜んでいただきます。

それから、建御名方神が国譲りに同意したというところで、出雲大社へ建御雷神が戻って、大國主命に申し上げると、大國主命は、ここに大きなお社をつくってくれば私は鎮まりますというのでできたのが出雲大社なんだよというお話もよくさせていただきます。

神話の説でございますので、諏訪でもこの説

ですと言われる。いや、そうじゃないですよ、鹿島神社で一番偉いのは武甕槌大神様ですということでも申し上げております。私どもは、神様から、そして天皇陛下から、氏子の皆様から、神社本庁から、委嘱を受けて神社の運営に当たっているんだということを考えております。



うに言われておりますけれども、私は常々思うのは、神職の仕事は神様の気持ちを付度するものだ、このように思つて御奉仕しております。付度する上で必要なのは、それぞれのお社、それぞれの神様のことに関する知識をしつかりと持っていることと付度はできませんので、付度をすることに当たっては、皆様が御奉仕しているお社の神様のことをしつかり勉強し、そして、それぞれのお社がいつできて、どういうつもりで

が正しいのか、出雲でもこの説が正しいのかということでも言われるので、鹿島としては、こういうふうに伝えられているんだよということでお話をしております。

建御雷神の力のおかげで、邇邇藝命が天孫降臨として日本の国にくだつてきた。それは、やはり建御雷神の力なんだよということをお話しさせていただきます。

それからもう一つ、神武天皇が九州から大和の国を目指して行く時に、大和の豪族達が最初従わなかったものだから、熊野の方から大和へ入ろうとして、熊野の山中でみんな倒れてしまった。その時に、やはり天照大御神の命令で、建御雷神に助けに行けという命令が出るんですけども、これに関しては、私が持っている布都御魂の剣を、神倭伊波禮毘古命、神武天皇に差し上げれば大丈夫だということ、その刀を下すことによって、その刀の威力で兵士や神武天皇が元氣になって、その刀を捧げて大和の国へ入って、日本の国がそこで成立したんだよということをお話しさせていただきます。

そして、鹿島神社は、神武天皇が即位された時に、当時の日本の国の一番東の外れに、神様の中で一番力の強い神様、武甕槌大神をお祀りした。それが鹿島神社の初めなんですよということ、地元の人にはお話をさせていただきます。

それから、これもみんな知らなかったんですけども、こんなこと、みんな知っているんだらうなと思つたんですが、意外と氏子の人も知りませんでした。鹿島の神様の御分霊は、鹿の背に乗って奈良の春日へ行つて、春日大社の第一殿としてお祀りされる。それも地元の人も知らなかったの、今はみんな知っているよう

の神様をお祀りしたのか、そういう歴史をきつと知つておいてももらいたくないなというふうに思います。

特に、鹿島神社のように、武甕槌大神様の御本宮ということでございますので、そこで御奉仕する以上、神様のお気持ちを常に付度しながら御奉仕しております。それとともに、参拝される方々に、ここは神様がおられるなというふうな雰囲気をしつかりとつくらなければいけない。ありがたいことに、鹿島神社には二十万坪という大きな森がございます。これも天然記念物になっておりますし、境内は全部、まあ、なりたくてなつたわけじゃないんですけど、国の史跡になっております。国の史跡とか天然記念物の指定を受けてしまうと、神社として必要な時に手がつけられないということがありますので、余り簡単に指定は受けない方がいいのかなと思っております。

私が常磐神社にいる頃に一番気になったのは、例えば、お伊勢様へ行けば、ここには天照大神がお祀りされているよということは皆さん知っています。それから、出雲へ行けば、ここは大國主命をお祀りしているんだねということもみんな知っています。天満宮へ行けば、ここは菅原道真公だ、東照宮は徳川家康公だ、みんな知っていますけれども、常磐神社の場合は、光圀公、斉昭公の名前は知っているけれども、意外とお参りに来た方は神社の名前を知らない。ただ、借楽園の隣にあるので、借楽園に行くときに隣に神社があったね、それが常磐神社ですということ、御祭神よりも神社の名前がちよつと下になっていた。

鹿島に奉職して一番感じたのは、香取神宮もそうだと思います。鹿島神社、香取神宮という名前は、お参りに来る方はみんな知っています。私が鹿島へ行つて最初に感じたのは、武甕

になりましたけれども、そういうお話をさせていただきます。勅祭社としてお祀りされている大変なお社なんだよということ、当時は、地元の人達も、鹿島神社というのは村の鎮守様と同じぐらいのつもりでおられたと思うのですが、決してそうではないんだよということ、お話をさせていただきます。

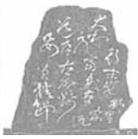
今日まで、色々な鹿島の信仰というものが伝えられております。

つい先日、三月九日に祭頭祭というお祭りがございました。鹿島立ちのお祭りということで、日本の国に春を告げるお祭り、祭りの頭の祭りと書いてありますように、全国の神社に先駆けて行われるのが鹿島神社の祭頭祭なんだよということ。お祭りの内容は、これを読んでいただければおわかりかと思ひます。

それから、十二年に一遍、御船祭という大きなお祭りがございます。これで面白いのは、鹿島神社は九月二日です。香取神宮が少し前の四月十五日ということで、船のお祭りが行われますが、四月のお祭りの時には、香取の神様が船に乗って利根川の対岸の常陸国の方へお越しになります。そこでお祭りするのは、我々鹿島神宮の神主がお祭りをさせていただきます。九月二日の時は、逆に、鹿島の神様が船に乗って下総国の近くまで行きます。そうしますと、香取神宮の神主さんが船を出してきて、船の上で香取の神主さんがお祭りをします。

こういう、十二年に一遍、鹿島の神様と香取の神様、武甕槌大神と経津主神が出会うお祭りがあるんだよということも覚えておいていただけたらなというふうに思います。

それから、後の話につながってくることで、高天原というのが、鹿島神社から東へ二キロほど、海岸の高台にございます。面積が一万二千坪ほどございますけれども、鹿島の海岸と



いのは弥勒信仰という、鹿島には宝をいっばい積んだ弥勒の船が着くんだよということが言われておりまして、十二ページにも書いてありますように、民俗学者の柳田國男先生が「日本の国で弥勒の船が来るところは鹿島と八重山」というふうに言われておる。そういう大切な場所に鹿島の神様がお祀りされた。

東の果てはどういうことかという、太陽が昇るところでございませう。日本の国が始まるころが鹿島ということ、それから鹿島立ちという言葉がつくられたんだらうというふうに思っております。

それから、鹿島の事触れの話、鹿島踊り。鹿島踊りというのは、京都の祇園でも踊られて踊りでございまして、非常に全国的に広まったというふうに言われております。

次に、要石の信仰ということ、十三ページに書いておられますけれども、鹿島神宮の森の奥には、地震を起すナマズの頭を押さえていると言われる要石があります。土の中からちよつとだけ頭を出しているのですけれども、徳川光圀公が鹿島に来た時に、これはおかしいということ、家来に命じて掘らせたんですが、一晩掘つて次の日に見ると、また元に戻っている。それではということで、七日七夜掘り続けたいんですけども、ついにその石を掘り出すことができなかつた。光圀公の顔に腫れ物ができてしまつて、これは神罰だということで、慌てて逃げ帰つたと言われております。ナマズを抑えていることが、鹿島の神様が地震抑えの神様であるというふうに言われております。

幕末の安政の大地震が起きるのが実は十月二日なんです。十月二日は神無月でございまして、鹿島の神様は出雲へ行つてた。神様が出雲へ行つておる留守に、恵比寿様が留守番を頼まれるんですが、大きな鯛を釣つて、それを肴かなというふうに思っておりますので、こういう大きな被害がありました。

それから、十八ページに書いてあります。この震災の前から、鹿島においては、何かおかしいことが起きていた。

実は、震災の一週間前、三月四日に、先ほど申しました鹿島神宮の飛び地境内地、聖地高原のすぐ下の海岸、これは下津の浜といいますが、ここにクジラの一種のカズハゴンドウ五十二頭が打ち上げられた。住民は浜へ行つて、海へ戻そうとした。三十頭は戻ることができたけれども、亡くなった二十二頭は地元の人達が砂浜に埋葬しましたと書いてあります。東日本大地震の少し前に起きたニュージールランドの地震の時にも、ニュージールランドの海岸にクジラが上がつたそうです。

不思議なのは、何で鹿島神宮から鹿島灘で一番近いところ上がったのかということ。そして、鹿島神宮の聖地である高原の下に上がったのかということ。ここにも書いてあります。今日は、うちの職員もおりますし、うちの職員のOBもおりますが、聞いていただくとうかがうんですが、これは実際にあつた話でございませう。信じる、信じないは皆様の勝手でございますけれども、地震の翌日、鹿島神宮に電話が一本かかつてきます。鹿島の神様に地震を知らせに行つた者がいるけれども、わかりましたかという電話だつたそうです。応対した職員が、そんな人はいませんでしたよというふうに答えました。すると、クジラは丘へ上がれないんですよと言つて電話が切れた。ええつということ、後々、クジラは、海の神様、綿津見神様が鹿島へ送つたんだらうなというふうに皆で考えておりました。

今度は、十九ページの上に写真がございませう。これは、地震の時に、大きな地震でござい

にして酒を飲んで、ナマズの監視を怠つたこと、ナマズが暴れて安政の大地震が起きたというふうに言われておりますが、十四ページに書いてありますように、当時の戯れ歌に「揺るぐともよもや抜けじの 要石 鹿島の神の あらん限りは」ということで、鹿島の神様の要石がある限り、地震は大した被害を与えないよというふうに言われておりました。それからもう一つ、「揺るぐのに 何故に抑えぬ 要石 鹿島の神は 留守か寝たのか」とあるように、江戸の庶民の暮らしを守る意味で、大変に人気のあつた神様でございませう。

その他に、常陸帯という信仰があつて、安産の神様というふうに言われていませうし、新しい命を産むというのは、まさに鹿島立ちということ、安産信仰にもつながっているのかなというふうに思っております。

それから、武神としての信仰は昔から伝えられておりますし、大相撲で土俵祭りというのを初日の前に行いますけれども、その時に、やはり鹿島の武甕槌大神様が土俵に呼ばれております。手力雄命と野見宿禰と武甕槌大神、この三方が土俵祭りの神様というふうに関係して言つておりましたので、まさに武の神様として昔から信仰されていたのかなというふうに思ひます。

それから、十六ページに行きます。「東北地方における鹿島信仰」ということで、今日は東北の方もおられるかと思ひますけれども、武甕槌大神を祀る神社が全国には二千四百五十一社、神社本庁の祭祀礼調査を元に調べたところ、二千四百五十一社でございませう。

なぜこんなに多いのかという、鹿島神社としてお祀りされている神社が八百ぐらいだつたかなというふうに思ひますけれども、さらに、春日神社としてお祀りされているお社には武甕

まして、私も境内におりましたけれども、大きな音がして、社殿がぎいぎい大きな音を立てました。楼門も、倒れちゃうんじゃないかというぐらい揺れました。その中で、御本殿の上に乗つている千木が落ちたんですね。千木は鎖で本殿につながつておりますので、下までは落ちなかつたんですが、こうやつてぶら下がつております。

実は、春日大社が定めた「春日社法」というもの、これは多分、神職本務心得という中で、どこかに書いてあつたと思ひますが、「社頭において非常の怪有ればすなわち上聞に達す。怪とは神殿鳴動、神鏡落御、或いは千木落御等の類なり」というふうな、昔の春日大社の社法に書いてございませう。

私も、千木が落ちた時に、これはどこかに何か書いてあつたなということで、調べたら確かにありましたので、この上聞に達せよというのが、私はよくわかりませんでした。國學院大学の榎山先生に、上聞に達せよと書いてあるけれども、どうしたらいいですかと言つたら、これはだめだよ、天皇陛下にお知らせすることだよというふうに言われました。それで慌てて報告書をつくつて、宮内庁へ持つてまいりました。宮内庁でも、特にそういう規則はないけれども、そういうことがあつたのであれば陛下に報告しますよということ、陛下に報告が上がりました。翌日、侍従長から、陛下が心配されておられますよということで、お電話をいただきました。本当にありがたいこと、ございませう。

もし私が気づかずに、千木が落ちたのに何もしなかつたら、後々の神主さんが、鹿島神宮であの時千木が落ちたのに報告しなかつたのかよと言われると、それは大変だつたらうなというふうに思ひますが、上聞に達することができたこと、よかつたなというふうに思つております。

槌大神がお祀りされておりますので、その他、合祀されたお社と合わせますと、二千四百五十一社ということ、ございませう。

東北地方にも三百六ほどございまして、「三代実録」に、鹿島の苗裔神が陸奥の国に三十八社あるというふうな書かれております。

それから、秋田県から青森県にかけて、日本海側には、鹿島人形、それから鹿島流し、鹿島舟という行事がございまして、海に鹿島人形を乗せた舟を流すと、流れていって、また次の日に帰ってくる。鹿島まで行つて帰ってくるんだよという信仰がございませうし、また、ここに写真がありますように、これは秋田県の湯沢の方ですけれども、その地域を守る神様として、鹿島様というのがおられます。地域を守つてくれているんだという信仰が昔から伝えられておりました。

このあたりまで鹿島の信仰ということで、参拜の方に配れるぐらいの本をつくらうかなと思つていたところ、四番目に書いてあります、東日本大地震というのが起きます。平成二十三年三月十一日ですから、今から八年前ということになりますけれども、この時に色々なことが起こりましたので、今日は、そのことをちよつとお話したいなというふうに思つております。

ここに鳥居が倒れている写真がございませう。皆さん、これをご覧になつて、どのようにお感じになるかわかりませんが、町の人達が言うには、これは悪霊が境内へ入らないように通せんぼをした倒れ方だというふうに言つております。まさに、義経を助けるために弁慶が大の字になつて敵を防いだのと同じ形だねと言つておられます。確かに、鳥居が倒れたお社はたくさんございませうが、鳥居の倒れ方を見ると、こんな大の字に倒れている、それも境内の中に向かつて倒れているというのには他にはなかつたの

す。要するに、武甕槌大神が、陛下が心配するよくな大変なことが起きたんだよということ、千木を落とすことによつて知らせしてくれたのかなというふうな思つております。

皆さん、夢の中で神様が出てきたということ、あります。神様がこうしろ、あしろということ、を言われたことがあるかなというふうに思ひますが、私は時々そういうことがあるので、でも、新興宗教の教祖でもないし、余りそれを言うのもいかがかなと思つておるのですが、宮司になると、そういうこともあるのだなというふうな思つております。

常磐神社にいます頃、一度ございませう。夜中に、御祭神の齊昭公に叩き起こされまして、お前ちゃんと確認してこいということ、ございませうけれども、それは何かということ、常磐神社で禰宜として奉仕していた時に、宮司が体調を壊して退職しました。その後任を神社本庁にお願いしましたところ、滋賀県の方を紹介していただきました。烈公様は何とおっしゃつたかという、滋賀県の人、彦根と関係あるのかということ、お前よく行つて調べてこいということ、言われました。私は、神社本庁から後任に推薦されました宮司さんの元へお訪ねしまして、彦根藩との関係はどうなつていませうかと申し上げましたら、宮司さんは、滋賀県でも野洲町というところで、ここは彦根藩でございませう、私は、春日神社といまして、武甕槌大神と経津主大神をお祀りするお社をお守りしておりますよということ、帰つて神様にその旨御報告をして、御承認いただいたということ、ございませう。

水戸と彦根の関係といえ、桜田門の問題で、齊昭公にとつては敵でございませうので、齊昭公は滋賀県と聞いた時に非常にびっくりされたんだらうと思ひますが、そういうことで、武







神に仕えて想うこと ～鹿島の神と水戸の教え、そして鹿島神宮の中今～



は、憲法改正とか、朝鮮の悪口とか、中国の悪口を言うと、政治家、大臣の首が飛ぶという時代もございました。

今から二十数年前に、神道政治連盟の集まりがニューオータニであったんですが、その時に、当時の総理大臣、森さんがお越しになりました。祝辞を述べられました。その中で、森さんが、日本は天皇陛下を中心とした神の国であるぞという発言をしました。その時、我々、出席していた者達は、今日は森さんすごいことを言ったなと思って、神社界としては喜んだのですが、家に帰ってテレビをつけたら、もうテレビが大騒ぎということで、森総理、神の国発言ということになって、これもプレスコードの中に、天皇陛下とか神様のことを神格化したものはいけないというふう書いてあるんですね。

ですから、このプレスコードにちよつと背いただけで、すぐにマスコミが突っかかってくるという時代がありました。最近はいくつもなくなってきましたけれども、憲法改正ということ以前は言えなかったんですが、今やつと言えりょうな時代にはなつてきたというふうに思います。

よく安倍さんが、憲法学者の多くの人が、自衛隊は違憲であるというふうな言い方をしているというふうに言いますけれども、私、憲法学者というのは、今の憲法が今の日本の国の実情に合っているか、合っていないか、それを違憲だと言っているか、合っていないか、日本の国がどうあるべきか、日本の国としてはどういう憲法を持つべきか、という改正をすべきかという研究をするのが憲法学者であらうというふうな思っておりますので、何でもかんでも違憲だ、違憲だと言ふ憲法学者というのは、ちよつと問題かなというふうに思っております。

先ほどから、歴史をつないでいく、受けた歴史をまた次の世代へというふうにお話をさせて

いただいておりますが、私達神職が御神前で神様に祝詞を上げる時に、最後の部分に必ず出てくる言葉があります。「子孫の八十続きに至るまで五十櫃八桑枝の如く立ち栄えしめ給へ」といふに神様に申し上げているんですが、神様がおっしゃるのは、君達そうやって祝詞で言うけれども、氏子、崇敬者、そして国民に対して、それをちゃんと守れと言いなさい、ちゃんと子孫を残すことが大切なんだよということをお話するからこういふ少子化になつていふことを言わないからこういふ少子化になつていふことよというふうな言われておりますので、今、学校で、命を大切にということも教えていますけれども、もつと大切なのは、命をつないでいくことが大切なんだよということが教えられていないというところが問題だらうなというふうに思っております。

この間、副総理が、女の人に子供を産んでもらわなきゃ、頼まなきゃならないんだよ、頑張ってくださいと言つたら、すぐ次の日に国会で、産む、産まないはそれぞれの個人の勝手ですから、そういう発言は取り消してくれというふうな言い方をされましたけれども、そういう麻生さんの話を聞いていると言ふのは間違つていふと思うんですね。やはり、こういう人口減少の中で、しっかりと命をつないでいくんだ、そのために、我々男は子供を産めませんので、女の人にお願ひするほかないんです。何とかお願ひして、日本の国を盛り立てていこうというのが麻生さんの発言だったろうと思えますけれども、すぐに女性を蔑視する問題であるとか、そういうふうに取り上げるのは、まあ、女の国会議員が反論するのはいかぬものかなという気がいたしております。

最近感じたことをお話しさせていただいておりますが、最初に伊豆山のお話をしましたけれども、IPの中で、アメリカにとつては、日本各地を空襲したり、原爆を落としたりという罪をみ消すためには、南京事件がなければ困るわけです、その代償として南京事件をつくり上げて、その責任者として松井さんを処刑されたということ、それを皆さん、お考えいただけたらな。

この前、愛知県の知立神社をお参りした時に、松井さんの台座だけが残つた灯籠がございました。宮司さんに何とかしてくださいといふふうに申し上げましたけれども、どうなるかわかりませんが、松井岩根さんの奥様、松井文子さん、かわいがっていただきましたけれども、何とか松井大將の名譽を回復するのが、松井さんの葬式をやつた親父の遺言なのかなといふふうにも思っております。

今日、愛知県からお越しになつていられるかと思ひますが、松井石根さんというのは、A級戦犯になりましたけれども、大変な方だったんだよということだけでも覚えておいていただけたらなというふうに思っております。

今日のお話の中で、新興宗教の教祖でもあるまいに、そんな神様が色々申されることはないよといふふうに言うかもしませんが、秩父神社の園田先生とお話した時に、学者として神道を勉強するのは、宮司として神様にお仕えるのとどうですかと聞いたら、全く違いますというふうにおっしゃつておられました。神主であるからには、神社を盛り立てていくために、氏子の皆様の力をお借りしながら神社を守つていく、それとともに、やはり神様にお仕えて、神様の御神託を宣揚することによって、たくさんの方にお参りいただく、これが大切なんだらうなというふうに思っております。そのために、鹿島神宮は二十万坪の森を持っております。お参りに来られた方が、ここは神

ども、伊豆山神社のすぐ近くに、徳富蘇峰先生という大変な方が住んでおられました。この方はGHQからならまれておりましたので、父親が面会に行くわけにはいかないので、用事がある時には、小学生の私が用事を頼まれて、徳富蘇峰先生のところへ行きました。徳富蘇峰先生が私に何と申したかという、今のこの日本の体制では、将来の日本の国は大変なことになるぞということをおっしゃられた。小学生の私に、その意味が何だかわからなかったんですが、徳富蘇峰先生がおっしゃつていたのは、WGIP、そしてプレスコードの問題、マスコミの先生でございましたので、そのあたりを一番感じていたのかなというふうに思っております。

それから、佐々木信綱先生のところへお邪魔した時に、お邪魔すると、いつも勉強しているんですね。もう先生は八十八ぐらいでしたから、そういう御老人がいつも机の前に座つて勉強しておられた。先生に、何でもそんなに勉強しているんですかと申し上げると、佐々木信綱先生というのは第一回の文化勲章をいただいた方でございます。その方が小学生の私にこう言いました。私が一時間勉強すると、お国の学問が一時間進むから、私は勉強しないわけにはいかないんですよということをおっしゃつておられました。八十過ぎて新しい本を出したりと、活躍をされておられました。

それから、松井石根さんのこととお話をさせていただきます。皆さんは御存じないかもしれませんが、松井石根さんという方は愛知県出身の方で、南京シナ派遣軍の大將として中国に派遣されて、南京を落としたのが松井石根大將でございます。この方が、戦後、GHQのA級戦犯として逮捕され、処刑をされたわけですが、本当に南京事件があつたのか。松井さんは、南京事件があつたことすら知りま

様がおられるなというふうな雰囲気、奥の森に入つていただけると感じるように、職員は大変ですけども、よく掃除をしております。参拜の方から、きれいになっていきますねと言われるのは本当にありがたいと思ひますし、これからは、神様にお仕える中で、ここに神様がいらっしゃるんだということを参拜の方に知っていただきたいなというふうにお守りをしてまいりたい、このように思っております。

このためには、やはり氏子の皆様の力も借りなきゃならないし、それから今、神社界で一番問題になつていられるのは、都会の神社はいいですが、過疎地、田舎の神社は存立が危ぶまれている。お祭りをどうやって継続していったらいいのか。このあたりが、これから神社界にとつて大きな問題になつてくるだらうなというふうに思っております。

今日は、私が御奉仕しながら普段思つていふことを勝手に申させていただきました。私は学者でございませぬので、学問的にこれはどうなんだと言われたら、何ともお答えはできないのですが、神様に奉仕していると、色々と感じさせられるものがあるなということ、皆さんもしっかりと神様の御奉仕をしていただいで、そうすれば氏子の皆さんも、あの人は神様に一生懸命奉仕しているから、我々が守つてあげなければならぬということも考えたいだけだらうなというふうに思ひます。氏子の人と仲良くすることも大切です。それから、神様のお氣持を付度することも大切です。そうやって神社を守つて、次の世代に伝えていっていただけたらなというふうに思っております。今日は拙いお話でしたけれども、長時間お付き合ひいただきまして、ありがとうございます。(了)

脳科学者・医学博士・認知科学者

中野 信子 先生



皆さん、こんにちは。よろしくお願います。皆さんが拍手をしてくださった音が、やはり他の会と違うなというか、神職の方の拍手は清々しい感じがいたします。爽やかな雰囲気ですね。いつも打っていらつしやるからでしょうか。

ここに参ります時に、茨城、水戸に来るのは初めてですかと御質問があったんですけど、実は、東京都で生まれたんですが、小学校六年間は茨城に住んでいたことがありまして、小学校の名前まで当てられてしまつて、今日は、非常に懐かしい気持ちで、こちらに伺いました。いつ頃住んでいたかといいますと、八十年代の初めから終わり頃なんですけれども、あの頃ちょうど「つくば万博」がございました。みんなが科学に夢を抱いて、今よりずっとみんなが科学を信じていた時代だったかもしれません。

いわば科学信仰とでもいいますか、科学の名前がついていると、何でもかんでも正しいような感じがしたり、新しいような感じがしたり、自分の未来を開いてくれるんじゃないか、そういう予感がするものがたくさん出てきた時代だったかなと思います。私も、コミュニケーションに難があったりしたものですから、そういう時代の雰囲気から、科学で何とかできるんじゃないかという発想を持った経緯がありました。

茨城を後にして、学校に入りましたら、すぐ利根川先生がノーベル賞を取られたんです。免疫系の多様性について、そのメカニズムを明らかにしたという研究でした。人体の仕組みが、人間は不思議なものだ、神の力によって人間は病気になるんで済むんだと思われていたものが、実は科学でわかつてしまったというようなことが立て続けにあったわけです。

しかしながら、宗教の果たす役割というのは否定できない。あの頃から数えると、ちょうど三十年たったわけですけども、三十年たつてようやく、科学がカバーできないものがあるんじゃないかというところに人間は立ち返ってきたのかなという感じがいたします。

じゃ、宗教の果たす役割とは一体何なんだろうとしみじみ考えてみようというのが本日のテーマになるかと思えます。

皆さんは、独裁者ゲームという心理課題を御存じですか。勉強熱心な方は既に知っていらつしやるかもしれないですけども、念のためにお話をしますと、独裁者ゲームというのは一対一でやる心理課題です。どういふふうにするかというところ、ここに分け与えるべきリソースがある。千円札二十枚、皆さんがそれぞれ持っている。この千円札二十枚持っていて、誰かがやってきて、その相手に何枚か分け与える。そういう権利を皆さんが持っている状態です。

こういうのを独裁者ゲームの初期条件として与えられているわけなんですけれども、この時に一番合理的な分け方は何かわかりますよね。自分で全部を決めるといふ分け方、十対ゼロで全部自分のものにするといふのが最も合理的な分け方です。経済合理性にかなう分け方。

だけれども、分け与える権利があるよという時に、十対ゼロで自分のものにしちゃうのはどうでしょう。相手の顔が見えないとあれかもしれないですね。相手の顔が見える場合、何かちょっと申し訳ないような気持ちになったりする私、けちだと思われたらどうしようとか、この人、もしかしたら本当は困っているかもしれないしとか、ちょっと分け与えることで自分の立場を有利にしようとか、色々な思いが働くと思わうんです。

この独裁者ゲームをやると実際どうなるかというところ、大体二割から三割程度相手に渡すといふことがわかつています。合理的な選択じゃないですね。二割から三割も相手に渡しちゃう、自分のコストをかけてでも、自分の分け前から与えちゃうといふことは、余り経済合理的ではない。だけれども、こういう選択を多くの人がする。なぜでしょうという話です。

面白いことに、この独裁者ゲーム、やる人によって結果が変わつてきて、学歴の高い人ほど自分の分け前を多くするということがわかつています。嫌なものですね。プロフィールを紹介されて、中野は二十枚自分のものにするのかなと思われそうな感じがですけども、どちらかといえば、分け与える側でいたいと思います。皆さんはどうでしょうか。

この分け与える値段、四枚なら四枚、五枚なら五枚、千円札を相手に渡す。この分け与える割合、この値段、コストの部分、何を反映しているかというところ、これは相手から嫌な奴だと思

われたくない値段です。このコストを分け与えるから、自分のことをいい人だと思つてほしい、あるいは、相手に対して影響力を持つていたい、つながりを持つていたい、そういう気持ちの値段です。

この独裁者ゲームの何が面白いかというと、これまで非合理的な選択とか迷信とか迷妄と思われていたような心の動きを数字にすることができ。数字にすることができるとは、科学のまな板に乗せることができるということです。そういう点で面白い実験です、気持ちの部分。しかも、この気持ちというのは、恋愛とかそういうものとかちょっと違う。社会性に関わる部分です。集団の中で生きていく上で大事な機能、相手の気持ちを忖度するとか、自分の立場を確保しようとか、そういう心情を数字にできるという実験。

これは、ここまで行動実験です。じゃ、脳のどこが働いて、この気持ちが起こるんだろう。これも測ることが出来ます。これは脳のどこが行っているのかといいますと、前頭葉の一部なんです。前頭葉というのは、皆さんの脳の前半分が前頭葉に当たる部分と思つていただいで差し支えないくらい、大きな範囲を占める領域です。この前頭葉の一部が社会性を担っている。その一部というのはどこかというところ、皆さんの眼球が収まっている目のくぼみがあります。このことを眼窩といいますけれども、この眼窩に接するような脳の前頭葉の底面、底の部分に当たるところ、この部分を眼窩前頭皮質というんですけども、この部分が活動して、相手の気持ちをわかるよう、共感しよう、この人は今何を苦しんでいるか、今何を求めているかということを理解しようとする。泣いている人がいれば、同じように泣きたくなり、笑っている人は、つい自分もつられて笑つてしまう。誰



か怒っている人がいると、何か自分の気持ちもささくれだつたような感じになる。そういうことを行う領域が、この眼窩前頭皮質にあります。この部分が働いて、もしかしたら相手の人が千円札四枚ぐらいは欲しいかもみたいなとって、私達に経済合理的でない選択をさせる。これが人間の脳の特徴的な振る舞いでもあります。

人間の特徴というふうにし上げたのは、前頭葉がこんなに発達しているのは人間だけなんです。他の霊長類を見ても、体に対して脳の大きさはそこそこの人間と遜色ない対比を持っていて、私が横を向いてもそんなにおでこが出ていないわけじゃありませんから、前頭洞というって、脳が丸く前側に向かって割と出ているという特徴があります。ひさしのように出ているわけではないんですが、猿だとうなるかという、新幹線の「のぞみ」号のような形をしているわけです。ひさしのように、前頭葉の丸みがないような、そういう脳の形をしています。

人間になって膨らんだ部分というのは、社会性を司る領域にあり、また別の能力もあります。遠い未来のことを考える能力です。こうした能力を、人間になって、私達は身につけてきたというわけです。この社会性の部分、恐らく、身近な部分での宗教性、普段の生活における宗教性を支持している神経基盤だろうと考えられる。

また、今少し申し上げた、遠い未来のことを考える機能、これは底面ではなくて、前頭前野の外側がやるんですけれども、表面部分ですね。この部分は、例えば、三年後にこの試験があるから、今からこういう計画を立てて頑張ろうとか、五年後にこれこれの建て替えがあるから、予算の算段をこうして、ああして、この人にお願いでと段取りをつけたりとか、大分長期的

えているけれども、それを言わないという方法で答えているんですね。面白いと思います。それは厳格な運用ではなくて、柔軟な運用を促すために、あえて言わないんだな、運用なんだと思いますけれども。

じゃ、科学の流れについて、閑話休題、戻しましょう。

一八七一年、皆さんも御存じのチャールズ・ダーウィンという人が、「種の起源」という本の中で言っているんですけども、道徳性の進化について、彼はやはり不思議に思った。何でこんなものが進化してきたんだ、必要ないんじゃないかと思つたのでしよう。彼はこんなふう

に言っています。社会性の起源、道徳性の起源というのは、捕食者、天敵がいた場合に、天敵に対して自分達を守らなければいけない。集団で生き延びる必要がある。なぜなら、私達は子供を産まなきゃいけないので、個体だけで生き延びても全く意味がないんです。一人だけ生き延びても、遺伝子が残せない。個体で生き延びるのじゃなくて、みんなで生き延びる。その時に、防衛手段として、やはり女、子供から先に守らなければいけない。子供を産む人達、若い人達、次世代の人達、これらを守らなければいけない。率先して戦おうとする性別の人がいるわけですね。ジェンダーダイファレンスのことを別に言いたいわけじゃない。単に筋力がある人が戦うというだけで、別に女が戦ってもいいんです。女性差別というつもりは全くないんですけども、そういう傾向がある。

その時に、互いに信頼し合う必要があります。この人は自分を守ってくれるのかどうか。そんなことを疑い始めたら、集団で守り合うことができない。この人は自分を守ってくれるのかどうか。誠実なのかどうか。互いに信頼関係を築

な計画を立てたり、そのために我慢するべきところは我慢する、抑制の機能を持つたりとか、それから、損得勘定の計算をするようなところ、これが外側の前頭葉の部分なんですけれども、この部分も、ある意味、宗教と関わりがあると

言ってもよい部分ということが出来ます。なぜなら、死んだ後のことを考えて何か準備しておこうとするのは人間だけ。死んだ後のことを考えて、何かの行動をチョイスして、準備をさせ、今の行動を抑制し、節制して、規範のもとに歩ませよう、そういうことができるのが前頭葉の外側の部分です。

この部分、単に道徳心というふうにし上げても差し支えないんでしようけれども、なぜか人間というのは、これを道徳心とか進化的な機能という形で体系化はしないんです。私が幾ら科学的にこうですよ、こういう分子がこう働いて、この機能になつていきますよと言つても、余り納得してくださる方はいない。むしろ、僧侶とか神職の方が、あなたにはこういう使命があるんですよと言おつしやる、その一言の方がずっと受け入れやすい。不思議なものです。こういうふうに進化しているんだと思つて。

こういうようなことを生物学者のウィリアム・ハミルトンという人が言っています。体系立てて言っていきたいと思います。

まず、人間が宗教性を持つというのは何なんだということも多くの人には思つていません。金銭的には合理的でない選択をする。また、利他的な行動というのがあります。利他的な行動というのは、これは不思議なことに、自分を犠牲にして誰かのために何かをするというわけなんですけれども、こういうのを率先してとろうとしたり、また、こういう行動をとった人をよしとする、美しいと思うという機能が自然に私達に備わっている。何でだ。何で合理的な選択の方

けるかどうか。それを確かめるステップをすつ飛ばして、仲間ですねと言つてもいいかどうか。このために、あなたはある宗教を信じている。同じ尺度を持つて行動している、同じ規範を持つて行動している人達ですね、ということを簡単にわかり合うための手段として、宗教というのがあるんじゃないかという仮説。それから、互いに誠実であるということ。

それから、リーダーに対して、ある程度従順である必要がある。命令系統がばらばらでは、ここから敵がやってきた、対応しよう、でも、こつちからも攻められた、対応しよう。これでは負けてしまう。だから、ある一人のリーダーを決めて、この人が指揮をして戦うということが勝ち残るために必要。そうすると、社会性、集団で生き延びるための道徳性、倫理性というものがある。進化してくるんじゃないか。そういうものを持つていなければ、既に死んでしまつただろうという仮説をダーウィンは立てたわけ

です。ただ、この時に、彼の理論だと説明できないのが利他性なわけです。利他性というのは説明しづらい。もちろん、自分の仲間である女、子供を守るとか、妊娠している個体だったり、まだ若くて戦うのに十分な力を持つていない個体これらを守るために仲間であるということ。説明がつくけれども、全く仲間とわからないような相手に対しても、何か子供はかわいいやうなうような感じがしたり、女性は守つてあげないといけないという気がしたり、女性でも、この人は戦いに余り向いていないかもしれないなと思つた時に、守つてあげたいなという気持ちが生じたり、自分を犠牲にしたりという気持ち。この気持ちが生じるのはなかなか生物学的に説明しづらいので、これに対して補強する仮説を提唱したのがウィリアム・ハミルトンという人

が美しくないので。不思議じゃありませんか。

例えば、二十枚自分のものにする。合理的な選択の方が何か汚い感じがする。金銭的に得をするような選択をした人を見て、みなさんは、恐らく、あいつは金に汚いやつだと言うでしょう。何か欲の深い人を見た時に、醜いと思うはず。何ででしょう。しみじみ考えてみると、不思議ですね。生き延びるために必要な機能です。欲が深いというのは、欲が深くなければ生きていけない。食べ物を食べなければ人間は死んでしまう。もちろん、それを得るためのリソース、金銭が必要。

それから、例えば異性に対して欲が深いということ、これも非常に汚いことだとされますけれども、でも、異性に対する欲がなければ子供すら残せない。遺伝子が残らない。それなのに、何で、それを汚いとする。忌むべきものだとする機能ができたのでしょうか。なぜ宗教はそれを戒めるのでしょうか。不思議じゃありませんか。

宗教的に、厳格にそれを守つて生きていったら、神道は余りそうじゃないかもしれない。仏教でも、灰身滅智(けしんめつち)という言葉の方をする。厳格にその教義に則つて教えを実践していつて、何が起るか。身が灰になるというふうには言いません。じゃ、一体どうしろというふうには思うんです。修行されている方は。困っちゃう。一方では教義を守れと言う。だけれども、私達は人間だから、生物だから、生き延びなきゃいけない。この根源的なせめぎ合いが、ひよつとしたら、科学対宗教の根源にはあるのかもしれないと思つて。

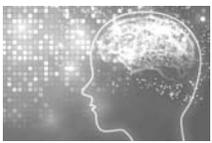
まだ科学はこの問いには答えられていないですね。途上と言つてもいいです。宗教側でこの問いに答えているかという、私は、面白いことに、これは答えていると思う、ある形で。答

です。ハミルトンは何を言つたかという、血縁選択説という話をしたんです。自分の子供じゃなくとも、自分と血縁的に近い人の子供が残れば、遺伝子が残るから、叔父、甥の関係とか、叔母、姪の関係にある人とか、そういう人は率先して守ろう、自分が犠牲になつても守つていこうという気持ちが生じるんじゃないかということ

を提唱し始めました。それから、集団選択説という話もこの人が提唱しました。個体よりも集団に利益を与える遺伝子、自分のエゴよりも、みんなを大事にする遺伝子、利益を与えようとする遺伝子、この人が大事にされて、遺伝子を残しやすくて、その遺伝子を持った人達がふえていく、一般化する

という仮説を立てました。ただ、こんな都合のいいことが起きるかという議論もあつたわけです。そんなに人間つてきれいなものじゃないだろうと言う人がいるわけですね。その後、ジョージ・ウィリアムズという人が反論しました。こういう自然淘汰が集団レベルで働くのはおかしいんじゃないかと言つたわけですね。当時、共産主義真つ只中、こういう人間にやさしい科学というのを否定する流れがあるんです。そんなに人間に都合よく自然はできていないよというふうには言つて、ウィリアム・ハミルトンのような人を攻撃しました。学生さん達もこれに乗つて、迷信を垂れ流すと言つて、ウィリアムズに同調して、ハミルトンを攻撃したりしたんです。

もちろん、社会性が進化してきたとすれば、黙つてはいない。ロバート・トリヴァースという人がさらに援護射撃する。血縁関係のない集団内でも、自然淘汰、互恵的利他主義に有利に働くというふうには提唱します。互恵的利他主義というのは、全く利害関係のない、血縁でもな



倫理観、道徳観を持っているのも機能の一つ、社会性を持つて、ほかの集団に対応していく、勝ち残る、生き延びるための機能の一つであるというところは色々な人によって論じられていますが、この社会性、地域によって違うんじゃないかという議論があります。

例えば、集団を個人よりも優先しようとする性質、これが地域によって違うよということを示した論文が二〇一四年頃に発表されています、中国の米作地域と麦作地域の気質を比べてみるんです。同じ国だから似通った生理的ベイスを持つているだろうという考え方のもとで比較をする。そうすると、どっちの方が集団を優

先したかという、米作地域なんです。

米作地域で何でそういうことが起きるのかと、いいますと、米作地域の方が麦作地域よりも、より多くのステップを踏まなければならぬ。灌漑もしなければなりませんし、麦よりも多くの工程を恐らく踏むんじゃないかということ、この研究者達は、集団でとらなければならぬ行動が多ければ多いほど、集団を個よりも優先するということを示されてきたわけです。

同じ日本であっても、恐らく気質は異なるでしょう。例えば、ここ水戸と、私は今横浜に住んでいるものですから、横浜と大分違うでしょうね。明治維新から年数がたつて、節目の年を迎える行事がたくさんありますけれども、桜田門外の変は一八六〇年でしたか、ありましたよね。とても対照的だなと思いますけれども、割と集団で何かをするという意識が水戸藩はあったんでしょ。水戸学というふうに伝えられるものですが、非常に規範意識が高いといえますか、集団で何かをしようという気持ちの強い人達であろうと考えられる。

この人達と、開国で恩恵を受けた横浜の人達大分違いますよね。横浜は、恐らく当時は、商業で生計を立てたり、新しい学問を身につけようと裸一貫で出ていくような、今でいうIT社長みたいな人達がいたところだと考えられる。そうすると、大分雰囲気は違いますよね。水戸でこの話をするとは思わなかったけれども、井伊直弼の銅像が横浜に立っているんです。横浜を発展させた礎の人という位置づけがあります。一方で、やはり当時の水戸藩の人達にとっては国賊という意識があったと思われ。非常に面白いことです。

集団の規範から外れた人に対する攻撃をよしとする人達、それから、そういうものは忘れて経済的に合理性を持つて生きようよという人達

コストをもうちょっと下げる必要がある。こういう四人のジレンマが起きにくいようにする必要がある。何か一つ一つ物事をやる時に四人のジレンマが起きまくっていったら、その集団そのものの利益が下がっちゃうので、この人は信頼していいだろうというのを、私達はトークンを出すことにしているんです。見えないトークン、それはオキシトシンという物質で媒介されます。面白いことに、一緒に空間に長いこといると、その人は信頼してもいいような感じがしてくる。あるいは、よく会っている人、この人は信用できるんじゃないかと自然に思ってしまうメカニズムが脳にはあります。あるいは、直接会っていないくても、あの人はテレビでよく見る人だとなれば、信頼しているような気がしちゃう。

選挙でもよく使われますね。知名度が高い人というふうに言うけれども、顔がよく売れている人の方が信頼できるような感じがする。脳のセキュリティホールがあつて、これを使つた仕掛けがあるわけです。

この信頼を、できるだけ速やかに、どちらかが初めに、どちらかが偏つて信頼することがなるべくないように起こさせる。これが、道徳システムの一番ベースにある基本的な考え方と云つていいと思います。

この結束させるという機能が、人間、非常に面白いわけですね。レリションという言葉がありますけれども、ラテン語の「束ねる」という言葉が起源です。レリガールという単語があります。「束ねる」という言葉が起源になって、宗教という言葉になっていきます。日本の宗教という感じと違いますね。結束させるという意味があります。

この結束させるという性質は非常に特徴的であつて、進化的にアプローチができて、私達が

いし、集団の違う他人であつても、互恵的利他主義があれば、これをとつた方が生き延びるのにお互いに有利になるから、これを選択できる。こういうのを選べるタイプのパーソナリティを支持する遺伝子というのが広がりやすかつたんじゃないかということ、この人は言っています。

エンドワード・ウィルソンが、この後に社会生物学という分野をつくつて、さらに提唱している。ウィルソンは生物学者だつたんでしょけれども、生物学者だつたウィルソンが、動物を観察していた範囲を、人間の行動を観察するというふうに範囲を広げて、こういうふうにするんですね。倫理に進化的アプローチが必要なのは自明だということに言う。進化的アプローチ、倫理は別に人間が人間らしくあるために神から与えられたものじゃなくて、必要だから進化してきた、そういうふうな考え方が自然だろうというふうにするわけですね。ただ、これもマルクス主義者にたくさん攻撃されたんです。そんなもの、進化するわけがないじゃないかと云つて、非常に激しい応酬がありました。

こんな話でもよければ、もう少し続けませうけれども、また、リチャード・アレクサンダーという人が、社会生物学の延長線上で、こういうことを言います。この人は道徳性の研究をしたんでしょけれども、人間の祖先はどうやって生き延びてきたか。確かに、多くの動物には天敵がいるわけですが、人間の天敵というのは、もはや人間じゃない。モスキートとかウイルスとかいるけれども、それらはまたちよつと別の戦い方になりますね、公衆衛生。こういう戦い方じゃなくて、実際同じようなサイズの個体と戦うとなると、人間同士の戦いになる。同じ人間同士の戦いになった時に、防衛策として、やはり集団を形成する以外ないだろう、集団を

形成する時のチップスが人間の脳に埋め込まれていると考える方が自然だと言っています。集団を形成する時のチップスというのはどういうものかという、互いにいつせいのせいで信頼戦略をとらないとどちらにも損になるのに、損のチョイスから得になるチョイスに変えられないという、四人のジレンマゲームですね。

四人のジレンマゲームを説明します。私とどなたかが共犯で銀行強盗をしました。と、その時に、お互いに別々に捕まっちゃつて、取調室にいます。お互いに黙秘していれば、一年収監されるだけで済む。どっちも各自してしまつたら、三年収監される。片方が各自して、片方が黙秘していたとすると、各自した方は釈放される。だけれども、黙秘している方、要するに、裏切られた方は十年収監されるという条件。つまり、お互いに黙秘、お互いにしゃべるとどっちかが黙秘、どっちかが各自という条件です。

一番いいのは、両方とも黙秘して、一年だけ我慢して両方とも出てくるというのが一番得な選択ですね。だけれども、お互いに見えない状態にいますので、信頼していいかわからない。もしかしたら、あつちがしゃべつちやつていられるに十年、自分は我慢したのに十年入らなければいけない。あつちもそういうふうに思うわけですね。同じように思う。どちらも疑心暗鬼にさいなまれて、恐らくしゃべつちやうだろう。しゃべつちやうとどうなるかという、両方とも三年収監されることになる。どっちも黙秘していれば一年で済むのに、やはり三年入ることになつちやうねというのが四人のジレンマというゲームです。信頼し続けることが難しい場合に、こういうふうになつちやう。

集団を維持する時は、信頼する時の心理的な

大分生き方が違う。こういう生き方、戦略の差というの、それぞれ分かれてくる。国民性の差もあるでしょうけれども、国民性の差というものもある。国民性の差という意味では、日本は、どちらかといえば規範意識が強い遺伝子を持つている人が多いです。

皆さんに御質問をしてみたいと思うんですけども、やや心がざわつく質問かもしれない。例えば、誰かを殺さなきゃいけないよというふうに指示された。その時に、どっちのナイフを選ぶか。三千円のナイフ、三百円のナイフ、どっちでもいいよ。どっちを選ぶでしょう。皆さんに手を挙げてもらいましょう。三千円を選びますという人。三百円の人、理由を聞いてもいいですか。一番近い方、お願いします。（「三百円で殺せた方が経済的かなと思います」と発言）そうですね。おっしゃるとおり、経済的ですね。大変興味深いお答えです。

それから、もう一つこういう考え方があろう。三百円のナイフの方が、恐らく切れ味が悪いだろう。切れ味が悪いナイフの方が相手にダメージを与えるんです。こういう理由で三百円を選ぶ人がいます。ごめんなさいね、三百円のナイフを選んだ人が必ずしもサイコパスと言いたいわけではないんだけど、もしかしたらちよつと素質があるかも。

その素質がある人というのが、世界に比べると、日本では割と少ないだろうと思われているんです。どちらかといえば、相手に苦しみを与えることに對して、やや抵抗があつたり、できればそういうことは余り深く考えたくないねというタイプの人が世界に比べて多いだろうと考えられている。

じゃ、日本にこの集団の性質があるのはどう



ということなんだろう。このサイコパスと呼ばれる人達はどういう人かというところ、社会性にやや欠けるという性質がある。社会性に欠けるといふのはどういうことかというところ、集団を自分より優先する性質がやや薄い。どちらかといえれば冷静に考えられる人。さっきの独裁者ゲームを覚えてますか、あの時に二十枚を自分のものにする人かもしれない。冷静に考えられる人です。人から悪く思われても、そんなに大きく心が動揺しない。どちらがいい悪いと言いたいわけではなくて、集団を優先する性質が強いのか、それとも合理的な性質を重視するのか、どちらかということなんです。

集団を優先する性質が強い日本人、どうしてこういうふうになったんだろうと思うわけですが、集団を優先する性質というのを一言で言ってしまうと、社会性、宗教性と言ってもいいと思います。合理的に物事を割り切るよりも、お水一杯にも神が宿っているんじゃないか、何か清める力があるんじゃないかというふうに思ったり、いわば神の国と言ってもいいかもしれません。こういうふうにいる人が多い国というわけです。物事に何か宿っているんじゃないか。割り切れないものがあるんじゃないか。

では、何でこういう性質が育ったのかということをお察しいこうと思っております。この部分は、私は割と興味があるんです。

人類発祥の地はアフリカと言われていて、そこからずっと長い年月を経て、日本にまでたどり着いたり、あるいは、人によっては、海を越えて、大陸を越えて、南北アメリカ大陸まで広がっていったりということが言われているわけですが、でも、じゃ、最初に同じ集団から始まったのに、何でこんなにバリエーションがあるんだらうというふうに思いませんか。私はすごく不思議に思いました。何で欧米の人はサイ

この非合理的な性質、こんなことをやっても、全然誰にも何の得にもならないですね、直接的には。直接的にはならないけれども、何でこんな性質がこの国には集まっちゃったのしょうという考察ができる。

この日本の特殊性というのを冷静に分析するには、日本の地理条件とか社会条件、環境条件というのを分析する必要があります。もちろん、他の国には他の国の事情があります。例えば、同じ集団がやってきて、日本に住みついた。この同じ条件で、違う性質を持った人達が同じ数だけいる。社会性を優先する人達と、余り優先しない人達、同じだけいる。そこから用意ダウンで出発する。

その時に、日本の条件、どういう条件があるか。比較的移動が難しい。島国ですし、なかなか外に出られない。それから、意外にも平野が少なく、移動がちょっとしんどい。

さらには、江戸時代が割と長く続きました。何百年か続いた。二百年六十年続くと何世代かというところ、二十年一代というふうに計算するんですけれども、すると、十三代も代替わりしているところ、かなり遺伝子の割合が変わります。江戸時代は何があつたかというところ、藩をなかなか変えられないわけですね。一つの村を抜けて、よその村に住みつくのはなかなか難しい。ということで、東西の通行率も非常に低いし、遺伝子が混ざらない。

その集団の中で生きるしかないとなると、その中で何が起きるか。自分を優先する性質と

コパスが多くて、日本人に少ないのだろうと思えます。見た目のちよつとした違いもあるんだけれども、それ以上に、脳ももちろん肉体の一部なわけですから、欧米人と比べて、日本人は違う部分というのは結構あります。こういう人種的な差を言うと、今ちよつと抵触することが色々あるので、余りたくさん言いたくない。言いですけれども、実際に実験があつても、言いくかたつたりする。



例えば、言っても差し支えなさそうなものとしては、脳にばちばちと磁気を当てる実験をするんです。TMSという磁気刺激を与えて、この時に、欧米人の頭蓋はちよつと薄いです。

こののがどんどん消えていきます。みんなのルールに従わずに、自分のやりたいことをやるぜという人、うまくいっているうちはいいけれども、ちよつと失敗すると、あつという間に袋だたきに遭つて、殺されるまではいかなければならないけれども、少なくとも遺伝子を残させてもらえない。そういうことが起きると、どういう人達の遺伝子が濃縮されるか、自明ですね。一人のルールよりも集団のルールを優先する人、これがどんどん濃縮されていくわけですね。

もう一つ大きな要素、これを忘れてはいけません。災害が非常に多いという特徴があります。世界の陸地すべて合わせた総陸地面積というのがありますが、総陸地面積に占める日本の陸地面積の割合、御存じですか。〇・二五%、一%未満です。すごく少ないんです。

災害はどれぐらい起きるかといいますと、三月十一日を今年も迎えて、学び直された方も多々あると思うんですが、マグニチュード六以上の地震というのが起きる割合は、調べてみると、全世界で起きるマグニチュード六の地震のうち、何と五分の一、二〇%が日本で起こります。すごい割合ですね。〇・二五%の土地に二〇%が集中するということが起きている。

これだけではない。災害というのは他にもあります。風水害、これも、何の因果か、台風の通り道に当たりまして、去年すごい被害があつた土地がたくさんありました。そういう地域から来られた方もいるかと思いますが、被災地ではないところを探るのが大変というくらい。

そういう災害の多い国ですので、こういうところでは何が起るか。復旧作業は、みんなやらなきゃいけないんです。復旧作業をやらないう人が一人だけいた場合、何が起きるか。これも明らかですね。この人も、何らかの形で遺伝

薄いので、欧米人の出力でやる時にはメモリの三割くらいでやっていたということが論文にあった場合に、日本人で実験する時、倍くらいでやらないとちゃんと刺激が入らない。なぜなら、頭蓋が分厚いから。日本人は比較的分厚いんですけれども、もつと分厚いのは、ニューロンのマオリの人はもつと分厚い。オルブラックスとか見ると、体もごついけれども、頭蓋もやっぱり分厚いんです。こういう違いがあります。ちよつとした違いがありますし、こういう頭蓋の違いまでは言ってもいいけれども、脳の中が違うよと言つて怒られちゃう。

日本人のいいところだけ言います。知能指数というのがあります。知能指数を測ると、あれは真ん中が百になるように設定されて試験をするんですけれども、日本人の平均をとると、真ん中が百だから、どこでやっても平均が百になりそうなのだけれども、日本でやると、なぜか平均が百五から百十ぐらいの間になるんです。割と知的に恵まれた人達の国だということも言えると思います。百五から百十がそこそこいいと思われれるのは、大体、東大生の平均が百二十ぐらいと言われています。世界的に見たら、割と賢い部類に皆さん入るかなと思われれます。東アジアは割といいですね。その中でも日本はいい方ということで、こういう違いが脳でもあるよということなんです。

では、パーソナリティの違ひとしてはどうか。先ほど申し上げた、集団を優先する性質が強い。それから、もう一つ面白い点は、異物を見つけてるのが非常に得意という性質があります。異物を見つけてくるというのは、集団の中における異分子、例えば、みんながこういう格好をしているのに、一人だけ悪目立ちしている人に見えちゃう。この人に、何とかみんなと同じように振

子を残させてもらえないわけですね。みんなのために自己を犠牲にして何かする人が重宝される。そういう社会が出来上がっている。環境条件で出来上がっちゃう。何代も何代も経ているうちに、そういう遺伝子ばかりが残るようになるというのが日本の成り立ちです。

そうすると、仮に、合理的にアメリカの金融コンサル仕込みの何かを提唱して、一人だけ勝ち上がろうとしても、結構難しい。もちろん、短期的にはできるでしょう。IPOでばつと会社を売って富裕層になることはできると思えますけれども、そういう人が必ずしも長期的に支持される国ではないということが言える。どちらかといえば、みんなのことを深く思いやることができるだけ抑制的に振る舞い、慎重で、自己犠牲的に共感力を持って生きる、そういう人が支持されやすいと考えられる。支持されるというのは、遺伝子を残させてもらえらるということなんです。

そのための戦略、ある程度ビルトインで入っている。どちらかといえば、自己を優先する人よりも、他者を優先する人の方が美しいと思われやすい国であるし、自己を優先するタイプの人は、この方が合理的だ、みんなのために何かするなんてちゃんちゃらおかしいというふうな時々大きな声で言う人がいて、その人がばつともてはやされることがあるんだけれども、やはり同じだけアンチの声があつたりする。そういう人よりは、地味でも、みんなのためにこつこつと働いている人、こういう人が生き延びやすい。面白いことだと思えます。この人達の戦略を補強するための仕組み、これが日本に根付いている宗教かなと思えます。

これをできれば数式で記述したいのですけれども、数式で記述しても、みんなよくわからないです。自分でもよくわからなくなっちゃう





つと警鐘を鳴らしたい部分です。日本のちよつと怖いところ。ちよつと怖いから、これ以上は言いません。皆さんでお考えいただければと思います。

私は、科学と宗教というのは手を携えていく必要があると思っています。宗教者だけで語る場合、今のような、利他性を持つ仲間のため何かしら、日本という国をもつと心から愛して、みんなで盛り上げていきましよう、そういう気持ちはすごく美しいし、私もそういう考え方は好きです。

だけれども、科学の光をここに当てた時に浮かび上がってくるのは、一人だけ浮いちゃった人が犠牲になりやすいかもしれない弱点があるよということがわかるわけなんです。ダーウィン以降の伝統として、社会生物学的な観点、心理学的な観点からして、セキユリティホールと言ってはなんですけれども、この弱点があるよということ、やはり科学の目がなければ言うことができない。一人だけそんなことはおかしいと言っても、魔女狩りに遭うだけ、ネット上の火あぶりに遭うだけです。やはりお互いがお互いの弱点を補強し合うのが科学と宗教の正しいあり方であって、これは科学と宗教の戦争であるべきではないなというふうに常々しみじみと思うわけがあります。

最後に、今のお話のまとめになるんですけど、私も、我が国は、こういう地理条件にあって、非常に社会性、宗教性の高い国にあると思います。西洋のスタンダードからいうと無神論のように見えるのかもしれませんが、そんなことはないということ、皆さんがよく御存じだと思います。私達ほど、自然に息吹を感じて、それを生活に取り入れている国民はいないんじゃないかと思えるほどです。そういう素敵な国だからこそ、こういうところに気を付けましようとい

なつてしまつたかという、誰だつたと思ひますか。例えば、子供を亡くした主婦同士とか悲しいですよ、相手のことを殺したいでしょう。自分の子供を殺されたら悲しいと思う人達とかあるいは、武器商人同士なのか、政治家同士なのか、子供同士なのか。

誰が一番仲良くなれなかつたかという、答えは歴史学者でした。性格にもよると思うんですけど、歴史学者同士は何で仲良くなれなかつたか。この人達は全部覚えてるんです。両国の間で起こつた紛争、あの時何された、こんなひどいことをお前達はしたじゃないか。ずつと忘れない。

御結婚されている方はどうでしょうか。パートナーとけんかしたことのない人というのは少ないと思いますけれども、けんかが長引いちやう時は絶対昔のことが蒸し返された時じゃありませんか。なるべくその時のことはその時に処理したいなところですけども、実は、忘れる力はとても大事。

あの時こうされたから返返ししてやらなくちゃという気持ちが盛り上がりやすい。なぜなら記憶というのはネガティブな感情により強く紐づいているから。いい思い出は余りよく覚えていない。だけれども、嫌な思い出はよく覚えていいる。なぜなら、嫌な思い出を覚えていいる方が生存には有利だからです。この人とは一緒にいない方がいいとか、この場所には近寄らない方がいいということ、この場所には近寄らない方がいいというのをより強く覚えていいる必要がある。いい思い出は、そんなにしっかりと覚えていなくてもいいんです。記憶力がいいということ、すごく生きづらい。ネガティブな感情と結びついているから。このネガティブな感情を集団で持っている物すごく大変です。嫌な思い出を繰り返して、繰り返して思い出させられちゃう。悪いのはあいつだとずつと言われる。自分

うお話。

どうしても、私達は、集団の結束を強めて、協力行動を促進していこう、みんなで生き残ろうという時に、いや、そうじゃないんじゃないというふうに言う人が一人いると、その人のことを攻撃しちゃうことがある。これは社会性のあるわけだからしょうがないんだけど、行き過ぎちゃうことがある。行き過ぎちゃう時に



ではどうにもできない。

記憶の良し悪しという、余り良過ぎるのはよくない。忘れる力がある方がずつといい。単純に相手を痛い目に遭わせて、それで勝ちかという、そんなことはない。本当の勝利というのは、お互いに得をするということ。決して、正義の主張ではない。どつちかが正しいということ、それを証明するのが戦いではないんだということ、まず最初に申し上げたい。

二つ目、スルーする力。

端的に言うと、目立つた人とか、ずるをしていいるような感じに見える人を見た時に、ひよつとしたら心がざわつくことがあるかもしれない。だけれども、そのざわつきを感じたら、ちよつと立ち止まって考えてほしい。その人は本当にずるをしていいるのか。別にずるをしていいないのだったら、あの人はああいいう人生の人なんだということ、スルーしてあげてほしい。お一人だけ攻撃することを避けてほしいということ。その人は新しい意見を言うかもしれない。もしかししたら、その人が新風を吹き込んでくれるかもしれない。イノベーションを起こしてくるかもしれない人だから、大事にしてほしい。みんな集団で間違つた方向に行つちやう時に、その人がブレーキをかけてくれるかもしれない。その機能を持った人を大事にしよう。スルーして、その人の意見も聞いてやろうじゃないかというふうな心を落ち着けてほしい。これが二番目です。

三番目、いかげんになる力、これもとても大事です。規範意識がある。これもすごく美しいものです。集団のために何かをしようとする。ルールを守る。今の御時世なら不倫をしないと、そういう感じになりますかね。だけれども、それは実は歴史によって変わる、絶対のものじゃない

気を付けてほしい。一人だけそういう人が出てきたら、もう一つ怖い状況というのがあります。対集団、自分達とは違う集団がいて、自分達に害をなそうとしているかもしれない。今、結構危険な状態かもしれないですね、外交状況からすると。色々な周辺国がありますけれども。

そういう時に、集団の結束を強める性質というの、その人達に對する、ちよつと逸つた攻撃心になることがあります。我々に害をなそうとする者達であれば先制攻撃をしてしまえという気持ちになつてしまふことがあります。その気持ちはとてもわかる。私の中にも、そういうのがないとは言えないかもしれない。

だけれども、行き過ぎてしまうと、さつきの囚人のジレンマではないけれども、どつちも得をしない。個人の互恵的利他主義というの、ある程度実現されている。集団間の互恵的利他主義というの、人間の脳はまだ処理できない。だから、あんなテクニカルな外交をしたり、こんなに歴史が長く続いている、いまだに戦争をしちゃう、武器も売れる。そういう状態に私達はいます。そこをどう処理するのか。社会性があるからこそ戦争しちゃう。こういう状況をどう処理するか。ここを覚えていくのが宗教者の一つの使命かなと思います。

私から御提案したいのは三つです。最初の一つ、忘れる力を大事にするということ。

脳科学という立場だと、記憶力を上げるにはどうするべきですかというお話をよく伺うのですけれども、逆だろうと思つてます。

コンボの紛争がありました。あの時に社会学者が実験をして、両陣営から人を呼んでくる。同じ職業の人、同じ立場の人だつたらわかり合えるだろうと、対話を試みさせると、そうすると、誰が一番わかり合えずにけんかに

いということ、どこかに刻んでおいてほしいのです。世界各国、国の数だけ規範があります。民族の数だけ規範がある。地域の数だけ規範があると言つてもいい。その時に、自分がよかれと思つて、この国ではそんなことでは生きていけないよと言いたくなる気持ちがあるかもしれない。でも、その時よかれと思つても、その人にとつてそうじゃないことがある。その人の正義は違う場合があります。それを怠ると、これもまた、お互いに得をしない戦闘状態が起こることがある。非常に損失が大きいし、宗教者としての言い方であれば、人々が争いに巻き込まれることになる。これはやはり避けたいところではないでしょうか。宗教者が先導して、争いは避けるべきだということに発していくべきメッセージがあると思つてます。

その時、一つの規範意識だけで人間は生きていけるわけではないということを知る。いかげんになる力。いかげんになるということと余りいい言葉じゃないな。柔軟である力というふうな言い換えましようか。宗教の場にいると、どうしても純粋性を求めようという気持ちが高まると思います。もちろん、その気持ちは美しい。だけれども、それにプラスして、新しい柔軟性、寛容性、二十一世紀の神道という道を開いていっていただきたいなというふうに僭越ながら思つております。

とはいえ、多くの異国の神々を受け入れて、千五百年ぐらい前は敵であつた仏教とすら手を携えて、盛り上げていこうという領域の人達です。私が何か申し上げるような立場ではないかもしれません。皆さんの方がずつと寛容性の伝統があると思います。今日は、このお話を楽しんでいただけたら嬉しいなと思つています。ここで講演を終わります。ありがとうございます。(了)

# 「氏子の未来とまちづくり 〜神社を中心とした地域活性化の可能性〜」



○鼎談

常盤 良彦 先生 (株式会社 Oarai クリエイティブマネジメント代表取締役)

大里 明 先生 (割烹旅館 肴屋本店代表)

杉山 潔 先生 (『ガールズ&パンツァー』プロデューサー)

(敬称略)

常盤 皆様、おはようございます。

今日は、神道青年全国協議会中央研修会にお招きいただきまして、ありがとうございます。

私達、先生と名のつくような人間でもございませんし、皆様から大きな拍手で迎えられるような人間でもございません。ただ、今、この「ガールズ&パンツァー」というアニメと大洗町で色々楽しくやらせていただいている中の中心的なメンバー三人という意味でございます。

たのが経緯でございます。

ただ、今ガルパンというワードが何個か出てきていますけれども、まず最初に、ガルパンとは一体何なんだろう。

関東地区の方、いらつしやいますか。関東地区の方は、恐らく、何かのニュースとかネット検索で、大洗とガルパンという言葉ぐらいは知っているかなと思うんです。ただ、今手を挙げていただいた以外の方々は、多分、何じゃ、それという、今頭の中がぼかんとしていると思うので、まず、ガルパンとは何なのか、そこからお話をしたいと思います。

正式名称は「ガールズ&パンツァー」といいます。杉山さん、「ガールズ」というのはもちろん少女ですけれども、「パンツァー」とは何ですか。

杉山 よくパンツと誤解をされるんですけども、英語とドイツ語がちゃんぽんになっていまして、「パンツァー」というのは、ドイツ語で戦車という意味です。もともとは甲冑とか装甲という意味なんですけれども、それが転じて戦車という意味になっています。

常盤 そうですね。略名でガルパンと言わせていただいております。

まず、テレビ版から始まりました。二〇一二年の十月から二〇一三年の三月、全十二話で構成されております。実は、これが放送されたのが、TOKYO MX、BS11、茨城にはテレビがないので、いばキラTVというネットTVで放送されました。

テレビ放映後、OVA、劇場版を経て、今、最終章という段階まで進んでおります。最終章の第一話が二〇一七年の十二月から。第二話がやっと、お待たせしました、今年の六月十五日から全国上映ということで、ぜひ御興味のある方は見ていただきたいなと思います。

## 氏子の未来とまちづくり ~神社を中心とした地域活性化の可能性~

三人で話しかると、とりとめがなくなってしまうので、私、常盤がコーディネーターを務めさせていただきながら、今大洗町で何が起きているのか、そして、大洗町の磯前神社とはどのようなかわりがあるのかということをお話ししていきたいなと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

今、紹介をしていただいたんですけれども、もう一度ざっくりと自己紹介させていただきます。

まず最初に、杉山さんからお願います。

杉山 今御紹介をいただいたんですけども、社名が変わりまして、バンダイビジュアルからバンダイナムコアーツという名前に変わりました。訂正させていただきます。

私、バンダイナムコアーツという、バンダイナムグループの中でアニメを中心に、あとは北野武さんの映画なんかをやっています。映像をプロデュースする会社、アニソンをプロデュースする会社で、プロデューサーを務めておりますけれども、一介の会社員でありまして、決して先生などという大それたものではありません。

二十二から業界に入りまして、もう三十五年ぐらいやっておりますので、それなりの経験を積んできましたけれども、「ガールズ&パンツァー」という作品で大洗の皆さんと縁を得まして、今一緒に楽しくやらせていただいているということですので。今日は、その経験をもとに色々お話ができればなというふうに思っております。よろしくお願いたします。

大里 皆さん、今日はよろしくお願いたします。

現在は、大洗町観光協会の会長をさせていただいております大里と申します。

本業は肴屋本店という旅館をやっております。

肴屋本店は、このガルパンというアニメの作品の中にも登場させていただいております。戦車でお店が壊されるというふうな設定の宿をやらせていただいております。多くのファンの方に来ていただいております。日本全国各地からお越しいただいております。

ガルパンが始まった当初、二〇一二年頃は商工会青年部の副部長をさせていただいております。その頃から常盤さんと色々やらせていただいて、現在に至るといような状況になっております。

町の方では、観光協会、商工会、様々なところで色々悪くみしながら楽しくやっております。その辺の、町とガルパンのかかわりのところについて色々とお話しさせていただきましたらなと思っておりますので、今日は、よろしくお願いたします。

常盤 最後に私、常盤と申します。改めまして、よろしくお願いたします。私は神奈川県で生まれ育ちまして、生まれた町は寒川町というところでございます。寒川神社がございまして、歩いて一分ほどのところで生まれ育ちました。

今から約二十年ぐらい前に、なぜか茨城に来てしまいました。それから、未経験ながらとんかつ屋を立ち上げました。その後、商工会青年部で知り合った仲間三人と、茨城県をもっと盛り上げようぜということで、大洗まいわい市場という直売物産所、昨日もお土産販売でこちらにお邪魔させていただいたと思うんですけども、そちらをまた未経験ながら立ち上げさせていただきます。

その後、東日本大震災を経て、杉山プロデューサーとなぜか知り合ってしまった、未経験分野のアニメで何か楽しいことができるのかなというところで、この三人で中心になってやってき



氏子の未来とまちづくり ～神社を中心とした地域活性化の可能性～

制作は、ガールズ&パンツァー製作委員会、杉山さんがいらつしやるバンダイナムコアーツを中心に、色々な方々で作られています。では、どのような物語なんですか。

今日は神道青年全国協議会ということで、「道」という文字がついているんですけども、乙女がたしなむと良いと言われている「道」がつくものは何でしょうか。例えば、弓道、茶道、華道といったものがあると思うんですけども、この世界の中では戦車道というのがあります。さあ、杉山さん、どうですか。皆さんが、だんだんぼかんとしてきましたよ。

杉山 「ガールズ&パンツァー」というのは少女と戦車というタイトルで、そのままなんですけれども、要は、架空の世界でスポーツものの体をとっておりまして、戦車を使って戦うのをスポーツとしてとらえ、高校の授業として、戦車を使って戦車戦を行うという、ちょっと聞くと気の狂ったような内容なんですけれども、まあ、置き換えて考えていただければ、野球のグロブとバットに当たるものが戦車になっているということでありまして、決して人が死なない、傷つくこともない。アニメですので、現実にはそういうことはもちろんないんですけども、この世界では特殊なカーボンで車内が覆われていて、基本的に人は死なない。純粋にスポーツとして、あるいは、道を究めるものとして戦車戦をする。

アニメの世界では、こういった形で、女の子達とメカの組み合わせというのは割とスタンダードな設定なんです。知らない方は慣れていただかないところなんです。知らない方は健康的なスポーツものとして、しかも女の子達の青春群像劇ということで、脚本家も女性の吉田玲子さんという方に書いていただいて、その部分でキャラクター群像劇としても人気をいただいで

の子が戦車に乗ってスポーツチックに戦うんだよというところまでは、ガルパンのことを知らない方でも、何となく理解はできたと思います。そのガルパンなんですけれども、アニメファンの方だけじゃなくて、私みたいなアニメを知らない方でも大好きになっていただける方がたくさんいらつしやるんですね。それは何でなのかということを手探りに検証してみようかなと思っております。

一つは、今まで実現できなかったCGによる精細な戦車の描写ということがあって、杉山さん、これはどういうことなんですか。

杉山 ちょっと難しい話になりますけれども、3DCGを使うまでは、アニメというのは、御存じのとおり、みんな手で紙に書いていたわけなんです。網膜残像現象というのを使って、あたかも動いているように見せるのがアニメーションなんですけれども、言ってみれば、少しずつ絵をずらして、それをフィルムにコマずつ撮影をして、それを現像して撮影することによって、網膜の方でそれがつながって見えて、動いて見える。これがアニメーション、映画の原理なんです。

そのためには、色々な箇所が少しずつずれている絵を描かなければいけないということなんです。ごらんのとおり、戦車というのは、リアルに描けば描くほど線が多いんです。要は、これを手で全部描かなければいけないのが昔の時代。

どう動くかという、キャタピラーが動きまわす。あれだけの駒のあるキャタピラーを一枚ずつ手ですらして描かないと動いて見えないんです。なおかつ、車と同じなので、下にある転輪という小さなタイヤが地面に合わせて上下に動いたりするわけです。なおかつ、砲塔が左右に

いるということなんです。

常盤 ここで聞きたいと思います。今日、「ガールズ&パンツァー」、ガルパンという言葉葉を初めて聞いたよという方、いらつしやいますか。

半分以上の方ですね。ということは、半分以上の方が、今杉山さんの説明を聞いても、何のことだかまだ全くわからないという状況になっていると思えます。

大里さん、ガルパンの話を初めて聞いた時、大里さんはどういった感想を持たれましたか。

大里 ええという感じだったんですけども、アニメで大洗の町が舞台になると聞いて、そういうアニメファンの方が少し来るのかなぐらいの印象はしなかったです。常盤 そうですよ。では、ちょっと先に進めます。

世界観なんですけれども、今杉山さんが結構しゃべっていただいたんですけども、こんなような世界観でございます。杉山さん、これを見て御説明お願いします。

杉山 言ってみれば、軽いSFのタッチをつけているわけです。

何で空母なのかというと、これは空母に見えるんですけども、実は、七キロある海上都市という設定になっています。形は空母の形をしています。この上に大洗の町の一部が移設されていて、そこで生活をしながら、女の子達が、自主性を養うために、自分達で町を運営しながら学校生活を行うという設定になっています。

これはなぜこういうことにしたかという、色々あるんですけども、戦車というのはマニアの方が非常に多くて、とはいえ、リアルな戦車を描いていくと、非常に地味なものになっていくので、アニメ的な嘘をついていかないとけないということがありまして、アニメ的な嘘

回って、砲身が上下に動く。場合によってはハッチが開くみたいな形で、可動部分が多く多い。線の可動部分が多いので、これを手で描いていると、アニメーターは死んじゃうわけなんです。

過去にも戦車を描いたアニメ映画はあるんですけども、有名なところでは、「風の谷のナウシカ」でトルメキアという国の架空の戦車が動くシーンがあります。非常に印象的なカットなんですけれども、あれをよく見ていただくと、全体像が映っているカットというのは物すごく少ないんです。そこはちゃんと動かしているんですね。ただ、大体キャタピラーから上のあたりをカットで切って、動かさなくて済むように、そこをうまく工夫をしている。その辺は、これを描いたり編集をしたりする人達のセンスということになるんです。

なので、実は、はじめに、ちゃんと正面切つて動かすというのがほぼ不可能だったのが、アニメでは戦車は鬼門と言われていたのですが、この作品に関しては、そこをCGの力を使って、正面切つてやりましょうということが大きなチャレンジだったということなんです。

常盤 ありがとうございます。その戦車が非常にリアルに描けるようになって、まずはアニメ好きの方もそうなんですけれども、戦車好きの方がすごく気に入っていただいた作品でもあるということなんです。

そして次に、女の子達が戦うということなんですけれども、武骨な戦車と全かけ離れた、女の子達がスポーツでどんどん成長していくというストーリーでございます。こんな感じで、今細かくチーム名を言ってもわからなくなっちゃうの。

忠実に再現された大洗町の風景ということなんです。これは旧大洗リゾートアウトレット、今はシーサイドステーションという名前になってい

を何の説明もなく描くと、煩わしい方から突っ込みを受けるわけです。あれはどうだ、こうだということ。まず、これを第一話の最後のカットで紹介することによって、諦めてね、こういう世界です、無用な突っ込みは無粋ですよという、一つの我々のウエポンとして用意したのがこの学園都市という設定です。

常盤 これも一つの大洗町みたいな考え方なんです。

杉山 大洗町は大洗町であるんですけども、大洗女子学園を中心として、高校に関しては海上都市として運営されていて、自主性を涵養するためにそういうふうになっているという無茶な設定をしております。なので、大洗は大洗として茨城県の中にきちんとありながら、そこを母校として運営されている海上都市ということになります。

常盤 今、大洗町、大洗町と何度も連呼していただけます。観光地組合の方はなかなか、大洗町はどこにあるのかなというのわからないと思うんですけども、大里さん、本物の大洗町の簡単な特徴について。

大里 皆さんがいらつしやいますプラザホテルさんがありますのは、茨城県の県庁所在地であります水戸市にあります。ここから東の方へおよそ十五キロ弱行きますと、我々の大洗の地があるということで、一応、来誘客数が県内一多いとされる観光地として、古くから海水浴等で栄えてきた港町になります。

常盤 町自体は小さいですよ。大里 そうですね。この学園艦が七キロあると言われるんですけども、実際の大洗町も大体七キロぐらいです。

常盤 人口も一万七千弱ぐらいの小さい町でございます。そんな中で、「ガールズ&パンツァー」、女

ますけれども、こちらの風景がこのように描かれています。

こちらは磯前神社の車道です。こちらが、このように描かれています。

こちらは町の中にある魚屋という魚屋さんなんですけれども、こちらが、このように描かれています。

こちらは大洗駅です。こちらのイルカのモニユメントが、このように描かれていたり、大洗駅の中の売店がこんな感じ。

これが、大里明さんが経営されている肴屋本店。

大里 うちの旅館です。

常盤 旅館が戦車に突っ込まれたり。テレビ版ではただ突っ込まれているだけなんですけれども、劇場版ではどうなりましたか。

大里 ものの見事に、木っ端みじんに飛ばされています。

常盤 これは裏話なんですけれども、最初

杉山 その前に、何で大洗だったかという話をしない。

こういう形で色々大洗の町を使わせていただいているんですけども、なぜというところがあるんですけど、架空の話ですし、あいつた学園艦も出てくるので、全く架空の町でやつてもよかったですけれども、ここまで設定として世界観がぶつ飛んでしまっている作品なので、そこに架空のものを積み重ねていっても、やはりリアリティー、女の子達があたかも生きていくように描きたかったということがあって、そこにリアリティーがなかなか付与しづらいということがありました。

アニメでよくやるんですけども、実在の町を舞台にさせていただいて、その風景ですとか、風景だけではなくて、例えば食べ物とか、



常盤 良彦先生

大里 明先生

杉山 潔先生

思っています。三十分のアニメを深夜の一時二時に、ただか三カ月間、十二本放送して、そんなふうに町が一つ救えるような力があるとは思っていません。

先ほど御説明したとおり、学園艦というものが、港町であること、大きな船が入れる施設があること、それから、実在の町を舞台にするので、色々なアイコンになるような施設が欲しかったんです。映像に出した時に、あそこだねとわかる場所が欲しかった。それで、そういう場所を探しました。

二〇一一年の三月十一日に東日本大震災が発災しまして、我々も色々な意味で困難に陥るわけです。これも後で説明しますが、それがすべてではないですが、きっかけにはなりました。我々エンターテインメントの世界の人間というのは、基本的に、ああいう非常時に何の役にも立たないんです。人を救うに行くこともできませんし、物を運んだりすることもできないということ、ずっと悶々としていたんですが、ある日、監督が、自分達の仕事で少しでも被災地を応援できないかなと、ぼろつと言われたんです。

アニメとしても、アニメの舞台にする色々な条件が整っていたということ。大きな船が入れる港がある。ショッピングモールがある。タワーがある。かわいいディーゼルカーが走っている。歴史のある磯前神社がある。関東でも有数の水族館がある。色々なアイコンになる場所、ランドマークになるものが小さな町の中にいっぱいあった。地理的な、あるいは施設のなメリツトといえますが、非常に特徴があったということがあって、大洗にしようということになりました。

杉山 実は、とある山陰の小さな町をイメージしていたんです。なぜかという、スポーツものなので、日本人特有の判官びいきというのがあります。例えば高校野球なんかでも、東北の学校が来ると雪に覆われて、冬の間は屋内施設でしか練習できないというハンデを抱えている人達が来ると、応援したくなりますよね。なので、主人公達は弱小、なおかつ、そういった戦車の練習ができないところはどこだろう。平地が少なく豪雪地帯、あ、山陰かなと、実は簡単に思っていました。

ただ、一回取材に行ったらリアルな町を描いていくうちに、やはり色々知ることが増えてきたときに、何度も取材に行きたいわけ。そうすると、ちよつとやはり山陰は遠かったなというのがあって、関東近郊でどこかいい場所がないだろうかということを探し直し始めました。

おかげさまで、色々なテレビとか新聞雑誌で報道していただいたり、紹介をしていただいています。よく政府のいうクール・ジャパンという言葉がありますけれども、私はクール・ジャパンという言葉は大嫌いです。自分達で言うことではないと思ってる。これが一つ、その文脈の中で、アニメで大洗町を救った、あるいは震災で被災した町を救ったという文脈で語られがちなんですけれども、それは大きな間違いであります。

私は、紹介にもありましたけれども、軍事関係の仕事です。航空自衛隊の救難部隊に友人がたくさんいる。彼らはまさにミッションをやっているということがあって、実は、発災の二週間後ぐらいに百里基地に行き、百里救難隊で色々話を聞きました。

その時に、発災翌日、十二日の夜明け前に、ミッションのために東北に行く救難ヘリから撮った大洗町の空撮の写真を見せてもらったんです。大洗町自体は、よく子供を連れて遊びに行っていましたけれども、町が津波に襲われて、ひどい有様になっていたのを見た。東北三県は、茨城県に比べて報道が非常に厚くなされていたので、救援の手もちゃんと行っていた。千葉に關しても、幕張あたりの液化化の話が報道に出ましたので、皆さん被災地として認知されていたんですけれども、実は、茨城が報道のエアポケットに入ってしまった、ほぼ報道から無視された状態になっています。

孤立した町への救援の手が遅れたという事実があったので、我々は茨城を応援しようということ、勝手に監督に、大洗という町があるんですけれども話をしました。監督が週には来てくれて、色々見て回って、気に入ってもらえた。きれいに聞こえるかもしれません。ただ、一番最初は大洗で何をやってたかという、単に、舞台にするために取材をさせてください、勝手に街を壊されたら町の人達は気分が悪いだろうということもあって、こういうアニメを作りたいんです、ついでに大洗の町を舞台にさせていただきます、こういう内容なので多分町を壊すことになり、壊していい、協力してください。商店の方を紹介してくださいというところから始まったということ、決して復興を目指して作ったものではない。ここは明確にしておきたいなと思います。

常盤 大洗町でこういうアニメをやらせてくださいというのは、たまたま音楽プロデューサーが大洗出身だったということ、後付けですけれども、それで、大洗の方に一度あいさつには行かれてるんですね。

杉山 そうですね。私は映像の方、全体のプロデューサーをやっておりますけれども、音楽プロデューサーという音楽をつくるセッションのプロデューサーがいて、関根さんというんですけれども、この方のお父さんが、本当にこれは偶然だったんですけれども、たまたま大洗で工事業材店を営まれていた。製作委員会という、出資する人達が集まってやる会議があるんです。その場で大洗を舞台にしたいと思えます。言ったときに、僕は出陣ですと言います。全くの偶然だったんです。

大里 これでも結構急カーブになっていると思うんですけど、この手前がS字になっていて、ちよつと狭いですし、車一台すれ違ってもやつとみたいな。常盤 以前、本当に車に突っ込まれたことがあるんですね。大里 こういう状況で、この先が坂道になっているので、結構スピードを出してきたりする車が、曲がり切れずにうちに突っ込んだり、手前のお店に突っ込んだりというのは、以前はしよつちゅうあった場所です。



氏子の未来とまちづくり ～神社を中心とした地域活性化の可能性～

常盤 そういうこともありまして、ロケーション的にはばっちり。

かつ、また大里さんは一応私の後輩でもあるということ、大里さんには黙って、勝手に壊すことを監督と決めて、事後報告で大里さんのところにあいさつに行きました。

その時のお気持ちはどうだったんですか。

大里 急に来て、戦車で壊していいですかみたいなことを言われても、何のことやらみたいな感じでしたけれども、アニメの中だったらまあいいかみたいな感じで、快諾させていただきました。

常盤 それが今では、皆さんにすごく楽しんで泊まっていただけ。

大里 そうですね。うちは外観のみの使われ方ですけども、それでもわざわざ泊まりに来ていただいたって、全国各地から来ていただいたりします。

常盤 海外の方もいらつしゃるんでしょ。

大里 そうですね。今ほどではありませんけれども、特にアジア圏の方が多いので、そういった方々が泊まりに来られて、ガルパンが来る前は年間一組あるかないかぐらいの海外の方が、今、週に一組は来ています。

常盤 今まで勝手に検証してきました。

一つ、大洗町でガルパンが何でこんなに盛り上がっているのという理由の中に、戦車がすごく精細に描かれていて、それが大好きな人達が来てくれるんだよとか、やはり女の子達がかわいしい、それが成長していく姿が素晴らしいから来てくれるんだよとか、あとは、大洗町の風景を一回見てみたくて来てくれるんだよというのもあるんですけども、私は、大洗町の中で今ガルパンがこれだけ盛り上がっているのは何かと思うと、ここに集約されると思うんですけど、やたら多いイベント。大洗町はイベントが

つもりはなくて、町のイベントの一角、お祭りの一角に場所をちよつとお借りして、一緒に何かできるというですねというところで始めたのが大洗のあんこう祭りとお祭りと海菜フェスタということです。

このキャラクターの誕生日というのは、実は私達は一切かわっていません。キャラクターのパネルが置かれているお店のおじさん、おばさんが主体となって、ファンと一緒に作り上げている。

あんこう祭りは主催者発表で十三万五千人と言われていますけれども、イベントが終わった後、ごみが一切落ちないですね。みんなでごみを分別して所定の場所に捨ててくれるか、持って帰るといふことで、あれだけの人が来て、ほほごみが落ちない。それだけモラルの高いファンが多いということ。これだけ見ていると気持ち悪い。

常盤 すごくまじめにやるよね。

大里 誕生会はまじめ。うちの商店街がきっかけで始まったイベントではあるんですけども、先ほど杉山さんがおっしゃっていたように、ガルパンのファン層は年齢層が高いんです。実際、今大洗町に来ている方で、メーンに支えてくださっている層は、多分四十代から五十代の男性が一番多いかなと感じています。僕よりちよつと上の世代です。そういった方々が、ずつと足しげく通っていたらいい。

最近劇場版の効果もあつたりということ、裾野も広がって、二十代のファンも増えたり、女性ファンも増えたりしておりますけれども、そういった方々が来ていただいて、非常に博識な方も多いので、色々なお話も聞かせていたがながら、町のコミュニティが広がっているところ。

常盤 一見くだらないように見えるイベント

やたら多いんですよ。

大里 はい、多いです。年間三十から五十はあると思います。

常盤 そこにプラスして、ガルパンのイベントが何十本あると思っているんですか。大から小までね。

そこで、どんなイベントをやっているのかなというのを御紹介させてもらいます。

ガルパンで地元イベントとコラボしているものが多数ございます。

これは大洗あんこう祭り。二〇一二年の十一月十七日から、現在も毎年やっております。後でまた細かく説明します。

そのほかに、大洗鹿島線、これは先ほど杉山プロデューサーが言った、ディーゼルカーにラッピングをしてみたり、今、三両走っています。これは茨城交通さんですね。こちらもラッピングして、現在四両、今度新しいのが一台発表されます。

商工会のコラボイベントとしては、幸せの黄色い自転車という名でレンタサイクル、これが現在では二十台以上は稼働している。スタンブラリー、こちらも現在は復刻版として継続中。

あとは、海菜フェスタというのが商工会主催でありまして、こちらも二〇一三年から毎年。これは七四式戦車が来ちゃいましたね。

大里 せっかくだから戦車を呼びたいねと言って、自衛隊さんにお声を掛けたら、快諾して実現しちゃったんです。

常盤 これは相当びっくりしました。

大里 海菜フェスタはあと三日後に開催します。

常盤 そうですね。次の三月十七日が海菜フェスタでございます。ぜひ関東圏の方は遊びに来ていただけたらな。

でも、町の人間も、ファンの皆様も、思い切り楽しんでる。

杉山 そうですね。熱心なファンは本当に毎月、下手すると毎週来ている方もいます。ガルパン関係なしに、町の人たちと交流を楽しんでいる。

常盤 そうですね。そんなことをたくさんやってきた結果、商店街とファンの皆さんのコミュニケーション、コミュニケーションという堅苦しいですけども、要は仲良くなつちやって、何回来ても面白い、そんなほつとする町。コミニケーションがとれているので、お帰り、ただいまみたいな、実家のような町とファンの方に言われるようになってきました。

こんな変な商品が大洗町の中にはたくさんあります。イベントの数が三十本以上と書いたけれども、もつとあるよね。

大里 もつとあります。三十本以上あります。

常盤 楽しいことをたくさんやって、たくさん笑っていますけれども、疲れますね、正直。

今までざつとお話しさせていただきましたけれども、ちよつと話を戻して、二〇一一年十月、私と杉山さんが出会ってしまいました。そこからすべてこの疲れる出来事が始まっていきます。ざつくりとガルパンと大洗町を振り返ります。

二〇一一年十月、杉山さんとお会いしたんですけれども、先ほどちよつとご言ったように、杉山さんのスタンスとしては、大洗町の誰かにこの制作を手伝ってもらいたい。例えばロケハンやマネジメントですとか、登場する可能性のある施設への交渉などをお願いしたいということ、この製作委員会さんと大洗町のパイプ役に私と杉山さんが入った感じ。

この時、杉山さんとの約束事、覚えていま

今、商店街の中には等身大のパネルがたくさんあります。何体ぐらいあるんですか。

大里 現在は、キャラクターだけで七十五ぐらいです。これ以外に戦車のパネルがありますので、トータルで百二、三十ですかね。

常盤 これも何でやったのかというところを後でお話ししたいと思います。

キャラクターの誕生日が設定されている女の子達が何人もいます。それごとに誕生会をやっているんです。誕生会といっても、声優さんが来るとか、そういうのじゃありません。等身大のパネルが左側に置いてあるんですけども、そのパネルに向かって、みんなで大ッピーバースデーを歌うという、とてもシュールな。

杉山 ちよつとフオロしますと、妙ですよ。もしかしら、人によっては気持ち悪いと思うかもしれないですけども、いいおっさんばかりなんです。最近女性も増えましたけれども、決して変な人達ではないということも言っておきたい。普段はちゃんと仕事を持って、まじめに生活をされている方々です。

もともと、ガルパンのファンというのは年齢層が高い男性が多かったんですけども、逆に、社会的なモラルをちゃんと身につけた人が多いんですよ。若いアニメのファンというのは社会に出たことがない子達が結構多いので、怖いもの知らずなところがあるんですけども、ガルパンのファンはそういうことは全然なくて、さつき町のイベントの話がありましたけれども、私が最初に町と一緒に何かできるとしたらということもあって、やはり町の人達にもガルパンを知ってほしいし、好きになってほしいから、ぜひ何かイベントをやりたいと思つていました。

ただ、アニメのイベントをやるつもりはなかったです。当時ガルパンだけのイベントをやる

杉山 もちろんです。

常盤 この時点で、このアニメで町を巻き込んで何かやってやろうぜ、いわゆる町おこしみたいなもの、そういったものはしませんがお互い約束しました。

理由としては、杉山さんは杉山さんの考え方があって、私としては、二〇一一年の十月というのは、東日本大震災からまだ半年ぐらいいいしかたつていないんです。大洗まいわい市場は、津波で全部重機とか商品を流されちゃいましたし、まだ復活してから三カ月ぐらいいいしかたつていない時だったので、復興とかそつちの方の仕事が忙しかった。だから、アニメのことを知らない私が、手伝うけれども、それで町で何かをやるうとは絶対思いませんよと言ったのが、杉山さんが、それ、いいんじゃないですか。

杉山 アニメで町おこしとか、アニメと町のコラボでお客さんと呼ぶというのが、何となく皆さん色々なところで耳に入ることがあると思うんですけども、私は本当に思うんですけども、間違いだと思いません。

さつきも申し上げたとおり、コンテンツにそんな力はそもそもないわけ。それを前提に動き始めると、みんな期待しちゃう部分がある。そこはちよつと怖かつたんです。原作のあるアニメではないので、例えば漫画で何百万部売れましたとか、小説ですごく有名ですという作品ではなく、完全にオリジナル作品ですから、人気が出るかどうかなんて誰もわからないです。我々作る側は面白い作品を作っているつもりではありますけれども、それを評価するのは視聴者の皆さんなので、そこに絶対的な自信は当然なかつたんです。だから、これをもとに町の方々が、よし、これでいっちょ儲けたらうみたいな感じにならると、失敗した時に我々は責



氏子の未来とまちづくり ～神社を中心とした地域活性化の可能性～



だけるといので、ちょっとステージを貸して  
いただけませんか交渉してみたり、商工会青  
年部には、先ほど黄色い自転車でラッピングが  
ありましたけれども、当時の部長が、県のあれ

任を持ちようがないので、できるだけそういう  
ふうにならないように最初はスタートしました。  
それから、常盤さんが小さくやりますと言わ  
れた時には、ほっとしたんですね。とにかく、  
町や町役場を巻き込んでトップダウンでやるみ  
たいなことは絶対やりたくない。実は、そうい  
うふうに思っていました。

常盤 何で僕がそう思ったのかも、また後で  
お話しします。

あと、お互いにイーブンな関係でいたいとい  
うのは、今私達は兄弟みたいな関係ですけれど  
も、どっちかが上になっちゃうとすごくやり  
にくいというのがあったので。

杉山 そうですね。我々も町に過度に甘えま  
せんから、町の方も我々に過度に甘えないで  
くださいねということも最初に確認しました。

甘えるというのはどういうことかという  
我々としては、色々なことに便宜を図ってら  
うということでしょうし、町の人達とすれば、  
商品を作る時に大目に見てくださいとか、使用  
料を免除して欲しいというところだと思  
うんですが、それをやり始めると、関係は多分ぐ  
ずぐずになって、不健全になっていくので、そ  
ちはきちんとしましょう。

ですから、今でも大洗の町の商店、個人の商  
店の皆さんが色々なガルの商品をコラボで  
作ってくださっているんですけども、すべて  
きちんと使用料をいただいています。そこは間  
違えないようにしています。もちろん、地元な  
のでパーセンテージは低く設定していますけれ  
ども、無断使用は決してしないということを徹  
底していただいています。

常盤 最初、私と杉山さんがやっていたのは、  
今までお話ししてきた中で、例えば、鹿島臨海  
鉄道さん、茨城交通さん、茨城県、大洗町、商  
工会青年部や一部商店会の会長、関係各所に資

料を持ちながらプレゼンをするわけです。  
ところが、今日、皆さんの中でもガルパンと  
いう言葉を初めて聞いたという方が多いと思  
うんです。それと同じように、どこに行っても同  
じ反応なんです。ぼかんとするだけなんです。  
それで一体何がやりたいんですかと。登場させ  
るのはいかもしれないですけれども、何をし  
たいんですか。

私、もともと神奈川県にいたときは車の営業  
をしておりまして、営業は断られた時がス  
タートなんです。そこから何度も何度も同じ資  
料を持って説明に伺いました。

その結果、ここのごく一部の私が口説き落  
したところが徐々に仲良くなったんです。仲良  
くなっちゃって、特に鹿島臨海鉄道とか茨城交  
通、この商工会青年部の大里さんと、何かちよ  
つとやってみようよ。最初は、これで町おこ  
しみたいなことはやりたくないねなんて言っ  
ていましたけれども、自分達のお金でできるん  
だしたら何かやってみようよということになっ  
たんです。

杉山 商売をしようということではなくて、  
来てくれるファンがいるなら、何かみんなで露  
店を出そうぜということだったんです。なの  
で、鹿島臨海鉄道さんとか茨城交通さんもそう  
ですけれども、先ほど申し上げたとおり、オリ  
ジナル作品なので、ヒットするかどうかかわら  
ない。我々もびびっているのがあって、宣伝費  
をそんなにたくさん持つていないというか、使  
えなかったんです。使う勇気がなかった。

なので、鹿島臨海鉄道さんと茨城交通さんに  
ラッピングしましたけれども、あれも、通常の  
バスとか電車のラッピングというのは、その車  
体自体を広告媒体として売っていらつしやるん  
です。我々、それを払うお金がなかったんで、  
常盤さんが口説き落として、皆さんの車両にラ

は補助金ですか、震災直後だったので、観光客  
が来てくれないわけです。それでも一部来てい  
ただけの方が黄色い自転車に乗っていたら、商  
店街の人達はやたら手を振ろうぜ、やたらあい  
さつをしようぜ、やたらトイレを貸してあげよ  
うぜ。要は、黄色い自転車に乗っている人が観  
光客と。

大里 当時は、今でもですけども、大洗町で  
おもてなし運動というのが盛んに、町長を中心  
に発信していて、ただ、町民の方々は、おもて  
なし運動といつても実際何をすればいいのみた  
いなところで、どの人が観光客で、どの人が町  
の人と、どうやって判別するのみたいなところ  
があったので、せめてものシンボリックなカラー  
として、黄色い自転車に乗っている人達は観光  
客というふう認識して、やたら優しくしよう  
よという運動を進めておりました。

常盤 その話を僕は知っていたので、お、こ  
れはちょうどいいぞ、自転車はただで手に入る  
ガルパンのラッピングをしちゃおうぜというこ  
とで、初代の五台が生まれたわけです。

一部商店街会長とありますけれども、何かや  
らうぜと思つた段階で、商店街全体には何も僕  
は説明していません。その理由も後でお話しし  
ます。

ラッピング関係なんですけれども、ロールは  
もらえた。車両も提供してもらえた。貼る人が  
いない。じゃ、自分達で貼っちゃおうぜと言っ  
たのは杉山さんです。言い出しつぺ。考え方が  
甘かったですね。

杉山 本当にね。  
常盤 途中まで何とか一生懸命やろうとはし  
ました。ところが、シートがうまく貼れませ  
んで、プロの方がボランティアで来ていただ  
いて、やっと完成することができました。  
そして、ガルパンには「あんこうチーム」と

ラッピングさせてもらうとファンが喜ぶかもしれ  
ませんよという話をして、実は、ただで提供し  
ていただいています。今でもです。  
あそこに貼つてあるイラストとかは、住友ス  
リーエムさんに私が直電をしまして、皆さんの  
社名ロゴを車体に貼りますので、ラッピングフ  
ィルムを二ロールくださいと言って、ただで提  
供いただいています。

プリンターも知り合いのところ安くやって  
いただいて、自分達で全部貼ろうとしました。  
すべてを自分達でやろうとしたんですが、貼れ  
ないですよ。その時に、ラッピングフィルムを  
印刷してくださった施工会社の方が心配にな  
つてついてきてくれて、手弁当で貼ってくれた  
という。

常盤 そんな思い出がありますね。  
杉山 決して、商売をベースに始めたこと  
ではないです。とにかくファンに楽しんでもらう  
というところから始まったんです。

常盤 何でそれをやろうかなと思つたのは、  
十一月にあんこう祭りがございまして、ガルパ  
ンの主人公チームの名前が「あんこうチーム」  
というんですよ。じゃ、そのあんこう祭りに向  
けて何かできないかなということ、何と三カ  
月ぐらいしかない中で色々企ててきました。

今、鹿島臨海鉄道さんと茨城交通さんのお話  
があつたんですけども、茨城はテレビがあり  
ません。その中で、いばキラTVというネット  
テレビがちょうどこの二〇一二年の十月に始ま  
るといふことだったので、ガルパンの放映開始  
と同じ時期なので、放送できるようにしちゃい  
ませんかということ、当時の課長を口説き落  
して、バンダイチャンネルとタイアップさせ  
ていただいて、流すことができたんです。

あんこう祭りの主管は大洗町なので、声優さ  
んを当時バンダイビジュアルさんが呼んでいた

というのがあつてということ、初めてあんこう  
祭りとかコラボさせていただきました。初めて開  
催した時、通常は三、四万人……。

大里 三、四万人。  
まず、あんこうというのは、大洗とか水戸近  
辺の名物なんです。あんこう鍋、茨城県の冬の  
味覚を代表するのはこのあんこう鍋ということ  
で、大洗であんこう祭りという、あんこう鍋を  
振る舞うイベントを毎年開催している。

通常ですと、三万から四万というような人出  
でにぎわっているイベントでした。  
常盤 そのイベントが、これを開催したこと  
によって、町の発表が六万人という発表でござ  
いました。去年は十三万五千。ただ、それでも  
やたらごった返していますよね。

杉山 そうなるとは全然思っていなかったの  
で、ラッピングをしながら、どのぐらい来てく  
れるのかな、千人ぐらいかななんて言っていた  
んですけども。

その時に初めてガルパングッズを町で作った  
んです。三百ぐらい買ってくれるんじゃないか  
ということ、三百個ぐらいしか用意していな  
かったんです。あつという間になくなってしま  
った。それぐらい、我々はこうなるとは予想し  
ていなかった。

常盤 いばキラTVではガルパンの放映が成  
功した。

あんこう祭りでたくさんお客様が来てくれま  
した。じゃ、もつともつと何かやってしまおう  
ぜという考えに普通なると思うんですけども、  
私達はすぐには展開しませんでした。あんこう  
祭りが終わってから、すぐに何かを用意したわ  
けではなくて、商店街の皆さんには、この二〇  
一二年の十一月の時点までは何も御説明してな  
いんです。  
ここからは、僕がいつもお話しさせていた



氏子の未来とまちづくり ～神社を中心とした地域活性化の可能性～

いているレジュメなので、僕がお話しさせてもらいます。

ちよつとふざけた書き方ですけれども、二〇一二年十一月の時点で、商店街の皆さんにガルパンを口で説明して、何かやろうぜと説明してわかると思いますかというのが僕の頭の中にはありました。鹿島臨海鉄道さんや茨城交通さん、みんな何回もひざを突き合わせて、お話を合せて、ようやく御理解いただけました。この人気がずっと続くかどうかともわかりませんが、コンテツはいつれ終焉が来るというのが杉山さんの口癖です。なのに、無責任にも、みんなでガルパンをやりたいという風呂敷を広げちゃっていいんですかというのが私の頭の中にはいつもあります。商売をやる時も、いつもその頭でいます。

何で商店街をすぐ巻き込まないのかということなんですけれども、僕は、今までの経験から、すべてを巻き込むのは一番最後にしました。いつもそうしています。新規のコンテツで、特に補助金とか十分な資金がない限り、リスクは最小限の方がいいに決まっています。要は、広げた風呂敷を自分でためたためないような事業はやるべきじゃないと思っています。

そもそもこのコンテツで、杉山さんと常盤と大里の中には、これでいっちょ旗を揚げてやろうぜという気持ちがありません。まず何かイベントをやるんだしたら、継続事業をするために、僕は過去の経験則、まいいい市場を立ち上げたとか、小さい商売を色々やっていますけれども、その時の経験を参考にしています。今言いましたけれども、負うリスク、自己責任をとれる集合体でなければならぬと考えています。

ちよつとガルパンとは離れた考え方なんですけれども、新しいことを始める時の落とし穴とそこに載っていた数字を載せます。イノベーターが二・五％。アーリーアダプターが一三・五％。マジョリティーが六八％。ラガードが一六％。

上の二・五と一三・五を足したものと、六八と一六を足したものを、二つで分けると、何となく二対八に分かれますか。要は、新しい商品が出た時に、すぐばつと買う人は二割なんです。ほかの人達は買わないわけです。

だから、一番と二番の人達の考え方をいかに三番に落とし込むかというのが商品がずつと売れるか売れないかを判断する分かれ目だと思っています。

これを私はいつも考えているので、ガルパンを大洗町でやろうとした時に、どういう考え方でいけばいいのかというと、イノベーターを新しいのが好きな人と仮定します。私達みたいな人なのかなと思います。

アーリーアダプター、継続的に自主努力を行っている、ある意味、世界観を持っているという方が、大洗町の中では、この大里さんがいらっしゃる曲がり松商店街という地域なんだと僕は仮定をしました。

アーリーマジョリティー、マジョリティーのグループを町全体の雰囲気と仮定。私達がガルパンで何かをやっている時に、何かやっているのわかっていけるけれども、様子を見たい。他の人の評価も気になる。それにかかわってしまつて何か嫌な評判が立つたら嫌だな、そういう人達が多くいると仮定します。ラガードは、もともとアニメなんか興味ないし、あいつらのやつていることも興味ないから俺は関係ねえよと仮定した時に、ここの人達にいかんが気持ちよくガルパンを知ってもらつて、いかに気持よくガルパンに参加してもらおうと必要かなと考えています。

いうことをいつも皆さんにお話しさせていただいています。

普通は、アニメが来たぞ、そういう時は、みんな意見を出し合つてやりましょうよといつて、例えば町単位とか商工会単位で、たくさん人が来ます。たくさん人が集まると、その中で意見を出し合います。

ところが、なかなか前に進まないんです。無難なところで大体会議がちゃんちゃんと終わるわけですけれども、何で前に進まないのかなと思つた時に、仮説ですが、そのメンバーの中には、必ずリスク還元型とリスク重視型の間がある。僕はいつも思っています。新しいことをすぐやりたい人と、ちよつと待つて、それやりたくないよという人に必ず分かれます。

その割合を仮説でやると、二対八に分かれるんじゃないかなと思つています。いわゆる二割がリスク還元型、そして八割がリスク重視型だと僕は思っています。リスク還元よりもリスク重視の方が多いわけだから、なかなか意見が前に進むわけがないと僕は考えています。

自分が大切にしている法則、ニッパチの法則というのは聞いたことがある方はいらつしやるかもしれません。英語に直すとパレットの法則というんですけれども、これは商売をやっているとしてごく大切です。何かというと、私はとんかつ屋をやっていますけれども、うちのとんかつ屋の二割のメニュー構成で八割の売り上げを上げていくとか、肴屋本店さんの顧客台帳を洗つていくと、もしかしたら二割の常連さんで八割の売り上げを上げているという結果が出るかもしれません。そういうものを、僕は、いつも仮説としてとらえながら、それを検証していくようにしています。

いきなり始めなかつたもう一つの理由は、大洗が舞台なんですけれども、T O K Y O M Xは三を巻き込むにはどうすればいいのかなというところで、一番巻き込みやすい方法は僕はこれしかないと思つています。結果を出す。ガルパンにかかわることで、楽しいよね、ものすごくいいことがあるよね、そういう思いにさせるためには、まず最初に結果を出さないと人はついてきてくれないと僕は考えています。これは新規事業の話です。

もしガルパンを、共通意識のない大人数、先ほど言つた商工会のメンバーみんなに集まってもらつて、みんなにお金を出してもらつて、それでやりましょう、それで、もし杉山さんのやり方がおかしくて失敗したとしたら、責任の追及が必ず複数になつてきます。

まず一つ、アニメがヒットしなかつたからだとする人もいますし、変な企画を持つてきた杉山さんが悪いと言う人もいます。そもそも俺は反対だつたんだと言う人が一番多いです。お金は出したけれども、あの時はいいと言つたかもしれないけれども、俺は心の中で反対だつたんだよねと言う人が多いです。

もう一つ大切なことは、共通言語を創り上げることが僕はすごく必要なことだと思つています。

皆さんは海外旅行に行かれたことがあるかもしれませんが、英語が堪能な方もいらつしやるかもしれませんが、余りしゃべれない方が多いと思います。それでも、たどたどしい英語で、海外に行つた時にしゃべつて通じると楽しいじゃないですか。それと同じように、ガルパンにはガルパン語というのがあるんですよ。そのガルパン語を、もし商店街のおじちゃん、おばちゃん、しゃべれるようになったとしたら、どうなるか。

ただ、この共通言語というのは、無理に創る必要はないと思つています。結果が伴つていけ

大洗町では見られません。BS11、見られましたが、深夜放送です。そして、バンダイチャンネル、いばキラTV、ネット環境がないと見られません。大洗の年齢分布は、全国と同じように御高齢の方がたくさんいらつしやいます。そんな中で、深夜アニメをやるから一緒に見ようよなんて僕は言えませんでした。

例えば、このイノベーターというジャンルですけれども、これは真つ先に買う人、革新性を最優先。このお水には物すごい革新的な技術が投入されているから買おうぜという人。アーリーアダプター。専門ユーザーのことは気にしない。気に入れば買う。もともと私は水が好きだから、これを買いますという人。

三番が、アーリーマジョリティー、レイトマジョリティーと書いてあるんですけれども、これは専門ユーザーの方の様子をうかがう人。先ほど言つたリスク重視型の方々がここです。実際に良いと証明されたら買う。

皆さん、Amazonとか楽天でお買い物されたことはございますか。そこで、新しい商品、知らない商品を買う時、必ず星とか評価を見ませんか。それが近年はネット販売の主流です。要は、皆さんがまだ扱つたことのないものに対して、皆さんの評価によって信用させるといふのがこの属性です。

ラガード、反対派。もともと俺は水は嫌いだしという人が反対派としていっているわけです。

では、この割合が何%ずつなのかというのは、ちよつと書籍の名前は書いていませんけれども、ば参加してくる人は自然に多くなつてくるので、自然発生をしていくと考えています。だから、最初に僕と大里がやろうとしたのは、多くの人数を集めてやるのではなくて、こそこそ地盤を整えていくということだけを注視してやっています。

大里さん、ここから出番です。二〇一二年の十一月にあんこう祭りを初めてやつて、お客さんが来ました。その後、すぐに展開しませんでした。アニメのファンの方々が初期に来ていた時は、どういう行動をしていましたか。

大里 当初は、二〇一二年にアニメが放送されて、大洗町が出てくるのは四話以降ですけれども、四話以降にアニメの中で実際の大洗町の街並みが映し出されると、町の中にちらほらとファンの方と思しき方が現れ始める。立派なカメラを持って、うちがあのように壊されていますので、ちよつと遠目から望遠レンズでうちの旅館を撮る方が現れたり、そういう行動を始める方が増えていつたんです。

そういう方達は、当初は、実際に自分で大洗町に行つて、アニメに登場したスポットを巡つて帰られるという方が多かつたのが二〇一二年のあんこう祭り近辺の行動です。

常盤 それ以降、継続的に写真を撮りに来ていただけの方は結構いらつしやつたので、その方々にもう少し違うスポットも回つていただければなと思つて、勝手に大洗コソコソ作戦本部というものを結成させていただきました。初期はこのメンバーです。大里さんと、ここにいるのが、旅館の飛田君、観光協会の鬼沢さんという方と、大洗ホテルの島根君と私で、これは緩いつながりですね。

大里 そうですね。特段仲がいいわけでもなく、面白いことを好きそうな、情報発信を得意



氏子の未来とまちづくり ～神社を中心とした地域活性化の可能性～

としている方に声をかけて集まっていた。常盤 余談なんですけれども、当時、この大里と島根と私で、大洗町の御当地プロレスラーを作って、震災後さびれている町でプロレスをがんでやって、お客さんに来てもらおうぜというところで、オオアライダーという覆面プロレスラーを作って活動していた三人が、たまたまガルパンの話もできていたので、コソコソ作戦本部を作って、スタンプリアー、これは手作りです。

大里 イラストを描いてくれたのが飛田君。常盤 どこを巡ったらいのかというアドバイスを考えていただいたのは鬼沢さんとか大里君。大洗の町の八カ所。

大里 先ほど言ったように、町の中の登場したシーンをスポットだけを巡っていて、一切、大洗の観光地としてのネームバリューのあるスポットを巡る方が少なかったんで、せつかく大洗に来てくれたんだから、そうだったところにも回ってもらいたいよねという八カ所を選定して、スタンプリアーを企画しました。

常盤 ただ、スタンプリアーといっても、北は水族館、南は旧アウトレットまで、二、三キロあるので、八カ所中六カ所回ってくればいいよということにしていたんで、歩いて、大体皆さん八カ所回っていましたね、歩いて。お客さんが来ていただけるということがわかったので、次の展開をしてみよう。ここで初めて、商店街の人を巻き込んでみようかなと思いました。

二〇一三年の三月に海楽フェスタというものがあつたんで、八カ所中六カ所回ってくればいいよということにしていたんで、歩いて、大体皆さん八カ所回っていましたね、歩いて。お客さんが来ていただけるということがわかったので、次の展開をしてみよう。ここで初めて、商店街の人を巻き込んでみようかなと思いました。

この時、商工会の会員の皆さんが集まってもつちやんやっている状況です。常盤 商工会の中に忙しい時に入ると、さながら缶バッジ工場のような音がします。今でもずっと手作りやっています。杉山 このことでちよつと知っていたんだけど、さっきイノベーターとか経営の観点からお話しされていますけれども、金儲けのためにやっているわけではなくて、そういう人達を巻き込むことで事業を継続してやっています。もう一つ、これに象徴されていると思うんですけど、手を抜かないんですよ。フアンの人達を楽しませるために手を抜かない。これだけの数が出るんだしたら、正直、業者に発注すれば楽ができるわけです。だけれども、それをしないんです。全部自分達でやる。それが、フアンにとっては、そこまで自分達をもてなす気持ちで迎えてくれるんだということにつながる。

私はいつも言うんですけど、ストーリーが大事だ。この缶バッジ一個に込められたストーリーが大事なんだと思います。缶バッジ自体は、それこそ一個百円で売れるような安いものなんですけれども、それをなぜフアンがみんな集めたいのか。そこにストーリーが込められているからなんです。それが一つのあらわれなんだろうなと思います。

常盤 杉山さん、美しいお話、ありがとうございます。ただ、僕たちには当時イベントをやるお金がなかったんで、お金を生み出す仕組みが欲しかった。

杉山 それはわかります。普通、キャラクターグッズを作ると、キャラクターの使用料でどんとお金を乗っつけちゃうんですよ。それをほとんどしていないです。だつ

らつて、パネルを置いてくれませんかと説明しました。その時の皆さんの態度、今でも覚えています。みんな、のけぞっていましたからね。お前ら何やってんのよみたいな感じで。大里 不審な目で見られましたね。常盤 パネル製作費が原価で七千円ぐらいあ

らつて、パネルを置いてくれませんかと説明しました。その時の皆さんの態度、今でも覚えています。みんな、のけぞっていましたからね。お前ら何やってんのよみたいな感じで。大里 不審な目で見られましたね。常盤 パネル製作費が原価で七千円ぐらいあ

らつて、パネルを置いてくれませんかと説明しました。その時の皆さんの態度、今でも覚えています。みんな、のけぞっていましたからね。お前ら何やってんのよみたいな感じで。大里 不審な目で見られましたね。常盤 パネル製作費が原価で七千円ぐらいあ



（いままで実現できなかった）による精細な戦車の描写

体三千円負担してくださいと言ったんです。その三千円の負担が、さっき言ったマジORITYの考え方ですと、怖いわけですよ。こんなもの置いて、どうなるんだみたいな。最初、みんな喜んで置いてくれましたか。

大里 募集をかけた段階で五十四体あつて、集まらなくて、残りの二十何体は、こちらから一軒一軒電話して、済みませんけれども、ガルパンのアニメのキャラクターパネルを店頭で置かせてくださいという感じで声をかけさせていただきました。

常盤 営業していただいたわけですよ。そんな中でも、置いてくれたお店の中で、このパネルが素晴らしい効力を発揮してくれました。これが、おじちゃんとおばちゃんという方々がコミュニケーションをとってくれるきっかけになった。これが一番でかいと思うんですよ。大里さんが裏面に仕掛けを作ってくれましたよね。

大里 当初、海楽フェスタに合わせて五十四体のパネルを置くお店を決めさせていたでいて、パネルを持ち込んだのは海楽フェスタの前日ぐらいです。製作もぎりぎりやっています。青年部のメンバーが集まっていたでいて、パネルの切り出しをやったりしてやったものですか。どこのお店にどのキャラクターが行くのかというのの事前にお知らせもできませんし、希望を伺っても、アニメすら見ていない方も多かった時期です。こちらで勝手に割り振らせていただいた。

ただ、いきなりパネルが来て、何の子かわからなくちゃしようがないと思いついて、私がか、このパネルの裏面に、おおよその概略というか、このキャラクターはこういう学校に通っていて、こういうチームに所属して、戦車はこう

で、アルミが五円なんだから。いわゆる商売ベイスを考える中で、もちろん資金は必要だけれども、必要以上に儲けようという姿勢が、フアンにとつても、この人達は自分達をカモにするつもりはないんだということがわかるということがすごく大事だったんじゃないかなと思います。

常盤 商工会の事務局長とも非常にうまくやらせていただいて、それをイベント運営費に使わせていただくことができて、ここでお金を生み出す仕組みができて、僕達も色々考え方が楽になりました。そうすると、フアンの方が継続的に大洗町に来てくれます。私もガルパンで何かやりたいんだという方々が多くなつてきて、当初は私と大里だけにその質問が集中してくるんです。それが抱え切れなくなつちゃったので、ルールをちゃんと作りましょうということ、二〇一三年の秋ぐらいから、誰でも参加しやすい窓口を作ることになりました。それが商工会なんです。

ABC Dと書いてあるのは、商店のおじちゃん、おばちゃんだと思ってください。こういうことをやってみたいんだ、缶バッジを作るにはどうするんだ、名刺を作るにはどうするんだという相談を商工会に持つてきてもらいます。私達が、毎月第二、第四金曜日にガルパン相談会というものを実施します。そこで、おじちゃん、おばちゃんのお話を聞いてあげて、ノベルティ、要は、おまけとか商品作りのお手伝いをさせていただけます。

私の会社はO a r a i クリエイティブマネジメントというんですけど、ここで、ほぼ九〇%以上の大洗町の中にあるガルパングッズのデザインとかライセンス申請、要は著作権許諾ですね、各種相談事も請け負わせていただいています。



氏子の未来とまちづくり ~神社を中心とした地域活性化の可能性~

自慢じゃないですけども、ここの部門、商売になっているかといったら、全くなっていない。缶バッジを一個作るのに、ここのおじちゃん、おばちゃん達からいただく代金は、ごくごく少ない金額でございます。それで、私達のこのデザイン部門とライセンス部門には二人の社員を雇っていますので、赤字でございます。杉山さん、何とかしてください。

それを、バンダイナムコアーツさんにライセンス申請を出して、バンダイナムコアーツさんから今度は商工会の方に、使用料がこれだけありますよ、商工会が使用料をこれだけ払ってくださいというのをやっていただいて、お支払いするということな仕組みでやらせていただいています。

今まで色々やってきましたが、大洗町の商店街のおじちゃん、おばちゃん、たくさんいますけれども、キーマンがおります。紹介します。大洗コソコソ作戦本部、最初、私達五人で立ち上げたものが、今では、初期メンバーに加えて、商工会、行政、観光協会のメンバーが自主的に集まり、主に町内外で開催されるガルパン関係イベントの企画、精査を行う。難点は、イベント前になると、毎週日曜日の午後七時からという、ゴールデンタイムという迷惑極まりない時間で開催されることである。

杉山さん、いつも言っていますよね。杉山さん、そうですね。私は牛久に住んでいるので、たまたまばつと来れる場所にいるという不幸を抱えています、日曜日の十九時という会議には必ず、よほどの理由がない限りは参加するようにしているんですけども、翌日は会社もありますし、非常に……。

ただ集まってわいわいやっているだけじゃなくて、ちゃんと議論するんです。お酒や食べ物もありません、非常に……。杉山さん、そうですね。私は牛久に住んでいるので、たまたまばつと来れる場所にいるという不幸を抱えています、日曜日の十九時という会議には必ず、よほどの理由がない限りは参加するようにしているんですけども、翌日は会社もありますし、非常に……。

あと、KGOという、イベントを行っている方がいます。彼らは、声優さんが来る時のイベントとかで力を発揮してくれる。本当はこの人達をたくさん褒めたいんですけども、時間がないので先にいきます。

KGO、イベントボランティアなのに、こんな会場配置図やイベントタイムスケジュール、こういうものを全部作ってくれています。あれやこれや頑張っております。

忘れちゃいけない。本当は今日一番話したかった。やはり神社さんの集まりなので、磯前神社のことを話したい。大洗磯前神社、今日、測上さんにも色々お世話になりましたし、私達もいつも大変お世話になっております。

これ、遠目から見ると、絵馬がかかっています。全国各地から絵馬をこのように納めていただいて、これを話したかったんです。ガルパンの絵馬があるんです。これは神社で売っているんですかとたまに聞かれるんですけども、神社では売っていません。神社に許可をいただいで、私達が作っています。許可というのはいりませんよ。僕達で絵馬を作っていますかと言ったら、いいよということで作らせていただいています。神社でも、もちろん通常の神社の絵馬がありまして、ファンの方がこのように書いて納めていただく。

大里 初年度からずっとたまっているんですよ。常盤 たまっている。杉山さん、この場でちよつと企画を言いたいですけれども、これのお焚き上げイベントをやりたいなど。

杉山 それは全然いいと思うんです。

ングをやります。大体一時間半から二時間ぐらいです。なので、疲れるんですよ。だけれども、皆さん手弁当で来るんです。商工会の人達もそうなんです。行政の方々もほとんど手弁当、残業もついでにみたいな感じで来てやってくださっているということがあると、こちら側も手を抜けないということがありまして、ここで色々なことをきくと決める大事な場になっているという感じですね。

常盤 先ほど紹介しました坂本事務局長。僕はガルパンのイベントを数多くやっていますし、商工会会員の皆さん、商店街の皆さんがガルパンにたくさんかかわってやってきていますけれども、この方がいなくなったらできなかつたと思っています。どなたが功労者なんですかと尋ねた時に、私はこの方を第一に挙げています。いつも、この方からは、余り無茶振りするなよと言われているんですけども。

大里 この方は、否定的な意見を持つ町の方は少なからずいらつしやるわけなんですけれども、そういった方々は、直接我々にはなかなか面と向かって言いつらいけれども、商工会にはよく言いに来るわけです。うちもガルパンにかかわりたいのに何もやってくれないみたいなことを。

そういう時に、防波堤じゃないですけども、まあ、そうは言っても一生懸命やっているんだからと言って、止めてくださるのもこの方なんです。そういうところで、ありがたいです。

常盤 素晴らしいですね。随分昔の写真ですね。若いんですね。こう見えて、すごく温和な性格なんですけれども、かなり無茶振りをする人間でございます。しかも真顔で言っていますので、やさしい真顔で。ほどほどにしてくださいね。

こういうことをやってくださいと誰も言っていないですよ。ファンが勝手にやってきて、絵を描いて奉納するというのを自主的に初めて、神社の方で、それまでは同じ場所に置いてあつ



たのが、こういう絵馬が増えてきたということ、別に一つ場所を作っていたらいい、ガルパンの絵馬をこうやって置く場所をきつと作っていたらいい。そういう意味では、神社

思います。私と杉山さんもキーマンのうちの一人なのかなと思います。これは、あるイベントの一風景です。

杉山 ちゃんと説明してください。変な人に見えちゃう。

常盤 このイベントは何のイベントかといいますと、大洗シーサイドホテルという海沿いのホテルで毎年一回行われます、大洗女子学園修学旅行というイベントでございます。女子学園の修学旅行なんです、九九%参加者は男性、おじさんです。

修学旅行を体にイベントをやっていくので、先生役が必要じゃないですか。いつも杉山さんが教頭、私が体育主任、大里さんが学年主任という先生役を演じて、皆さんと一緒に御飯を食べたり、郷土芸能と称して和太鼓を楽しんだり、そういうことをしておりますが、修学旅行のメインイベントは何ですか。夜の見回りじゃないですか。通常でしたら、夜の見回りというのは、とんとんと開けて、お前らちゃんと寝ているかと言っただけが見回りなんですけれども、なぜだか知らないんですけど、教頭先生が、これはナイフというスポンジ銃なんですけれども、持っていると言っています、中には、夜の見回りの時に、当然、就寝中ですから鍵を閉めている方もいらつしやるんです。そこを、企画立案者のホテルのスタッフさんに一緒に来ていただいて、マスターキーでドアを開けるんです。そして、この格好で、お前ら寝てんじゃねえと乗り込んでいくわけです。それで、あなたがスポンジ銃を乱射する。

杉山 年に一度のストレス発散の場です。参加者は真顔で嫌がったりします。

常盤 それを初年度やっちゃいましたら、次年度から皆さんナイフを持ってくるようになっていくわけですか。それで、あなたがスポンジ銃を乱射する。

常盤 特大絵馬が飾ってありますけれども、これも私達が無理にお願いして、絵馬を作っていますかということ、これも手作りで作らせていただいて、奉納させていただきます。神社がガルパンにかかわってくれたのはごく初期なんです。二〇一三年の一月からなんですけれども、最初はスタンプラリーですね。

大里 先ほどあったイラスト入りのスタンプラリー、八カ所巡るスタンプラリーの一カ所がこの大洗磯前神社。

常盤 その時に初めて説明して、宮司さん、ちよつと不信感を持った目で見られましたけれども。

ここに書いてありますけれども、大洗磯前神社がすごく僕にとつてかわりやすいなと思うのが、神社のスタンプ、これは僕が勝手に考えたことです。測上さん、もし違っていたら言ってください。ガルパンに対して自発的な取り組みはせず、私達が神社を頼った時に神のように受け入れてくれるというスタンプなのかなと思うんですが、測上さん、そうですね。

測上 そうです。

常盤 ありがとうございます。

自分達で、ガルパンであれやりたい、これやりたいという話は一切持ちかけてこないんです。ただ、こういうことをやりたい、こういう取材を受けてもらいたいという時に、ノ一を基本的に言いませんよね。

大里 神社を私達がうまく利用させていたっているという感じですね。常盤 ですから、大洗磯前神社、これからも無茶振りさせていただくかと思えますけれども、測上様、鈴木様、吉田様初め皆様、御協力いただければと思います。

大里 あんこう祭りとか、声優さんがお越し  
いただいた時には必ず……。

杉山 今のところ二年に一回かな、声優さん  
と一緒に神社に行っていたら、ヒット祈願  
という事で、お祓いを受けていただいたら  
いいかなと、我々としても、磯前神社さん  
には色々お世話になっていて、先ほど常盤  
さんが言われていたのは結構ポイントかなと思  
っていて、こちらからお願ひした時には受け入  
れてくださるんですけども、自分達でこれを  
やりたいとか、こういうグッズをタイアップで  
作りたいというお話をされたいんです。

私、これは結構大事な事かなと思っ  
て、皆さんがそれぞれの立場で、それぞれの  
方をするのがすごく大事だと思います。色  
々な作品があるし、色々なかわり方をされ  
ている神社の皆さんがいらつしやると思  
うので、これはあくまでガルパンの話と  
して聞いていただきたいので、ガルパン  
の話を聞きたいんですけども、神社がガ  
ルパンのキャラクターを使ってグッズを  
作って、社務所で売りに始めた時に、喜  
ぶ人もいますけども、一般の人から見  
れば、何でそんな神聖な場所をこんな  
こととするのと思う人もいます。ガル  
パンファンの中でも、ちょっとやり  
過ぎなんじゃないかと思う人もいます。

私は、これはすごく大事な事かなと思  
って、先ほど言いましたとおり、町の  
人も商品を作るとしても、決して過  
度な値付けをしないんです。だからこ  
そ、ファンの人達が、この町の人達  
は自分達を喜ばせてくれるためにや  
ってくれているんだなと思うんです。  
神社がそういうふうに絵馬を置いて  
いただいているのも、地元の人がお  
金を出して奉納するという形を逸脱  
していません。これが結構大事な  
ことかなと。これは神社

だけではなくて、色々な人達のか  
かわり方の中、すごく大事な事かな  
という感じがします。

先ほどから私は何度も言っています  
けれども、コンテンツで町をどう  
しようかというのには基本的には  
間違っていると思います。それは、  
結果としてそうなることがあるか  
もしれないけれども、それを目的  
にした途端に、ファンの人達は、  
ああ、これは商売だねというふう  
に、すぐ見透かしてしまいますから、  
そのスタンスの取り方というの  
はすごく大事な事かなと思います。

それと、きれいごとばかり言っ  
ているようにも思いますが、そう  
やって生まれた町とファンの間  
の絆というのは、ファンがコン  
テンツに惚れちゃうんですよ。あ  
そここの商店のおばちゃんに  
会いに行きたいから行くという  
ことで、今では、みんな手土産  
を持っていくような状態になっ  
ています。

その一つとして、すごく象徴  
的な話があった、二年前かな、  
八十ぐらいのおばあちゃんが  
一人でやっている民宿がありま  
して、そこは素泊まりなのに食  
べ切れないぐらいの朝食が出  
るといふことで、ファンの間  
ではすごく有名です。おばあ  
ちゃんが優しくしてくれるとい  
うことで、結構泊まる人が多  
かったんですが、二年前ほど  
前に、実はお亡くなりになり  
ました。その亡くなったのを  
朝発見したのもガルパンファン  
でした。そのガルパンファンは  
どうしたかというところ、親  
族へ連絡をしたり、関係の方  
が来られるまでずっと一緒に  
付き添って、救急車に乗るま  
でちゃんとやられていたそう  
です。これって、商売ベース  
でつながったファンと町の関  
係ではここまでいかなと思  
うんです。何度も言いますが、  
私達がやろうとしていたのは、  
町をガルパンでどうしよう

いうことではなく、町の人達も  
ガルパンで商売をしようとして  
いたわけではないということ  
なんです。その結果が今こう  
なっている。これはたまたま  
の話です。

ちょっと長くなるかもしれ  
ませんが、先ほどからお気づ  
きになられたと思います  
けれども、すべて偶然から始  
まっているんですね。大洗の  
町を選んだのも偶然だった  
し、そこに商売をしていた音  
楽プロデューサーがいたのも  
偶然だったし、それから、  
常盤さんと私が知り合  
えたのも全くの偶然だった  
し、その先に大里さんのよう  
な方がいたのも偶然だった。

KGOの話、さっき端折  
りましたけれども、彼らは全  
部手弁当なんです。決して、  
自分達から声優さんに声を  
かけたとか、何かメリット  
を要求したりということは  
一切しない。すごくボラン  
ティアとしての志の高い人  
達です。そういう人達がいた  
のも本当に偶然だったと思  
います。

だから、今のガルパンと大洗  
の町は、本当に人と人がうま  
くつながった結果……。

常盤 ごめんね。時間が  
ないから端折ったのに、思  
い切り今時間を延ばして  
いただいているんですよ。  
俺が今締める言葉を言っ  
ているから。杉山 言  
いたかった。やはりKGO  
の人達は、もっと評価  
されるべきかなと。では、  
締めてもらえますか。  
常盤 もう自分で締めた  
じゃないですか。という  
ことで、まとめ。私  
達は仕組みとか色々作  
ってききましたけれども、  
一番大切なもの、それは、  
今杉山さんが言っていた  
いただいた、人じゃない  
かなと思います。お後が  
よろしいようで。時間  
が大分過ぎてしまいました  
けれども、最後まで御  
清聴ありがとうございました。  
(了)

令和元年度 神道青年全国協議会

夏期セミナー

神道青年全国協議会では、文化伝統の継承・発展の観点から、「歴史的仮名遣ひ」を用い、将来ともこの方向性を堅持する方針です。夏期セミナー、中央研修会の講演録は、広く会員内外に読まれ、研鑽の機会を提供することを目的としてをります。より広く活用頂く為、敢えて講演録に限り、「現代仮名遣ひ」を用ひ表記させて頂きます。

● 期日 令和元年八月二十七日〜二十八日 ● 場所 神社本庁二階大講堂

主題「新しい時代の教化活動」

【第一講】 演題 「践祚大嘗祭の基礎知識」 講師 高野 裕基 先生 (國學院大學 研究開発推進センター助教)

【第二講】 演題 「言論界における左派・右派の現状と その対立を超えてゆく方法」 講師 三浦 増麗 先生 (株式会社 山猫総合研究所代表取締役)

【第三講】 演題 「SDGsの概要と政府の取組」 講師 春田 博己 先生 (外務省国際協力局 地球規模課題総括課課長補佐)



# 踐祚大嘗祭の基礎知識

國學院大學 研究開発推進センター助教

高野 裕基 先生



ただいま御紹介いただきました、國學院大學の高野と申します。  
 本日は、神道青年全国協議会の夏期セミナーという重要な場におきまして、お話をさせていただきます機会を得ましたことを、まずもって御礼申し上げます。

この度は、「踐祚大嘗祭の基礎知識」というお題をちようだいたしまして、準備を進めてまいりました。大嘗祭あるいは御大礼、御大典ということにつきましては、皆様、既に様々な研修ですとか、あるいは神社本庁から刊行されております様々な冊子類等々を通して、既に御承知のことが多いかと存じます。そういった中におきまして、改めて、「踐祚大嘗祭の基礎知識」というタイトルを設定するということは、いささか遅きに失したような感があるかなと思えます。

本日、お話しいたします内容というのは、昨年来、私が各地において、様々な場において、お話をさせていただいてきたこと、あるいは、國學院大學の学生に対して、あるいは非常勤で伺っている大学の学生に対して私がお話ししている、いわば一般の方々に対する大嘗祭の説明というような内容をベースにしております。

本来、本日のような場ですと、日々社頭において御奉仕されている神職の方々ということで、玄人向けの内容にするのがふさわしいかなとは思うんですけども、改めて、一般の方々にごう伝えていくのかということも踏まえて、お聞きいただければ幸いです。

ですので、本日資料もお配りいただいておりますけれども、なるべくわかりやすいように作ったつもりではあるんですけども、ぜひお持ち帰りいただいで、氏子、崇敬者の方々の前で社頭講話される際ですとか、あるいは、地域の方々の前で御講演される際、一つの手引きといえますか、あんちよこととしてお使いいただければと考えております。

限られた時間ですので、早速内容に入っていきますかと思っております。  
 レジюмеに大方の内容は記載しております。レジюмеに記載している事項とほぼ同じ内容をスライドの方でも映しながら、お話をさせていただきますので、適宜、両方見ながら、お聞きいただければと思います。

まず初めに、御代替わりへの経緯について、簡単に整理をしておきたいと思っております。

この度の御代替わりというのは、平成二十八年八月八日の、現在の上皇陛下から、象徴としてのお務めに関する「おことば」というのが出されたことが、まずもっての起点となっていくわけでありまして。その内容については、私から詳しい話はここでは申し上げませんが、

レジюмеの方には一部抜粋しております。興味あられる方は、宮内庁のホームページでも全文見ることができまので、改めて一字一句読んでいただければと思います。

と申しますのも、この抜粋してきた部分だけを見ても、象徴としての天皇とは一体何なのかとか、また、この「おことば」の中に出てきている、天皇として最も大切な、国民の安寧と幸せを祈ることというのは一体何なのかとか、一つ一つ、何となくわかっていくように、我々自身、あまり深く考えたことがないというふうなふうに思うようなことがたくさんちりばめられております。

また、そういったことを皇室御自身が非常に深く考えていらつしやる。また、それを多くの国民に理解してもらいたいんだというように考えると見受けられます。この御代替わりを考えると、この御代替わりに対して我々はどう接していくのかということの原点が、我々自身も、象徴天皇とは一体何なのか、祈るとは一体何なのかというように、何をまずもって考えてみるということが非常に重要なんじゃないかなというところが、この「おことば」から私を感じとったところでございます。

この「おことば」に端を発しまして、これ以降、様々な経緯をもつて御代替わりが進められていくわけですね。  
 まず、平成二十九年の六月十六日に、御代替わりに関する「天皇の退位等に関する皇室典範特例法」という法律が制定されています。また、その特例法の施行規則というのが十二月に定められていきます。この法律が定められたことによつて、平成三十一年四月三十日に天皇陛下の御退位がなされ、そして、翌五月一日に皇太子殿下の御即位及び改元がなされるということが決定されました。

そして、続く平成三十年一月九日、天皇陛下の御退位及び皇太子殿下の御即位に伴う式典準備委員会が菅官房長官を委員長として発足をし、より具体的に、どのようにして御代替わりをしていくのかということが検討されていくことになりました。

そして、何度かの検討を重ねた結果、三月三十日に、この委員会において、「天皇陛下の御退位及び皇太子殿下の御即位に伴う式典の挙行に係る基本方針」が決定されます。これ以降、この基本方針に則つて御代替わりの準備が進められていったということになります。こちらの基本方針もホームページ等で全文読むことができますので、ぜひ御確認いただければと思います。

簡単にその内容を御紹介いたしますと、まず、御退位に関しては、天皇陛下の御退位を広く国民に明らかにするとともに、天皇陛下が御退位前に最後に国民の代表に会われる儀式として、退位礼正殿の儀を行うということが明記されています。

一方、御即位に関しては、即位の礼として、①から⑤までに掲げる儀式及び⑥に掲げる行事を行うとともに、秋篠宮様が皇嗣となられることに伴い、⑦に掲げる儀式を行うというところで、①から⑤あるいは⑥、⑦に掲げられている儀式を行うことが示されております。

本日の主題である大嘗祭の挙行に関しましては、「即位の礼」・大嘗祭の挙行等については、「という、平成の御代替わりの際、閣議口頭了解における整理を踏襲して、つまり、平成の御代替わりの際の事柄を踏襲して、今後、宮内庁において、遺漏のないよう準備を進めるものとする」ということが決定されました。

この基本方針に出てくる儀式あるいは祭祀というものを中心に、今日は、御代替わりは一体



どんな行事が行われていくんだろうかというところを整理していきたいと思えます。そして、それだけでと流れを追っていくだけになってしまいますので、大きく四点のポイントを持って、お話をしていきたいと思えます。

まず、一つ目が「大嘗祭と日本文化」として、大嘗祭は日本文化とどのようなつながりにあるのかというところを確認してまいりたいと思えます。こちらは、皆さんは神職の方々ですので、色々なところでお聞きになられていることかと思えます。神社祭祀と稲作との関係性、古代の神祇令という法律にどんなお祭りが記載されているのか、あるいは、そういったお祭りと神話との関係性はどうかというところをまずもってお話をしていきたいと思えます。

簡単に結論から申し上げておきますと、まず、古代の祭祀の特徴として挙げられるのは、稲作と密接に結びついた祭祀のあり方がある。さらには、稲作、五穀豊穡を祈願する、あるいはそれに感謝するというお祭りとともに、その中には、皇室の祖神を祀る要素というものが見受けられるということでもあります。上皇陛下もそうですし、今上陛下もそうですけれども、皇居内において御自らお田植えをされるということはどういう意義があるのか。そういったところもつながってくる話ですので、まずもって、このあたりをお話しさせていただきたいと思えます。

そして二つ目に、「皇位継承に関する法令と諸儀式」として、私の専門分野が近現代ということもありまして、現代につながっていく法律関係のお話をしてみたいと思っております。

ここでは、皇位継承に関してどのような法令があるのかを把握します。先ほども皇室典範の特例法というお話をしましたけれども、国を挙げて何かをしていく際には必ず、こういった法令を定めて、それに則って粛々と行っていくと

いうことが基本になっていくわけですね。現代の法律のあり方、御代替わりに関する法律のあり方はどうかということ、日本国憲法あるいは皇室典範等を参照しながら考えていきたいと思えます。

こちらにも結論から先にお話ししておきますけれども、近代においては、帝国憲法と、それに並ぶ皇室典範というものが定められておりました。ここである程度の御代替わりの流れは理解できるんですけども、近代において、すなわち明治、大正、昭和の前期までは、皇室令という皇室典範につながる法体系がありまして、その中で、より具体的に、御代替わりをこのようにしてやっていくんだということが定められておりました。

現在はどうなのかと申しますと、現在では、日本国憲法、そして一法律としての皇室典範というものがありまして、実は、この皇室令というものが現在ほぼ存在していないということになります。こういった、近代と現代との違いはどう考えていくのかということ、二つ目には見ていきたいと思えます。

そして、そういった法律の経緯を見ていくとともに、皇位継承に関する諸儀式の概要についても、お話をさせていただきたいと思えます。本日、中心にお話ししていく内容は、当然、大嘗祭ということになるんですけども、そのほか、踐祚、即位礼という儀式についても、少し詳しく見ていきたいと思えます。

三つ目に、「御代替に伴う諸儀式について」として、こちらは、平成の踐祚、即位、大嘗祭の経緯を追いながら全体像を確認していき、最後に、大嘗祭というのは具体的にどのようなお祭りなのかということをお話ししてまいりたいと思えます。

そして最後、四つ目、「政教分離と御代替」

## 踐祚大嘗祭の基礎知識

國學院大學 高野裕基



へ新穀を奉る新嘗祭、大嘗祭に代表される、要は、稲作に密接に結びついていく祭祀のあり方というものが、この神祇令を見ていると見えてくるということになります。ですので、稲作と密接に結びついた祭祀。

そして、先ほどもお話ししましたけれども、やはり天照大御神をはじめということで、皇室にあつては、皇祖神をお祭りするという要素、神嘗祭もまさに、伊勢の神宮において五穀豊穡に感謝するお祭りということで、皇室の祖神を祭る要素があるんだということが、この神祇令を見ていると、確認できます。これを現代的にどう言うかということ、これを現代の神々の恵みに感謝をして、そして祖先を敬うという神道信仰のあり方の原点というものが、この古代のお祭りのあり方から見えてくるのではないかと、どうにかに言えるかと思えます。

さらには、神祇令に記載されているお祭りというのは、稲作に関わるものだけではなく、六月と十二月の二回、半年ごとに行われます大祓ということになりまして。こちらは、国の平安を祈り、災いや罪穢れを除く神事ということで、元来、今スライドに出しておりますような、平城京の朱雀門の前で百官を集めて行われていたお祭りですけれども、それが、時代を経る中で、現在、皆様の各御社頭でも行われているような大祓の形に変遷していったという経緯があります。ですので、大きく見てみますと、稲作に関わるお祭りと、そして、半年に一回、国内の平安を祈るお祭りが行われているということが、古代の祭祀のあり方と言えらるかと思えます。

こういった事柄というのは、神話の中でも確認することができます。三大神勅というものが日本書紀の中に見られます。簡単に言いますと、神様からの言いつけということになるわけですが、けれども、その中でも特に重要とされている三つの神勅です。

まず一つ目が、「天壤無窮の神勅」といいます。ちよつと読んでみますと、「葦原の千五百秋の瑞穂の国は、是、吾が子孫の王たるべき地

として、やはり御代替わりに関しましては、社会的に様々なことを言う方々がいらつしやいます。いわゆる批判というものがあるわけですが、その最たるものが政教分離に関わる事柄かと思えます。そういった政教分離と御代替わりとの関係性、さらには、政教分離と大嘗祭との関係性をどう考えていけばいいのか、あるいは、何か批判があつた際に、どのようにして我々は応答していけばいいのかというところを最後に確認していき、というのが本日の流れになります。

以上四点を踏まえて、最終的に考えていきたいと思えますことは、御代替わりの諸儀式に対して、我々一国民として、一体どんな接触の仕方といいますか、つながっていく方法があるのかというものを最後に考えていくというのが本日の内容の概要になります。

それでは早速、先ほど御提示した流れのうち一つ目、「大嘗祭と日本文化」というところに入っていきます。お手元の資料の三ページ目をご覧ください。

皆さんも御承知のところかと思えますけれども、古代においては、中国の律令という法律を輸入してきました。この制度を日本的な形に整備していきました。そういった中で、祭祀、お祭りに関する事柄というのは、神祇令という法律に規定されていきました。皆様のお手元にお配りした資料の下端の方、「神祇令に規定された祭祀一覧」を付けさせていただきます。

その中で、縦線を引いてあるところを見ていただければと思えます。まず、一年の五穀豊穡を祈念する祈年祭に始まりまして、そして、稲作の順調な進捗を祈念する風神祭、大忌祭というのが続いていきます。そして、秋に収穫がなされましたら、秋には新穀の収穫の報告あるいは感謝をなす神嘗祭、相嘗祭が続いていき、そして、天皇自ら、天照大御神をはじめ天神地祇

なり。爾皇孫、就でまして治せ。行矣。宝祚の隆えまさむこと、当に天壤と窮り無けむ」ということです。葦原千五百秋瑞穂の国は、我が子孫が君主として治めるべき国土です。我が子よ、行つて治めなさい。さあ、出発しなさい。皇室の繁栄は、天地とともに永遠に続き、窮まることがないでしょうというような言葉が、天孫降臨される際、天照大御神から授けられているということがわかります。

二つ目が、「宝鏡奉斎の神勅」といいます。こちらも読んでみますと、「吾が児、此の宝鏡を視まさむこと、当に吾を視るがごとくすべし。与に床を同くし殿を共にして、斎鏡とすべし」ということです。我が子孫よ、この鏡を私と思いなさい。この鏡を皇居に祀り、「御鏡の祭り」を受け継いでいきなさいということが、こちらも天照大御神から授けられたことでもあります。こちらも御存じのことかと思えますが、この「宝鏡奉斎の神勅」によつて、鏡が授けられた。瓊瓊杵尊以降、最初は皇居で奉斎されていたわけですが、第十代の崇神天皇の時、こんな恐れ畏きものと同じ場で生活することは非常に恐れ多いということで、皇居の外で奉斎されるようになるわけですね。そして、続く第十一代垂仁天皇の御代に、何か然るべき、きつとお祭りすべき土地があるのではないかと、いうことで、最終的に辿り着きましたのが、伊勢の国の五十鈴川のほとりということ、現在の伊勢の神宮で奉斎されるようになり、現在に至っているということになります。

まさに、こういった経緯があればこそ、伊勢の神宮が最も重要なお宮であるということになつていくとともに、伊勢の神宮の重要性というものは、大嘗祭を考える上でも重要になつてきますので、一つ頭の中に置いておいていただければと思えます。

そして三つ目、お手元の資料ですと、四ページ目に入っていきます。

「斎庭稲穂の神勅」といいます。こちらは、「吾が高天原に所御す斎庭の穂を以て、亦吾が児に御せまつるべし」ということで、私がかつていた高天原で育てた神聖な田んぼの稲穂を我が子孫に授けましょうということになります。

ですので、我が国における稲作というものは、こういった神話の内容を見ていきますと、天照大神から授けられた神聖な稲穂、そういったところに端を発しているんだという考え方が古代においてはあった。であるからして、先ほど神祇令のところで確認しましたように、祭祀というものが稲作と密接に結びついていくんだというところが、法律的なところと、あるいはこういった神話的なところと、両面から見えてくるということになります。

まさに、稲作に関わる祭祀、皇祖神を祀る祭祀、そういった古代の祭祀の最も特徴をとらえている代表的なお祭りというのが、本日の主題となります大嘗祭なんだというところを一つ押さえておいていただければと思います。

また、これから先、踐祚、即位、大嘗祭ということを見ていく上で、基礎の基礎として、こちら皆さん御存じのところかと思えますけれども、皇位継承には二形態あるんだということも先にお話ししておきたいと思えます。

一つ目は、先帝の崩御によつて新帝が皇位につく崩御踐祚という方です。二つ目は、先帝が讓位をし、新帝が皇位につく讓位踐祚。こういった二つのあり方がある。そして、御存じのように、この度の御代替わりというのは、この二つ目の讓位踐祚ということになります。いずれにしても、踐祚に際して、先帝から新帝へ三種の神器が承継されることによつて即位をされるんだというところは、一つ押さえておいて

いただければと思います。

三種の神器が何であるのかというところについては、口頭では申し上げませんが、資料の四ページ目の上段左側に一つ一つ解説をつけておきましたので、各自御確認いただければと思います。

それでは、ここから、より具体的に、御代替わりに伴う諸儀式の概要について見ていきたいと思えます。

踐祚、即位、大嘗祭についてお話をすると申し上げました。まず、踐祚について確認をしておきたいと思えます。

踐祚という言葉は、宝祚を踐むということを表しております。すなわち天皇の即位を示す言葉であります。天照大神の御霊代である御鏡と、皇位のみしるしである御剣、そして御勾玉、この三種の神器が承継されることによつて天皇が即位する。これを踐祚と言っております。具体的には、御鏡を除いた御剣と御勾玉（劍爾）、さらには、天皇そして日本国の印章である御璽、国璽というものが承継されるのが踐祚という儀式になります。

では、即位を既にしてに、改めてなぜ即位礼という儀式が設定されているのかというところですが、即位礼というのは、天皇の即位が国の内外に宣明されるとともに、内外の代表が即位を寿ぐ儀式ということで、既に踐祚ということと即位された天皇が、即位したということとを国の内外に宣明する、それが即位礼という儀式だということを押さえておいていただければと思います。

この即位礼というのは、古代において、中国から入ってきた儀式でありまして、それを反映して、中国を意識した対外的性格を有した儀式と言われています。さらに、近代以降、明治時代以降になりますと、世界各国の国王、元首、

王族、大統領などの海外の要人を招いて行われまして、いわば国家を挙げての、国際的性格を持った儀式という性格を持つております。

そして、そういった即位礼を経まして、御代替わりに伴う、最重要となる祭祀である大嘗祭が行われていくということになります。

大嘗祭とは一体何なのかということをお問われたい際に最も簡単な回答の仕方というのは、天皇の即位後、初めて行われる新嘗祭、これを大嘗祭と言ふんだという回答が最も伝わりやすい回答かなと思えます。毎年十一月二十三日に行われている新嘗祭ですけれども、天皇が即位した後、最初に行われる新嘗祭、これを大嘗祭として、より壮大に行っていく、そういったお祭りです。

簡単に内容を見ておきますと、新穀が天照大神及び天神地祇に供えられ、天皇自らも召し上がり、五穀豊穡への感謝と国家国民の安寧が祈念されます。より具体的な内容は、後ほど見ていきたいと思います。

先ほど、簡単に大嘗祭を説明する際には、毎年行われている新嘗祭と、天皇が即位した最初に行うのが大嘗祭だという説明がよいというお話をしましたけれども、少し図表にして、皆様のお手元にも配布させていただいております。四ページ目の右下の表であります。

先ほど来お話ししているように、新嘗祭は毎年齋行されているわけですが、大嘗祭は一世一度行われる祭祀です。この大嘗祭を含め、一連の儀式を総括して、御大札と称しているわけですね。さらに、民間の奉祝行事も含めた際には、御大典という言い方もしています。

そして、新嘗祭の方は宮中の新嘉殿において行われるのに対して、大嘗祭は、大嘗宮という建物を大嘗祭が行われる際に新設をして、齋行されるという違いがあります。

そして、新嘗祭で捧げられます新穀ですけれども、こちらは、先ほど来、写真でお示しているような、皇居内で、天皇自ら、お手植え、お刈り取りされた初穂、あるいは全国の都道府県から献上された米であるとか粟といった穀穀が供えられるわけです。

大嘗祭の場合は、少し特徴的な新穀の調達方法になるわけですが、悠紀、主基という地方を定めまして、その両地方の齋田において収穫された新穀が、大嘗宮を構成する悠紀殿、主基殿にそれぞれ供えられるという特徴的な祭祀の在り方がございます。

次に、こうした踐祚、即位、大嘗祭というものを規定する法律について確認をしておきたいと思えます。お手元の資料の五ページ目に入っていきます。

「近・現代の皇位継承に関する法令と諸儀式」ということで、ここでは、近代以降、踐祚、即位、大嘗祭がどのように法律によつて規定され、さらには、その内容がどのように変化してきたのかということを見ていきたいと思います。

近代においては、皇室典範の第十条から十二条の中に少し具体的な項目が掲げられております。第十条「天皇崩スルトキハ皇嗣即チ踐祚シ祖宗ノ神器ヲ承ク」ということで、先ほど来お話ししているように、先帝が崩御された際に、皇太子が直ちに踐祚する、つまり即位をする。そして、その際には三種の神器を承継するということも定められております。

続く第十一条は、「即位ノ礼及大嘗祭ハ京都ニ於テ之ヲ行フ」ということで、即位の礼、大嘗祭を行う場についても、きちっと規定がされておりまして。

そして第十二条、「踐祚ノ後元号ヲ建テ一世ノ間ニ再ヒ改メサルコト明治元年ノ制定ニ從

フ」として、こちらは元号についてですけれども、近世以前において、お一人の天皇につき幾つかの元号が定められていた時代が長くあつたわけですが、明治以降は、お一人の天皇につき一つの元号という、いわゆる一世一元の制というものが定められたということで、この皇室典範にもそれが反映されているということになります。

ただ、これだけの条文ですと、どのようにして具体的に御代替わりを行つたらいいのかということがわかりませんので、さらに細かくその内容が規定しているのが皇室令の一つである登極令という法律になります。「極」というのは皇位を示しております。皇位に登られるということで、すなわち皇位継承に関する法律ということになります。

この全文につきましては、お手元の資料五ページ上段の途中から掲げさせていただきますので、内容を逐次見ていきたいと思います。ぜひ後で確認していただければと思います。近代においては、これほど細かく、どのように具体的に御代替わりを進めていくのかということもできちんと規定をされていたということになります。

さらに、各儀式あるいは大嘗祭のさらなる細かい項目についても、五ページ目の最後に附式というところで、こちらは省略してしまいましたけれども、その中にさらに細かく規定がされているということ、この登極令に做つていけば、きちつとした形で御代替わりを行っていくことができるというような法整備がされていたということになります。

では、現代はどうなっているのかということ、また一枚めくっていただきまして、六ページ目です。

現代においては、戦後制定されました日本国

憲法の第一条に天皇についての項目がございまして。「天皇は、日本国の象徴であり日本国民統合の象徴であつて、この地位は、主権の存する日本国民の総意に基く」ということが明確に示されております。そして、続く第二条、「皇位は、世襲のものであつて、国会の議決した皇室典範の定めるところにより、これを継承する。」とあります。

では、皇室典範の中にはどのように示されているのかということですが、ほとんど具体的な内容は示されておられません。先ほどとは違う戦後の皇室典範の第四条には、「天皇が崩じたときは、皇嗣が、直ちに即位する。」そして、第二十四条には、「皇位の継承があつたときは、即位の礼を行う。」とのみ示されています。これだけでは、どのように御代替わりをしていけばいいのかということとは不鮮明なわけですが。近代においては、それを補うような形で皇室令があり、その中でも特に登極令があつて、具体的な内容を示していたわけですが、現代においては、その具体的な項目を示した皇室令がない。

今どうしているのかということですが、そういった皇室令がないので、今スライドでお示したように、慣例法として、戦前のそういった登極令の内容等を精査して、それを踏襲していくというような形をとっています。すなわち、現代における皇位継承というのは、法律的な立場から見れば非常に不安定な状況にあるんだということがおわかりいただけるかと思えます。

こうした法令の不備、あるいは、先ほど来読み上げております旧・新皇室典範の内容を見ましても、まず先帝が崩御されるということが前提になった規定になっておりますので、やはりこの度のような讓位踐祚という形になりますと、





そこで議論が生まれてくるということになるわけですが。

ですので、一番望ましいあり方というのは、現代においてどのような皇位継承のあり方がよいのかということとをきちんと精査した上で、法律としてきちんと定め、いつ何時どのような状況になっても、この法律に従っていけば大丈夫なんだというような状態をきちんと事前に検討しておくということが一番望まれるところになるというふうに考えております。

先ほど来、近現代のお話をしております。そういう中で、どのようにして、踐祚、即位礼、大嘗祭というものが変遷してきたのかというところをここからは見ていきたいと思います。

まず初めに、明治天皇の踐祚につきましましては、近世と同じような形で行われました。大きく変わってくるのは、続く即位礼になります。明治天皇の即位礼は、明治元年に京都御所の紫宸殿において行われました。

そして、先ほどもお話ししたように、元来、即位礼というのは大陸から伝わってきた儀式ですので、もともと唐式、大陸式の行事というのが非常に多かったのです。そして、仏教的な要素を多分に含んだ儀式でした。焼香行事、あるいは冕冠や礼服といった唐風の、大陸風の装束などを着ていたり、即位灌頂といった仏教的な儀式などが行われていたわけですが、そういった明治天皇の即位礼に際しましては、そういった平安時代以来の唐風や仏教的な要素というものを一切排した神式で行われました。この時、新たに定められた新しい即位礼のあり方というのが今日までの即位礼の原型というふうになっています。

こちらのスライドは、明治天皇の一代前の孝明天皇の即位礼の図になります。ここに描かれている人達、これは礼冠という冠をかぶっている、御代替わりというものが違うものとして見えてくるのかなと思います。

そして、明治天皇の大嘗祭についてですけれども、明治天皇の大嘗祭は、東京で初めて行われた大嘗祭。大嘗祭は、基本的に京都、あるいは、古代においては奈良において行われていたわけですが、これが明治天皇の際には東京で行われるということになりました。

ただ、先ほど見ていただいたように、明治天皇の大嘗祭の後に定められました皇室典範には、即位礼、大嘗祭は京都において行うということになりましたので、大正天皇、昭和天皇の際には京都において行われるということになります。そして、古代の原則に戻り、悠紀、主基を改めて全国的規模で選定をしていくということになります。こちらにも全体図を後でまたお示ししますけれども、大嘗祭を行う大嘗宮の重要な建物として、悠紀殿、主基殿という建物がございます。この悠紀殿、主基殿にそれぞれ、占いによって定められました悠紀の国、主基の国から献上された新穀が供えられるというのが大嘗祭というお祭りです。

お手元の資料の六ページの左下のところに、近代以降、どの地方が悠紀の国、主基の国に選定されたのかという表もつけさせていただきますましたので、ぜひそちらも御参照いただければと思います。

さらには、明治天皇の大嘗祭の際に悠紀の国に卜定された甲斐国、甲府県住民達の要請によって新しく新設された事柄がありまして、これを庭積機代物と呼んでおります。

これは、大嘗祭に際しては、悠紀、主基だけではなくて、全国的に各地域の特産物を大嘗宮においてお供えいただくというような意味で、新設されたといったことになります。

ます。神職の皆様でしたら、見ていただいてもすぐわかるかと思いますが。日本的ではなく、大陸的な装束かなと思います。元来、即位礼というのは、こういった唐式の装束をつけてされた儀式です。

こちらが明治天皇の即位礼の図になります。これをよく見ていきますと、先ほどお示したような唐風の装束を着たような人達は一切描かれず、日本式の形に改められているということです。

さらに特徴的なのは、明治天皇の即位礼に際しては、大地球儀が中央に置かれて、新しい時代というものを非常に意識した即位礼が考案され、実際に行われていったということで、御代替わりに関わる儀式あるいは祭祀というものが、明治維新を機に、新しい時代とともに変化していったんだということ象徴するものと言えるかと思えます。

また、高御座、御帳台ということで、手前が即位礼に際して、天皇がこの上にながらされて、そして即位されたということを宣明される高御座、そして奥が、皇后様が上がられる御帳台であります。こちらは大正天皇の時につくられた高御座と御帳台になります。これが現在でも使用されているということで、皆様も、京都から東京に運ぶということメディアなどでもご覧になられているかと思えます。

そして、たびたび改元の話等々も法令の中で出てきていたわけですが、明治になりまして、一世一元の制が定められたということは非常に大きいことかと思えます。元号についても、一般の方々には非常に興味を持っていらつしやる所かなと思います。平成が三十一年、昭和は六十四年、大正は十五年、そして明治は四十五年と、この一世一元の制に基づいて続いていたわけですが。



歴史的に見ますと、二十年以上続いた元号というものは、実はそんなに多くないということがわかるんですね。お一人の天皇で何回も改元をされている方がいらっしゃいますので、当然といえば当然なんですけれども、応永というのが三十三年十月と八日間ということで、いかにこの一世一元の制が定められたことの影響が大きいかがわかるかと思えます。

また、元号といいますが、何か日本独特の風習のように言う方が一般の方に非常に多いわけですが、これもこれまで定められました二百四十八の元号があるわけですが、日本、朝鮮、中国、ベトナム、台湾といった、実は、元号というものは、広く見れば、東アジアという広い文化圏の中で用いられてきたものなんだということが非常によく見えてまいります。

そして、そのうち三十七の元号が実は既に海外において使用されたことのある元号だということも非常に興味深いところかと思えます。先ほど神祇令のところでも律令というお話をしましたけれども、大宝律令というので非常に有名な大宝というの、実は、大陸の梁、南漢というところで既に使われたことのあるものであったりします。そして、貞観儀式という言葉も聞いたことがあるかと思うんですが、貞観も唐において使用されたことのある元号です。さらに、明治というの、大理という大陸の国において使用されたことがあります。

さらに言いますと、大正というの、莫朝という、こちらはベトナムの王朝ですけれども、ベトナムにおいて使用されたことのある元号ということ、古く古代に遡って見てまいりますと、日本だけのものではなくて、東アジアという視点からも、元号を定めることの意義というのは考えていくことができるのではないかなと思います。そういった広い視点の一つ持つて見

ちなみに、当地であります東京都でいいますと、平成の場合は、キャベツ、大根、ウド、シイタケ、テングサというものが庭積機代物として供進されています。こちらにつきましては、皆様方の手元に神社本庁から送られているかと思えますけれども、「御代替り」という冊子の中にも、十九ページに日本地図があつて、全国からどのようなものを庭積機代物として供進したかというものが出ていますので、こちらを参照していただければと思います。

元号について先ほど少し触れましたので、もう少しだけ詳しく触れていきたいと思います。御社頭でも、令和についてとか、万葉集とは何ですかというような質問が出ることも多いかと思えます。この令和や万葉集につきましても、恐らく、皆様も既に色々勉強されていることかと思えます。お手元の資料ですと、七ページの上段に、簡単にですけれども、参考というところで載せていただいております。

令和という元号が発表された当初は、よく一般の方から、どんな歌からつけられた元号なんですかということも皆様もよく質問されたかと思えます。そういった中で、歌からとられたんじゃないんですよという説明をしなければいけないということ、梅花の歌」という、三十二首ある項目の序文に付されている言葉からとられたのが令和という言葉になります。その一部を抜粋して皆様のお手元にも示しております。「初春の令月にして、気淑く風和らぎ、梅は鏡前の粉を披き、蘭は珮後の香を薫らす」という一節から、「令」と「和」という字がとられているということになります。

お手元の資料の左側に、本学の図書館が所蔵している資料も掲載させていただいております。その中に「天平二年」というふうに出てきているわけですが、すなわち七百三十年のこ

とになります。そして、「令月」という言葉ですけれども、物事をなすのによい月ということ、この場合ですと正月を指しているということになります。この「令」の字についても色々な方が色々なことをおっしゃっていましたが、この文献から見ますと、こういった意味をなす言葉ということですね。

ちなみに、万葉集というのは、先ほども日本書紀から三大神勅というのを引用しましたけれども、古事記、日本書紀に神話が示されていて、多くの神職の方々も触れられているところかと思えます。万葉集と神道との関係は何ですかと一般の方に言われますと、なかなか説明するのが難しいなと思う時が私なんかもあるわけですが、万葉集とは一体何なのか、さらに言えば、神道にとって和歌とは何なのかということも少し重要なかなと思えます。資料の方には盛り込んでいないですけども、ちよつとだけ脱線になりますけれども、簡単に話させてくださいと思います。

和歌というのは、これも古事記、日本書紀の中に出てくるものでありまして、日本においては、和歌は神様が詠み始めて、そして人の世に受け継いでいったんだという認識がどうも古代にはあったということになります。そして、神道を知るためには、和歌を学んで、そして作るということが必要だということが説かれていくようになります。

万葉集には様々な歌が詠まれているわけですが、けれども、その万葉集にあらわれた信仰の特徴というのは、自然界の事物や現象に対して宗教的態度をとる、いわゆる自然崇拜を基調とした信仰というものが見られるんだという点。さらに重要なかと思えますのは、スライドの一番下に出ています、言霊の信仰というものが非常に顕著に見られるということが特徴かなと思



夏期セミナー

色々な歌を読んでいきますと、一般に祈願の対象となつてきているのは、より抽象的な天地の神ということ、よく言われておりますのは、万葉集を読んでいると、非常に古代の人達のおおらかな信仰のあり方というのが見えるんだと思います。

退位礼につきましては、今回ちよつと省いてしまつておりますので、お手元の七ページ目下段の即位礼の①のところをご覧ください。

まず、劍璽等承継の儀というのが行われるわけです。これがまさに、近代のころに出てきた実践に当たるものです。劍璽等承継の儀ということ、御剣と御勾玉が承継されるとともに、「等」も、先ほど確認したように、天皇の御璽として大日本国璽、この二つが継承される。この二つを含めて「等」というふうに言っているわけですね。これにつきましては、既に令和元年の五月一日に執り行われております。そして、改元ということですね。

そして、その後、改元と同日に即位後朝見の儀というのが執り行われます。こちらは、即位後初めて、内閣総理大臣を含む三権の長をはじめ、国民の代表に会われる、そういった意味を持つ儀式になります。

そして、即位礼正殿の儀の直後に、宮殿から皇太子殿下の御在所までの間において、広く国民に御即位を披露され、そして祝福を受けられるための御列ということで、パレードが行われていく。これが祝賀御列の儀ということになります。

そして、その後、饗宴の儀ということで、様々な要人を招いた饗宴が数日間にわたって執り行われていきます。それとともに、内閣総理大臣主催の晩餐会なども行われまして、この即

うふうに言われております。

ですので、多分、現代の人間の方が、この神様はどんな御利益があるんですかとか、そういった少し原理主義的な考え方をしているのかなと逆に考えさせられるような歌もあります。古代の人々の方が、より、何となく漠然とした山の神様、川の神様、海の神様とか、そういった感覚を持っているんじゃないかなということも万葉集からは見てとれるということになります。

そして、言霊についてですけれども、例えば、山上憶良の好去好來の歌という歌があります。「大和の国は皇神の厳しき国 言霊の幸はふ国」ということで、「言霊の幸はふ国」、そういった文言が出てきたりしています。そして、柿本人麻呂の歌でも、「葦原の瑞穂の国は神ながら 言挙げせぬ国 然れども 言挙げぞ我がする」、「大和の国は言霊の助くる国ぞ」というようなことで、言霊というものが非常に重要だということが見えてきます。好去好來の歌というのは、中国に旅立つ人々に対して、無事に帰ってこいよというような歌になるわけですね。

ただ、神道界、神社界においても、神職というのには言挙げしないんだということを言われるかと思えます。まさにそういった言挙げせぬ国ではあるわけですけども、あえて自分は言挙げするんだと。すなわち、言挙げしない国なんだけれども、あえてするということは、それだけ言葉というものに力があるということ、古代の人々が感じていたことの証左にもなつてくるかと思えます。

言霊とは何なのかというのは、辞書的に考えてみますと、言葉に霊が内在して具存して、自然にその言葉を発する人の行為として実現し、言葉の意味するとおりに効力を示すんだという信仰が言霊信仰というふうに言われています。

即位礼に際して来日いただいた外国の元首等々を招いた晩餐会なども行われていきます。

お手元の資料ですと、八ページ目に入っていきます。

立皇嗣礼ということで、こちらは多分翌年に行われるんだと思えますけれども、秋篠宮様が皇嗣となられることを広く国民に明らかにする儀式として立皇嗣礼というのがこの度行われていくということで、平成の場合ですと、立太子礼という名前で行われております。

そして、踐祚、即位と来ましたら、大嘗祭が行われていくわけですね。

お手元の資料八ページの上段には、大嘗祭の一連の儀式、すべてではないんですけども、重要と思われる儀の流れをお示ししております。特に、その中でも、平成ですと、十一月二十二、二十三に行われました大嘗宮の儀、悠紀殿供饌の儀、そして主基殿供饌の儀というのが大嘗祭の中核的な祭祀になります。

ですので、大嘗祭というのは、こういった一連のお祭りを総称して大嘗祭と言うこともありますし、狭義の意味で大嘗祭と言う時には、この大嘗宮の儀を指して大嘗祭と言われることがあります。ですので、どこからどこまでが大嘗祭なのかというのは非常に難しい問題ですけども、狭い意味で、一般の方々が大嘗祭というお祭りがあるということをお話する際には、まさに、この大嘗宮の儀が大嘗祭なんだというふうにお話しただいて差し支えないかなと思えます。この度の御代替わりですと、十一月十四、十五と行われる大嘗宮の儀ということになります。

皆様のお手元の資料の八ページの下段にも平面図をつけていただきました。この大嘗祭というお祭りが、どのような場で行われるのかというのを少し詳しく見ていきたいと思います。

### 第1講 踐祚大嘗祭の基礎知識

まさに祝詞などもそうだと思うんですけども、言葉に発するということが非常に重要なのではないかと。重要でありつつ、何でもかんでも発するわけではなくて、やはり言葉の重さというものを考えていくというのが、神道について考える一つの視点になるのかなと思います。

そして、万葉集と国学ということで、神道を考える上で、非常にこの和歌というものが大事にされてきたということを再度お示ししておきたいと思うんですけども、賀茂真淵という国学者、神道とか神の道というものを考える上で重要だと言っている学問の流れ、このように勉強していくのがいいんだという流れですね。

まず、いにしえの歌を学んで、いにしえ風(ぶり)の歌を詠むということで、古代の歌を学ぶとともに、自分自身もそれを詠んでみる。

続いて、いにしえの文を学んで、いにしえ風(ぶり)の文を作る。歌を学んで、歌を詠んだ後に、その文法等々を学んで、自分でもそういった文章をつくってみる。そして、古事をよく知って、古事記、日本書紀を読むべきだということ、古事記、日本書紀を知らなくて古き心(古意)は知ることができず、古き心を知らないでは、いにしえの道は知りがないというふうな言っていることからもわかるように、神道を考えていく上での一つの基点として和歌というのがある。そして、日本最古の和歌集というのには万葉集なんだということを、令和というものと併せて考えていくということも重要でありつつ、一般の方々から、神道とどんな関係が万葉集にあるんですかと問われた時には、こういったお話をすると、伝わるのかなと考えております。

大きく脱線いたしましたけれども、本題の方に戻っていききたいと思います。



て、真ん中に寝座が置かれている。古くはこの寝座の上に天皇が乗って、そこで何か天皇霊と云うのをつけるような、そういったお祭りがなされているんだという説もありましたけれども、現在では、そうではないということが言われております。色々な文献の中でも、この真ん中の寝座に乗るといふような行為は見られないということ、学術的には言われております。

では、どのようにしてお祭りするのかということですが、天皇は、この手前から入ってきまして、すぐ足元、ここに香が置いてあります。その足元をぐるりと回ります。御座に著座されます。そして、御座に著座されて、この寝座の方向ではなくて、この図ですと右下の方向を向いて、こちらに新穀を奉られる、そういったお祭りをされているというふうに言われております。

こういった平面図もあります。この場合ですと、こちら入り口から入ってきまして、この神座の足元の方を回らんとするんですけれども、そして御座につかわれて、左下の方向を向いてお祭りをされるということです。既にここに出てくるので、おわかりのことかと思えますけれども、この大嘗祭でのお祭りのほうは、伊勢の神宮の方向を向いてお祭りをするということが非常に大事になってくるかと思えます。先ほどのものと、右下に向ってあります。ですので、これは京都で行われた大嘗祭の想像図ということがわかります。京都から見ると、奥の方が北というふうになっています。ですので、南東方向を向いてお祭りをしている。こちらは皇室事典から抜粋してきたものなんですけれども、最近ですと東京で行いますので、南西の方向に向かってお祭りをします。そういったお祭りが大嘗祭ということになります。

大嘗祭の際に捧げられる神饌ですけれども、

こういった柏の葉に入った御神饌を供えられるということになります。お米ばかりではなくて、鮮物なんかも捧げられたりしています。御飯等々、おかゆ、お神酒はもちろんのことで、すけれども、生物、そして干物ということ、乾燥させた海産物なんかも捧げられますし、汁物も捧げられます。さらには、いわゆるデザートに当たるものですけれども、果物ということ、木の実など四種も捧げられるということで、様々なものが捧げられているんだということがおわかりいただけるかなと思います。

こちらは、同じく本学の博物館に展示しているものですが、新嘗祭の際の祭具です。これと同じようなものが使われて、大嘗祭も行われるというふう聞いております。まず、多志良加に入っている水で手を清められて、この葛宮に入っている布で手を拭かれます。そして、窪手という、先ほど見ていただいたように、御神饌が入っている四角い柏の箱から、枚手という、これも柏でつくったお皿の上に、竹をぎゅつと曲げてピンセット状にしたお箸を用いて移していくということになります。そして、奥にあります平居瓶というところに入ったお神酒を本柏というお皿で受けて、それを召し上がるというのが大嘗祭の一連の内容になっていくということになります。

ですので、一番最初に確認したような、稲作と密接に結びつく祭祀であるとともに、こういった祭祀を通して、即位された天皇が、天照大神はじめ天神地祇の御加護のもとで、この国をいかに安寧に、また国民を幸福に導いていくのかということに祈られる、そういったお祭りが大嘗祭なんだということを御理解いただければと思います。

大分時間も迫ってきましたので、ここから少し足早にお話ししていければと思います。最後

の項目です。お手元の資料の九ページ目をご覧ください。

こういった一連の御代替わりにつきましては、様々な批判等々も出てくるわけであり、その最たるものが政教分離に関する事柄です。

政府の立場はどうかということ、先にも確認しておきたいと思えます。

政府の立場としては、皇室典範における即位の礼を、皇位継承に関する一連の儀式をすべて含んだものと解し、殊に大嘗祭については、一世一度の重要な伝統的な皇位継承儀式であり、憲法に定める皇位の世襲制度に即して公的性格を有している。すなわち、先ほど憲法的一条、二条を見ましたけれども、憲法の中に世襲ということが明記されています。ですので、公的性格を有していることは間違いないことですね。ですので、日本国憲法における皇位の世襲の規定に基づき代々受け継がれてきた伝統的儀式である大嘗祭は、憲法において容認されるというような立場に立っております。

そして、さきの大戦後、一番最初の御代替わりになった平成の即位礼、大嘗祭は、旧登極令に基づく昭和の即位礼、大嘗祭を基本とし、かつ明治以前の古例も改めて参照されるなど、伝統が尊重されてきた一方、日本国憲法以下、現行法の規定や時代の変化を踏まえた新たな儀式や形式も盛り込まれた。殊に憲法における政教分離の原則が考慮され、即位礼や大嘗祭に関わる儀式、行事の性格が、国事行為と皇室の公的行事とに分けられていったということで、多分に政教分離というものを考慮した内容に変化している部分があるということがわかります。

そもそも政教分離というのは一体何なのかということなんですけれども、ここを詳しくお話したい時間がないので、ぜひ後で確認していただければと思います。

日本国憲法の二十条と八十九条の中に政教分離に関する規定がございます。そういった中で、二十条の三項目に、「国及びその機関は、宗教教育その他いかなる宗教的活動もしてはならない。」というふうな定められております。ですので、批判的な意見というのは、大嘗祭というのは宗教的な儀式であり、それに国が関わるのにはよくないんじゃないのかというふうな考え方が出てくるわけですね。

そして同時に、この条文の中で最も重要になってくるのは、宗教的活動とは一体何なのかということになります。

神道や神社が関わる政教分離訴訟ですと、こちら御存じのことかと思えますけれども、最も有名なのが津地鎮祭訴訟という訴訟であります。こちらは、昭和四十四年四月に、三重県の津市が市の体育館を建設する際、神式の地鎮祭を主催、挙行し、その費用を公費で支出したということが、先ほど見ていただいた憲法二十条と八十九条に違反するとして提起された訴訟であります。ここで問題になったのが、地鎮祭は宗教的活動なのか、あるいは、そうではなくて、習俗的活動なのか、そういったところが争点となっていたわけですね。十二年を経た昭和五十二年に最高裁判決が示されまして、習俗的活動であり、ゆえに憲法違反ではない、合憲であるということが示されました。その際の判断基準として、「目的効果基準」と称される基準が用いられました。

「目的効果基準」とは一体何なのかということなんですけれども、宗教的活動とは、「国及びその機関の活動で宗教とのかかわり合いをもつすべての行為を指すものではなく」ということで、すべての宗教的行為を指すものではないということが明示されています。「そのかわり合いが右にいう相当とされる限度を超えるも

のに限られるというべきであつて、当該行為の目的が宗教的意義をもち、その効果が宗教に対する援助、助長、促進又は圧迫、干渉等になるような行為をいう」というような基準であります。何でもかんでも国と宗教が結びついてはいけないというわけではなくて、それはどのくらいの程度の結びつきなのかということをお考えなければいけないということですね。

さらに、この時の最高裁判決では、様々な項目を、社会的通念に従って、総合的に考慮して考えなければいけないんだという基準を示しております。それを①から④に分けて考えてみますと、その当該行為、この場合ですと地鎮祭が行われる場所、二つ目、当該行為が対する一般人の宗教的評価、三つ目、当該行為者が当該行為を行うことについての意思、目的及び宗教的意識の有無、程度、そして四つ目、当該行為の一般人に与える効果、影響というものを社会的通念に従って総合的に考えなさいという考え方にあります。

スライドですと、あえて赤字にしておりますけれども、その最高裁が考えた基準というのは、まさにこういった、一般人がどう考えているかというところが非常に重要になってくるかと思えます。大嘗祭に関して申し上げますと、一般の人々が大嘗祭をどう考えているのかということ、それが非常に重要になってくるんだらうと思えます。

ですので、より多くの方々に、大嘗祭とはこういうものなんだ、御代替わりに関わる様々な儀式や祭祀というのはこういうものなんだという正しい認識をいかに広めていけるのかというのが、こういった政教分離という分野においては非常に重要になってくると思えます。さらに言いますと、この津地鎮祭訴訟は、少し誤解されている部分もあるわけですが、



まったくもって地鎮祭が習俗的行事だというふうには、祭祀を行った神職にとつては確実に宗教的な行事である。ただし、ここに示されているように、それに参加した一般の人達にとつては習俗的行事なのであつてというところが案外見落とされているところになるかなと思います。

こういった「目的効果基準」というのは、その後の政教分離訴訟においてもたびたび用いられていて、様々な判決が出ております。そして、即位礼あるいは大嘗祭に関わる訴訟でも、こういった総合的判断が採用されているということを確認しておきたいと思ひます。

お手元の九ページ下の段、真ん中らへんです。「御代替関係訴訟」ということで、①から⑤まで掲げております。

平成における御代替わりでも多くの政教分離訴訟というものが起こされております。ことごとく合憲判決ということになってはいないわけですが、この度の御代替わりの際に際しても既に訴訟が控えていたり、この後、大嘗祭が斎行された後、また新たに起こされる可能性もあるかと思ひます。

一つだけその事例を持つてまいりました。④鹿児島県大嘗祭訴訟というものです。これは鹿児島県知事が大嘗祭に公費を使って参加したということが政教分離違反だとして訴えられた訴訟です。最高裁判決の一部を抜粋してきております。

この訴訟の重要なところですが、大嘗祭の宗教性を認めたと、大嘗祭は全く別に非宗教的なものではないんだ、宗教性を持つているんだというのを認めた上で、「しかしながら、原審が適法に確定した事実関係によれば、(一)大嘗祭は、七世紀以降、一時中断された時期はあるものの、皇位継承の際に通常行われ

てきた皇室の重要な伝統儀式である」。

です。で、「(二)被上告人(鹿児島県知事)は、宮内庁から案内を受け、三権の長、国務大臣、各地方公共団体の代表等と共に大嘗祭の一



部を構成する悠紀殿供饌の儀に参列して拝礼したにとどまる、(三)大嘗祭への被上告人の参列は、地方公共団体の長という公職にある者の社会的儀礼として、天皇の即位に伴う皇室の伝統儀式に際し、日本国及び日本国民統合の象徴で

宗教法人法における宗教団体とは一体何なのかという定義がされていまして、宗教の教義を広め、儀式行事を行い、及び信者を教化育成することを主たる目的とする団体、これが宗教団体と言つております。

ですので、まさにこの大嘗祭において、天皇の祭祀というものが、こういった定義と合うのかどうかということを考えて、この政教分離という考え方で、天皇祭祀、皇室祭祀というものを政教分離という文脈でとらえること自体が少し無理があるのではないかと、いふうにも言えるかと思ひます。その趣旨というの、天皇が国家の安寧と国民の幸福を祈られることにある。特定の個人の魂の救済とか、一家一門の繁栄を祈願するといった一般の宗教とは根本的に異なつたものであるという意味で、一般的に言うところの国家と宗教団体の分離というのと同じ土俵で論じるというの少しナンセンスなのではないかなというふうに言えるかと思ひます。

というふうな形で、一通りお話をさせていただきました。残り五分になってしまつたので、まとめとしては、非常にハイライト的な、足早に行きますけれども、以上四点から色々と考えてきたわけですが、十ページ目の下に「結びに代えて」ということで、一連の今お話ししてきたことのまとめをこちらに示しておりますので、ぜひ御参照いただければと思ひます。

大嘗祭と日本文化ということ、まさに古代の祭祀の特徴というのは、稲作と密接に結びついていた祭祀、そして、皇室の祖神を祭る要素というものがあつたんだ。そして、大嘗祭というのは、皇統継承のあり方や日本文化の根底にある稲作に関わる祭祀なんだということを押さえていただければと思ひます。

そして、二つ目として確認してきましたのが、諸儀式の概要ということで、大きく三つ重要な

お祭りがあるところをお話ししてきたわけですが、踐祚、即位礼、大嘗祭ということ、そこらは繰り返してお話ししてまいりましたし、十ページ目の下段にも同じ文章を掲げておりますので、後でまた見直していただければと思ひます。

そして、その踐祚、即位礼、大嘗祭を中心とする儀式あるいは祭祀に関わる法令についてですけれども、近代においては、皇室典範、皇室令の中でも、さらに登極令という法律によって、具体的にどのように御代替わりの儀式、祭祀を行つていくのかということが定められていたわけですから、現在、その具体的な内容を示した皇室令というものがなくなつてしまつて

いる。ある種、慣例法として、近代の皇室令に基づいて様々行つていくわけですが、簡単に言つてしまえば、そういった法令の不備、法律の面から見ると、現在の御代替わりというのは非常に不安定な位置にあるんだということを確認いたしました。

そして、大嘗祭を中心とする一連の流れというのもの、足早でございましたけれども、確認をしてきたわけがあります。

そういった内容を色々と見ていきますと、例えば大嘗祭でいいますと、庭積機代物ということ、悠紀、主基の国だけではなく、全国各地の特産品が捧げられるようになることも、皆様御存じのように、大嘗宮でお祭りが終わった後、一般の参観がなされたり、あるいは、即位礼の正殿の儀の後、祝賀御列の儀ということ、国民に触れる機会を増やしていただいたり、そういった国民参加の面というのが拡大拡充されてきた。そういった歴史というの、御代替わりの歴史を辿つていくと見ていけるのではないかと思ひます。

ある天皇の即位に祝意を表する目的で行われたものである」といふふうに認めています。

「これらの諸点にかんがみると、被上告人の大嘗祭への参列の目的は、天皇の即位に伴う皇室の伝統儀式に際し、日本国及び日本国民統合の象徴である天皇に対する社会的儀礼を尽くすものであり、その効果も、特定の宗教に対する援助、助長、促進又は圧迫、干渉等になるようなものではないと認められる。」というふうに言われております。その後、まだまだ続いておりますけれども、ぜひご覧いただければと思ひます。

裁判所の判決というのは、たとえ大嘗祭が宗教性を帯びていたとしても、国がそれに関わる目的というのは、あくまで皇位継承に伴う伝統的儀式を挙行すること、そこにあるんだ。ですので、大嘗祭には特定宗教を布教、宣伝するような目的というのは一切ない。それゆえ、特定宗教への援助といった効果も生じないんだというふうな形で、先ほどお話しした「目的効果基準」に照らして、違憲ではないということが示されております。

ですので、政教分離に関しては難しい部分がありますけれども、政教分離に抵触するんじゃないかと言われたところで、何でもかんでも非宗教と言わなくても、たとえそれが宗教性があつたとしても、これはもう伝統的にずっと行われてきたことなんだ、そして、それに参加するということは社会的儀礼として当然なんだというところを、この鹿児島県の大嘗祭訴訟の最高裁判決というのが示しているのではないかと思ひます。

さらに言いますと、政教分離といふのは、宗教団体の活動、つまりは、国と教会、宗教団体との分離というものを目指しているものであります。神社も宗教法人でありますけれども、

そして、政教分離と御代替わりということ、先ほど来お話ししているところですが、まさに日本国憲法第二条の中に、日本の伝統、歴史を踏まえて、皇位の世襲を定めているわけです。このような皇位の世襲とともに代々受け継がれてきた伝統的な儀式である大嘗祭というのは、まさに容認されるものなんだ、そこに宗教性があつたとしても容認されるんだということ、これをぜひ押さえておいていただければというふうに思ひます。

最後、「結びに代えて」ということなんですけれども、即位礼と大嘗祭というのは、国際的な性格を有した即位礼と、伝統的な性格を有している大嘗祭という両面があるということ、そして、その相互が補完し合いながら、天皇と国家だけではなくて、国民とが一体となつて行われている儀式というふうに言えるかと思ひます。

政教分離のところでお話ししたところと重なつてまいりますけれども、一般の人々がこの御代替わりをどうとらえるのかということも非常に大きなポイントになってまいります。本日、非常に広く浅くという内容になってしまつていますが、ぜひ今日の資料等を自由に各お宮で御利用いただいて、ぜひ多くの方々に、御代替わりというのはいかにいうものなんだというのを皆様一人一人が広めていっていただくということが、我々、一人の国民としての御代替わりへの関わり合い方ということになっていくのではないかなというふうに考えております。

ちょうどお時間となりましたので、私からは以上となります。

御清聴いただき、ありがとうございます。(了)



# 「言論界における左派・右派の現状とその対立を超えてゆく方法」

株式会社 山猫総合研究所代表取締役

三浦 留麗 先生



三浦でございます。本日はよろしくお願いたします。

本日お持ちした資料は、安全保障問題を中心に、第二次以降の安倍政権のもとで日本に生じた左右対立の論点を取り上げたものです。

ひと言で左右対立と言っても、どのような問題の立て方がなされ、どういった食い違いがあったのかを振り返り、立場の違いを明らかにした上で、不毛な対立を乗り越えて議論を前に進める方法が見つかればと思っております。

第二次以降の安倍政権は、最も左右対立が明確になった政権の一つでした。長らく政権与党を担ってきた自民党は、常に憲法改正を掲げた保守派であり続けており、そうしたイデオロギ―に関しては特段、安倍政権が特別ということではありません。しかし、90年代に導入された

小選挙区制度がしだいに定着していったことにより、政党に所属する政治家の意識が大きく変わっていきます。さらに、二〇〇九年に政権交代が起き、民主党が二〇一二年までの三年間政権を担い、自民党が本格的な下野を経験したことによって党の性質は変質しました。

どのように変わったのか。まず、小選挙区制度の下で戦うと、同じ選挙区の中で自党のライバル同士がしのぎを削る構図は成り立たなくなります。かつては同じ中選挙区の中で同じ自民党の異なる派閥に属する候補同士が、もともと熾烈な競争を繰り広げたのに対し、各選挙区に一人しか政党が候補を立てなくなったということです。

自民党のような力のある政党であれば、公認を得ただけで当選確率はかなり高くなります。そして、候補者となるにあたっては、派閥よりも党の公認のプロセスの方が重要になってくる。すると、派閥の領袖であるとか、派閥内の先輩後輩関係というよりも、端的に、公認権を有している党の幹部に対する忠誠心、あるいは、選挙の顔である総理や、応援に来てくれる人気弁士に対する個人的な忠誠心が大きくなっていくということになります。

もう一つの変化が、政権交代の影響です。いったん政権交代で下野すると、今までのように、自民党一党優位のもと、三分の一の勢力しかない野党に対してある程度の配慮を行っていた慣行が成り立ちにくくなります。国会の中で、国対の議論のプロセスの中で交渉を行っていく、少しずつ野党に譲り、彼らの希望を入れた形で法案を成立させるというプロセスがとられにくくなります。これまでのような曖昧な形での与野党協力を許さない意識、環境が出来上がったということになります。

もし二大政党として自民党に拮抗する勢力が

存在し、自民党政権の次はひよつとしたら立憲民主党の政権ができるかもしれないという期待を抱くだけの十分な可能性があれば、それは、ある意味で、期間を限定した「独裁」があっても構わないという考え方は可能でしょう。

しかし、現状を見れば、近い将来に立憲民主党が政権をとることは全く考えられない。そうした現実的な勢力分布、政党支持率の差があるなかで、しかし野党に対する気遣いだけはなくなっていく。そのことによって、逆に、野党の側も徹底抗戦の構えを見せるようになります。本心では反対していかない法案や方向性であったとしても、とにかく与党が強行採決を図ったという形をつくるようになる。そうすると、与野党ともにこれまでのような国対のあり方を軽視する傾向が出てきて、新聞やテレビなど場外が報じる対決姿勢ばかりが報道されるようになります。

私も時々「朝まで生テレビ」で御一緒するような野党政治家の皆さんは、よくこういいます。野党は何でも反対ではないんだと。ほとんどの法案は、反対なしに通っている、と。しかし、それはニュースにはならないことを彼らは分かっている。やはり新聞やテレビで報じられるのは、彼らが意図してつくった猛反対の構図であるわけですね。有権者には、そのような表に出てくる対立構図しか見えないのです。政治家がやっているのはあくまでも一定のルールに従った見せ物としてのプロセスです。そのなかで押し引きしたりして法案を審議していく。しかし、実際のプレーヤーである政治家よりも、ネット上の政党サポーターの方が、もっと本気でぶつかるようになって二極化するんですね。これが今の日本社会で起きていることだと思います。

政治家たちは、参院選が終わればすぐさま超

党派で海外視察に行く。例えば、今回の参院選では、山本太郎さん率いるれいわ新選組が二議席をとって躍進しました。これは立憲民主の票を食ったということが弊社の調査でわかっていますが、そうすると本来は、れいわ新選組と立憲民主党の間で左派陣営の票の食い合いが起きるはずですが。しかし、彼らは仲良く参院選で対立する争点であったはずの消費税関連の視察などにでかけるわけです。

また、もともと対立していると思われている安全保障に関しても、ほんとうに表で見えるほどの与野党間の対立構図にあるのかという点はよくよく見ておかなければいけません。例えば、安全保障に関する超党派の勉強会などでは、国民民主と自民の中堅議員のあいだに意見の差は実はほとんどないということがよく見られる構図です。

しかし、政治家と日々接している環境にないなれば、クローズドな場での彼らの仲の良さは見えてこない。表の言論においては本来さして見解に差がないことにおいても、ことごとく対立構図をとるわけですから。政治に関心がある人で、代議士と距離が遠ければ遠いほど、自分たち自身が率先して熱くなってしまうという状況が生まれます。

したがって、第二次以降の安倍政権下の日本において、左右対立が非常にしんどい状況になっていると感じる背景には、このような政治とメディアの関係、小選挙区制の導入によるインパクト、自民党の下野体験による変質、にもかかわらず野党第一党が弱い、などといった問題があるのです。

ただ、そうした拡大された対立という点を差し引いても、いったい左右両陣営でどれだけの価値観の差があるのかというのは、よく見ておく必要があります。弊社は、「日本人価値観調

「査」を今年から実施することになりました。ちょうど昨日発注したところで結果を待たなければいけません。この手の政治にまつわる価値観に関する調査はあまり日本では浸透していません。

弊社はシンクタンクですが、日々行っている調査研究としてはインターネットパネルを利用した意識調査を通じて、大量の質問を回答者に投げかけ、クロス分析などをするという手法をとっています。すると、特定の政党に投票した人と、その人の実際に持っている価値観を紐づけて見ることができずから、なかなか面白い結果が出てきます。残念ながら、まだちょっと数字が出てきていないので、同様の調査を行っているアメリカを例にとってお話をします。

アメリカという、皆さん御案内のとおり、左右の対立の論点の多くは社会的問題と経済的問題に帰着します。社会問題では、中絶という選択肢をめぐる賛否、学校教育におけるキリスト教に基づく教育の問題、人種問題、銃規制の問題など多数挙げられます。そして経済的には、「大きな政府」対「小さな政府」という問題が主軸であり、分配か成長かという問題にまつわる様々な政策判断があります。経済と社会両面にまたがる問題では、連邦政府がどれだけ力を持ち、どれだけ州に介入してよいかという中央対地方の問題などがありますね。

二〇一八年、中間選挙が行われました。選挙戦中で、もっとも熱していた論点は女性問題でした。二〇一七年に始まった#MeToo運動が盛り上がりつつあったなか、次期最高裁判事にカバノー氏が指名されたのですが、カバノー氏の数十年前の性的暴行疑惑が浮上したのです。上院の公聴会では、民主党の上院議員が非常に鋭くカバノー氏を追求します。三十数年前の出来事なので、何も物的な証拠はない。共和党はこれ

を魔女狩りだと主張し、全米を挙げての対立に発展します。

しかし、実際にはアメリカ社会の意識調査を見ると、女性問題は最も価値観の党派の乖離の少ない分野なのです。すなわち、現実政治で政治論点化すること、現実の価値観の乖離度合いはまた別である点に注意が必要だということです。

日本は、社会的な価値観よりも憲法や安全保障、歴史問題をめぐる人びとの価値観の乖離が大きな国です。安倍総理が打ち出した概念の中で、もっとも党派の対立となっているのが「戦後レジームからの脱却」ですね。これは憲法から安全保障、国家と個人の関係、歴史認識などをめぐる非常に広範な概念です。したがって、順に整理しながら左右対立の現在を見ていきたいと思います。

まず、戦後レジームからの脱却という言葉に含まれるのが「二国平和主義」からの転換です。一国平和主義と呼ばれる姿勢から転換する最大の象徴となった政策が安保法制であり、そこにおける集団的自衛権の一部容認でした。法案が可決された二〇一五年九月当時の世論は反対優勢でした。しかし、同年十月のNHKによる世論調査以来、賛成派が多数に転じ、その後も安定した傾向を保っています。FNN・産経の世論調査では必要としたのが五七%。日経新聞の世論調査では、安保法制を廃止すべきでないという意見が四六%にのぼりました。各社、若干異なる聞き方をしたり、数値は異なる傾向にありますが、同じ社の調査を経年で追っていくと、その後もほとんど賛否の割合が変化していませんということがわかります。

弊社の行っているインターネットパネルを利用した意識調査でも、二〇一七年以来、賛成四四%からほぼ動いていません。

響がない。明日もつと早起きする必要もない。生活態度も変えなくていいのに論じられるのが歴史認識であり、ゆえに政治化しやすいということ。

皆さんのように、例えば神道の専門家である場合、自らの専門領域に世論が入ってきた時には衝撃があるものですね。それは安全保障問題でも外交問題でも同じことです。専門の領域には議論はあれど、いわゆる基礎的な常識というものがありません。多くの場合、現実的な落としどころについても、プロの間では多少の了解があるものです。しかし、そこに素人が土足で



安保法制を必要とするものと不要とするもの、撤廃すべきでないとする立場と撤廃すべきだという立場の間は、大体十ポイント以上の差をつけて、安保法制を容認する人の方が上回り続けているということですね。これは一つ、安倍政権のあげた成果であると言えるでしょう。

ただ、どちらが多数であるかというだけに着目するのでは不十分です。今後しばらく、ずっと「安保法制の成立は悪かったとする三三%」が残っているということも意識していただきたい。一つの意見で国を塗り替えることはできません。法案を通して、世論上の勝利を得ることはできませんけれども、日本においては、四対三の対立は、見通せる将来ずっと残るということですね。私達が本場におじいさん、おばあさんになって初めてこの対立は解けるだろうと思えます。つまり、これが現在の日本の一番大きな分断のひとつであるということです。

もう一つ安全保障をめぐる分野で第二次以降安倍政権の成果として挙げられるのが、文官統制の柔軟化です。政軍関係が先進民主主義国並みには正されました。同時に、敵基地攻撃能力の検討にも入りましたが、今現在はそれほど大胆な変革には言及していません。

戦後レジームからの脱却、二番目の論点は、歴史認識問題の克服です。これについて考えてみたいと思います。

本来、戦後レジームからの脱却案件において、「歴史認識」はとても大きな比重を占めています。なぜ、過去の歴史に対する認識が、現実の利益配分や、どこに自衛隊を派遣するかという具体的な政策よりも大きな存在感を占めてしまうのでしょうか。これはやはり、逆説的ですが現実の「利益」がかかっているからだと思います。現実の利益ならば足して二で割ることができる。しかも、どこかで落としどころ

踏み込んでくると議論は混乱します。それが民主主義というもののなのですが。

本来、歴史認識問題で、特定のインシユアの専門家であった人の中で成立していたような論点があり、世論によってぐちゃぐちゃになるといえるのは、実は結構多く起きているんです。興味深いのは、慰安婦問題で様々な研究上の功績があり、保守であるとされた論客が、今やネット世論によって左派だと勘違いされてパッシングに会うという構図があることです。例えば、秦さん。在野研究であれだけの分量を書くというのにはすごいものだと思います。私が大学生になつたころには、秦さんの本は慰安婦問題を考えるうえで避けては通れない文献でした。北岡伸一さんの日本陸軍の研究みたいなものですね。

しかし、吉田証言の虚偽性を最初に明らかにした彼の研究を全く知らないネット民が彼を朝日新聞と一緒に叩く、という倒錯しきった状況が生まれています。

それは、人々が本当に慰安婦問題なり、個別の歴史問題に関心があるのではなくて、たまたまプライドを満たすためにそこらへんで見つけたテーマだったからでしょう。

靖国神社参拝に関しては、いったんは靖国神社参拝した安倍総理は、対米関係に配慮して国際協調の姿勢を見せる道をとりました。これに関しては、世論の多くが恐らく賛成しています。靖国神社のA級戦犯の合祀をどうするかという問題も、動く気配を見せません。とりあえず現状維持が支持され、天皇皇后両陛下が参拝できるか否かは正直どうでもいいというのが、今の世論の気分なんだろうと思います。ただ、総理の参拝自体はいつでも再開できるのであって、決して誰かに約束したわけではありませんよ、というのが、おそらく多くの国民のナショナルプライドの保ち方なのでしょう。

を測らなければ利益を失ってしまう。けれども、歴史認識は足して二で割れないし、現実には妥協せずとも利益がかかっているものでどこまでも突っぱねることができてしまう。

私はかつて、安倍総理が参拝した時に「弱者認識の奪い合い」と題したブログ記事を書きました。これはそれなりに反響をいただきました。戦後長らく、右派の側が、左派系メディアやリベラルなアカデミズムによって抑圧され、思想チェックされてきたがために、いざ右派が優勢になると、右派の側が逆勝者としての余裕を持たずに左派パッシングをするという事態が起きているんじゃないか。そういう内容です。

戦後日本はもとにも軍を保有せず、日米同盟に依存して生きてきました。その中で、いわゆるナショナルプライドに関しては、基本的に経済成長を通じて満たしてきたんですね。しかし、経済成長でそれほど成果を上げられなくたって、失われた二十年に突入すると、日本とは何だったのかということを見つめ直すという動きが出てきます。

そうした中、結局、日本の誇りを回復する素材として歴史問題が選ばれた。さほど歴史に造詣が深い人達も歴史認識について熱く語るようになつた。靖国問題、慰安婦問題などについては素人を含めて多くの人が語っています。注目を浴びていることもあり、語りやすい問題なのでしょう。

現実の利害が絡んでいないということは、政策的立場におけるジレンマを表面上抱えなくて済むということです。もちろん、それが長期的には外交にも経済にも影響するのですが、そこは人々には見えない。「靖国参拝に反対です」、「賛成です」という立場をとったからといって、明日税金を余計に一万円払わなきゃいけないわけではないからです。家計には全く影



2) 世論調査問題の克服（戦後70年談話、慰安婦問題、日米関係）  
 3) あらゆるかたちの国家の権力行使に反対する世論の克服（特定秘密保護法、異議書）  
 4) 戦後の未処理問題への対応（露・韓・朝）  
 5) 米国に対する法理的な地位の改善

歴史問題の中では、安倍さんがもつとも尽力した論点は日米関係ですね。真珠湾と広島島の相互訪問、これはオバマ大統領時代に実現しました。そして、安倍総理が米国上下両院の議員の前で演説を行いました。こうした努力の結果として、日米両政府の関係は深化し、残っていた戦争の傷跡も修復されたと考えられます。

しかし、国内的に見て一番大きかったのは、戦後七十年談話だと私は思います。談話にどのような文言を入れるべきか。これは当時、多くの人が活発に論じた論点であり、多くの有識者が提言を出しています。そうした中で出てきた談話が、非常によかった。つまり、保守優位に基づくリベラルへの歩み寄りだったからです。ある意味、安倍政権は歴史認識をめぐる国民統合を図ったということができます。あの談話にはそのような意義があったと私は思っています。

世論調査を見ると、総理談話を評価するが、共同通信調査で四四％、評価しないが三七％でした。基本的に、総合評価をさせると政権に対する好き嫌いが反映されてしまいます。もつとも参考になるものは、総理の談話の中で打ち出された姿勢に対する評価です。現総理としてはおわびをするけれども、将来世代には謝罪を続ける宿命は背負わせてはならないとする立場について、適切だったとする人が四二・七％。適切ではない、おわびはし続けるべきだという人は、二三・六％。そもそもおわびに言及する必要はなかったのではないかとという人が、二四・二％。つまり、七割弱の人が今後の世代がおわびをし続ける必要はないと考えているということです。

安倍総理自身は、戦争に直接的な責任を負う世代ではありません。しかし、安倍総理は岸総理の孫であり、世代的な近接性があるし、おわびにも象徴性があるだろう。しかし、次の世代

になれば、その都度総理がおわびをする必要はないといった先例をつくらうとして世論によって支持されたということですね。これはやはり戦後レジームからの脱却において大きな一歩だったろうと思います。

そして慰安婦合意です。これは韓国が政権交代の後に合意を覆したことで国際決着しませんでした。日本国内で慰安婦問題をめぐる分断が小さくなったというのが総括であったと思います。

詳しくご説明しましょう。慰安婦合意はそれほど望ましい結果に繋がったわけではありません。現に、韓国政府にとって無理筋の妥協をして、最終解決を図ろうとしたからこそ、韓国がそれを反故にし、結果的に日韓関係がもつと悪化したといえるでしょう。元慰安婦の方々に対しては、アジア女性基金を通じた民間の救済措置も取られています。そして、日本政府が今回さらにお金を拠出した。ところが韓国政府が政権交代の後にさらに譲歩を迫ってきたわけですから、合意をしたことが無くなっただけでなく、むしろ日韓の分断が広がり、実害に繋がりました。結果として、国際的には最悪の事態になりました。

ところが、国内的には慰安婦問題は「解決」してしまつたのです。FNNの世論調査によれば、二〇一八年一月時点で、日本政府が韓国側の要求に応じないことについて八八・六％が支持すると答えています。同じ時期の朝日新聞の世論調査では、文在寅大統領の、慰安婦について「日本は心を尽くした謝罪が必要だ」という発言に対して納得できるとした人はわずか八％でした。かつての慰安婦問題をめぐる日本の言論状況からすると、相当程度分断が縮小したと言えます。

問題は、これまでの激しい左右対立によって致問題も相手があることなので、安倍政権は当初の見込みが楽観的に過ぎて挫折しています。最後に、戦後レジームからの脱却案件の中で触れられていないものについてお話しします。これは「対米自立」です。最も保守派の政権であるにもかかわらず、かつてこだわっていたはずの対米自立にはまるで関心もなく触れられていない。中曽根政権がわかりやすい例ですが、歴代保守政権は、政権につく前に訴えてきたことも、政権についたら取り下げてしまう傾向にあります。それは理由があります。

現実に政権についたときに直面するジレンマは、政権につく前のものとは違うからです。総理になってみると、ある日、トランプ政権に大量のトウモロコシを買えと言われるわけです。安全保障と引き換えにトウモロコシを買うことに同意すれば、国内ではアメポチと言われる。アメポチと言われたくない。トウモロコシを買うのをやったりやめるとすれば、やはり安全保障の面で対米依存を減らす必要がある。しかし、日本で防衛装備を強化して、自前の戦闘機を開発したり、もつと大きな空母をつくったりして、自立を高めようとするれば軍国主義者と言われる。

アメポチと言われるのと、軍国主義政権と言われるのと、どっちがいいか。究極の問いですが、世論の分布を見ればやはりアメポチの方がいいということになってしまふ。なぜかという、対米従属はまだ許容されるけれども、軍国主義だということになってしまえば、先ほどの固い三割に共感する中間層が出てきてしまうからです。つまり、対米自立というのは、いわゆる在野にいる時に吠えるための論点であつて、現実に政権についたら、よほど覚悟がないとそんなことができるはずもないというのがよくわかるということですね。

て、合理性を持った判断から韓国政府を批判すると、右派とみなされることが多かったということです。

先ほど安保法制の世論調査の分布をお見せしました。固い三割が、安保法制は廃止すべきだと思つていると申し上げました。その三割の中においてすら、慰安婦問題で韓国政府の主張に共感、同意するのは少数派だということです。日本の左右対立は解けないかもしれないけれど、ありとあらゆることで分断する必要はないんだということがわかります。憲法九条を変えらるかどうかが、あるいは日米同盟を強化していくかどうかについては四対三の対立があるのですが、それをあらゆる問題に波及させる必要はないんだというのが一つの大きな転換になったのではないのでしょうか。それは、戦後七十年談話の内容についても言えるわけですね。

戦後レジームからの脱却のなかで、三番目に挙げられるのが、国家権力の行使をめぐる問題です。政権はここでも変革を推し進めましたが、反対する側に理論武装が不足していたために不備のある法案が通つてしまつたと私は考えています。特定秘密保護法案については、年限を限りつつも、最終的には全てを公開するイギリス型の制度にすべきだったのではないかと。共謀罪法案に関しては現行刑法における刑罰の重さとの比較考量をし、悪用を避けるため、マネーロンダリングがテロ組織に流れていく場合を除いて経済犯罪を共謀罪に含めるべきではなかったんじゃないか。これらの論点はほとんど注目されませんでした。国家の権力行使反対という大づかみの反対に流れたがために、政権に負けたということですね。

さて、戦後レジームの四つ目の戦後和解の積み残し、領土問題と拉致問題については、ほとんど何も実現していません。北方領土問題も拉致問題も相手があることなので、安倍政権は当初の見込みが楽観的に過ぎて挫折しています。最後に、戦後レジームからの脱却案件の中で触れられていないものについてお話しします。これは「対米自立」です。最も保守派の政権であるにもかかわらず、かつてこだわっていたはずの対米自立にはまるで関心もなく触れられていない。中曽根政権がわかりやすい例ですが、歴代保守政権は、政権につく前に訴えてきたことも、政権についたら取り下げてしまう傾向にあります。それは理由があります。

もし真に対米自立を図りたいと思つていて、それを阻む障害を取り去りたいのであれば、変えるべきは政権の首ではなくて、世論です。世論が自主防衛強化を許容するかどうかです。これが政権の問題だとされてしまつと危険なことが起きます。

鳩山政権が瓦解したのは、対米関係の交渉に政権の運命を賭けるてしまつたからです。彼は対米自立的な文脈で正三角形論を打ち出しましたが、日本の防衛力の実力は伴わなかった。日本国の総理だから、自分がお願ひすればアメリカはきつとわかってくれるのではないかと。わかってくれませんでしたという時に、じゃ出て行つてくださいなとは言えないなかで、政権の運命をかけることには無理があります。結果的に政権は潰れる。あれは鳩山総理の手腕のなさだといふふうには評価されていますが、むしろ、日本国民が沖繩からの基地移転や辺野古建設をやめることをそれほど強く望んでいない所に本質があります。国民が一丸となって本当に望んでいけば、フィリピンのように、米軍はこれ幸いと出て行く可能性だつてある。それが良いということではありませんが、国が一枚岩ではないからこそ総理が倒れる、政権が倒れるという結果になるわけです。

ただし、日本の保守が本心でアメリカから自立したいのかということについては、私は、本当は思つてないんじゃないかとみているんです。政敵が政権をとつている時には、その政策を見てあいつはアメポチじゃないかと言いたくなる。しかし、自分がいざ現実の制約に直面してみると、相手がやったこともよくわかる。そういうメンタリティーになつてきます。そうすると、ちよつと待つてよ、あいつが政権をとつていたから気に入らないだけで、別にアメポチが嫌いだったんじゃないんだ、あいつが政権をと

るのが嫌だったんだということに気づくと、結果的に、反米右翼の気分は雲散霧消することになるのではないだろうか。

そうした理由も含めてですが、普天間基地の移設、あるいは沖縄の基地負担の軽減に関しては、基本、進んでいないということです。これは国民の意思というものが背景にあります。

そして、最後の最後、政権が求めてもおらず、多くの日本人が反対するであろうものが非核三原則の見直しですね。自前の核武装に反対する人は明らかに圧倒的多数だと思います。アメリカの核を日本国内に持ち込むかどうかについては、今のところ、石破さん初め、様々な政治家が観測機を上げてきた。ひよつとすると、安倍政権の次の政権においては議論が進むのかもしれないですね。

ここまで、戦後レジームからの脱却とそのため安倍政権の政策を五つの分野において振り返ってきました。私の意見を申し上げれば、戦後レジームからの脱却案件のすべてに私は賛成しているわけはありません。しかし、私も幾つかに関しては、やはり戦後レジームから脱却すべきと考えているものがあります。しかし、日本における安全保障をめぐる議論は、非常に不健全で未消化なものに終わりがちです。

そうすると、結局、右だ左だという二元論だけが出回り、現実の政策に関する議論が不足する懸念があるということですね。

さて、残りの時間がございますので、本日は安全保障問題と歴史問題から少し離れた論点ではございますが、左右対立に照らして表現の自由をめぐる問題点をお話ししたいと思います。直近に起きた問題が、あいちトリエンナーレの炎上です。

愛知県と名古屋が共催した芸術祭、あいちトリエンナーレにおいて、一部の展示、「表現



の不自由展、その後」と銘打たれた展示が問題視されるに至りました。問題視された展示は、津田大介芸術監督によると、天皇の写真も含んだコラボ作品が焼かれる動画に反対する声と、それから、慰安婦の少女像に対する反対というのが大体同数ぐらいたったというんですね。天皇をめぐる問題と慰安婦をめぐる問題、

の不自由展、その後」と銘打たれた展示が問題視されるに至りました。問題視された展示は、津田大介芸術監督によると、天皇の写真も含んだコラボ作品が焼かれる動画に反対する声と、それから、慰安婦の少女像に対する反対というのが大体同数ぐらいたったというんですね。天皇をめぐる問題と慰安婦をめぐる問題、

この二つが大きな反感を呼んだということだと思います。なぜ、ローカルな芸術祭の一企画がこれだけ脚光を浴びたのでしょうか。問題視されたのは、人々の対立を煽る手法だったと思います。まあ、手法ではなくそういうふうな誤解されたと言ってもいいんですけども、私はこの企画が意図的にそのような手法を取ったと考えています。外交問題が過熱しているにもかかわらず、既に政治化された表象である少女像に共感することを観客に要請した。人によっては、悲惨な運命の慰安婦が存在したことではなくて、韓国の文在寅政権の主張まで含めた広範な主張を飲み込めと言われているように感じたのではないのでしょうか。

昭和天皇のコラージュ作品に関しては、なぜそこまで問題視されたのか私は意外に思うのですが、この作品が一番最初に置かれていたことによつて、天皇制反対論者が行っている芸術展なんだと思われた要素があるのでしょうか。天皇制に対する反対、伝統に対する憎しみ、左派的な気分、反権力的な気分の展示会なんだと思われたということですね。一旦そう思われてしまつたら、展示側が何を言おうが、コラボ作品で焼いたのは昭和天皇ではなくて自分の作品なんだと言おうが、嫌気を感じる人もいるだろう。じゃ、見なきゃいいというのが展示側の理屈なんですけれども、するとやはり公金支出や公の場であるという議論が出てくることになりました。こうした、「表現の不自由展」のキュレーションの不足、誤解を招きやすい設営、説明の偏りなどの問題にあったということは総括すべきでしょう。

しかし、そもそも本件の本質は意に沿わない表現を許容するかどうかということですね。ほとんどのモダンアートのアーティストは反権力的

な批判精神を秘めており、右左で言えば左派であると思うんですね。それは芸術の核のところ

に反権力があるだろうと。しかし、政治的な意見や安全保障政策における見解と、アートに対する好き嫌いは分けてもよいはずですね。

展示の批判者の大多数が異なる政治的意見を見せようとしたわけではありません。しかし、一部は抹殺しようとしたわけですね。異なる少数意見に対する見せしめを望んだ人が少なくなかった。芸術祭を政治化すれば、このように反発が生じますが、そこは反発のままにしておけばよいのであって、電凸を通じて表現の自由を後退させてはならないのです。

私はそもそも、あらゆる抗議電話や暴力行為や脅迫に反対です。抗議電話に反対なのは、実際にその不愉快さを知っているからです。批判を禁ずるべきではないが、異なる意見に対する見せしめを望むことは不健全です。

表現の自由は、表現の質を問いません。慰安婦像が芸術作品としていいかどうか、あるいは、これが本当に芸術作品なのかどうなのかということは問わないということです。しかし、その原理原則としての表現の自由は守るべきですが、民主国家において公的な芸術祭は結局は民意を気にする。たくさんの人々が来てくれるものでなければいけないからです。恐らく、次回以降のあいちトリエンナーレは極めて非政治的な人間が技術監督に選ばれるんじゃないかと思つています。

こうした種類の問題では、解決に様々なタイムスパンがあります。超長期的には、いかに立憲主義だ、民主主義だと言ったところで、必ず数の力やマーケットが勝つからです。その緊張関係の中で最大限表現の自由を守らなければなりません。つまり、短期的には、どんなにその表

現の質が悪かったとしても、表現の自由自体を侵食してはいけないのだと私は思っています。

同じ理由から、私はヘイトスピーチの規制にも反対です。それは、第二次世界大戦前あるいは戦中の日本社会における公権力の行使のあり方に対する反省を汲み取るべきだからです。取り締まりの現場で質が判断できるわけではありませんが、その時の乗りで取り締まりが行われてしまうことは目に見えている。

であれば、実力行為に出ずに表現に収まる限りは、警察力を使って表現の自由を抑圧すべきではない。いかに唾棄すべきものでも守らなければいけないというのが戦中の教訓です。

表現の自由を考える上では国家主義的なアプローチが不足しています。国家主義者というのと、全体主義的なイメージがありますが、いわゆる戦前の国家主義ではなくて、英語のステイテイストに当たる物の考え方が必要なのではないかと思つています。どういうことかという

と、自分がどんなにやせ我慢をして嫌な要求をするべき原理原則は譲らないということですね。その原理原則というのは、国家が存続すること、その中に住んでいる国民の命、安全が守られること、そうした大体において誰かが合意するであろう国家としての機能を守り、存続させることを目的としたものです。

なぜ、あいちトリエンナーレを守ることが国家を守ることになるのか。基本的に、エリートが国家を守らなければ誰も守りません。選良と呼ばれる政治家こそが、本来は、やせ我慢をして、国家の基本的な枠組みを守らなければいけないということですね。現状ではしかし、逆のことが起きてしまつている。

最後に、左右対立を乗り越える上での今の課

題について申し上げます。「失われた20年」を乗り越え、国民の自信を回復する、日本の存在感を国際的に回復するというミッションは、安倍政権に限らず、本来は重要な目標のほうです。

しかし、自信が自己満足であつてはならない。国民の支持が得られたからといって、不人気だけれども必要な課題にチャレンジしなかつたら、単に気分がいいだけで終わつてしまいます。日本が今抱える課題は、内政では、潜在成長率の回復、財政均衡の達成、社会保障改革。外交では、日本が生き抜く環境作りです。こういった課題は、どの政権であろうとも、本来、日本がやらなければならないことです。

そうした観点から、私が今の政権に関して、今の日本社会について不安に思うのは、長期安定だからいいんだという感覚が満ち満ちていないか、ということですね。長期安定である意味は、安定した環境の下で改革が進められるからです。安定は常に攻めるためにある、ということですね。何も攻めなくなつて長期安定することとは、誰も何もしないことと一緒ですから、本来であれば、長期安定政権は人々の改革期待を担わなければならないだろうと思つています。

では、何を長期安定政権の歴史的業績にすべきか。やはり先ほど内政から外交まで挙げた課題というものに取り組まなければいけないだろう。その議論をする方が、左右対立を煽ることよりも、よほど重要なんじゃないだろうか。結局、国家百年の計とまでは言いませんが、次の二十年を見越した日本の土台づくりになるものではないでしょうか。

ということですね、いささか雑駁に流れましたけれども、御清聴ありがとうございました。(了)

# SDGsの概要と政府の取組

外務省国際協力局  
地球規模課題総括課課長補佐

春田 博己 先生



皆様、おはようございます。外務省地球規模課題総括課から参りました、SDGsの推進広報を担当しております春田と申します。本日は盛大な歓迎をいただきまして、ありがとうございます。

地球規模課題総括課なんですけれども、主に三つのことをやっておりまして、一つはODAです。政府がやっております国際協力、経済協力の分野別に取りまとめ、防災、女性、保健、色々な分野がありますけれども、こういったところの大きな政策の取りまとめ、あるいは立案をやっていきます。

それから、国際機関との連携です。私も右腕ではSDGsの推進広報をやっておりますけれども、左腕ではUNICEFとの連携事業をやっていきます。それから三つ目が、本日はお話しいたしますSDGsの推進広報になります。

本日にありがたいお話なんですけれども、最近

SDGsが非常に盛り上がりつつまいりまして、こういった御講演の御依頼が引きも切らぬ状態でございます。八月の下旬の十日間で、これを含めて六回あるんですね。それを三、四人のうちの広報班でやっているんですけども、それぐらい、うれしい悲鳴です。色々なところからお声掛けをいただいて、それから、色々な業界からお声掛けをいただくようになりました。国際協力に携わる団体のみならず、企業、地方自治体、仏教界等、色々なところからお話をいただくようになりました。本日は神社本庁さん、神道業界ということでも、本日に裾野が広がってきたと思います。

ただ、今日来ながら思ったのは、SDGs、平和で、持続可能で、よりよい社会、「誰一人取り残さない」というコンセプトで目指していきましようというのが世界目標なわけですけども、そういうものを推し進める中で、神道に限らず、仏教に限らず、宗教が教えるところの深いコンセプトというのか、そういうところに通じるものがあるのではないのか。本日はお声掛けいただいたのは、ある意味、必然だったのかなというふうに思いながら参ったところでございます。

本日は、SDGsとは何か、それから、政府としては、こういうふうなSDGsをとらえ、推進しているという観点を含めて、最初に御説明をしたいと思います。

SDGs、持続可能な開発目標ということですが、サステナブル・ディベロップメント・ゴールズということで、ゴールが十七個ありますので、複数形で最後のsが小さくなって、SDGsになっています。

御存じのとおり、二〇一五年九月の国連サミットで全会一致で採択。この全会一致というのが非常に大事でございます。我々外務省は普段から色々な国際交渉をやっているわけですが、一言一句をめぐって、数日間をわたって、ほぼ徹夜のよ

うな形で協議をして、拳句の果てには決裂をするというようなこともあります。その中で、このSDGsは、十七のゴールがございまして、その下に百六十九のターゲット、さらに細かいターゲットがございまして。全文印刷すると、非常に大部な文書です。これにすべての国連加盟国が同意をしたというのは非常に画期的な出来事だったと思います。

SDGsは、ざっくり言えば、二〇三〇年までに、持続可能でよりよい社会を目指していくということですが、全会一致で同意をしたということは、国際社会が今のままのライフスタイルあるいは経済活動を続けていったのでは、この地球というのは持続可能ではないんじゃないか。つまり、この地球を次世代にこのまま残していくことができないんじゃないか。より難解に言えば、このままいけば地球はやばいんじゃないかという懸念を国際社会として共有したということだと理解をしております。

最近、このSDGsのカラフルなロゴをよく見るようになってきましたが、この十七のゴール、こういうふうになりまじやないかというところは多いのですが、通常こういうふうな配列に並んでいることが多いです。

これは一応意味がございまして、一段目は、貧困、飢餓、保健、教育、ジェンダー、従来からある伝統的な開発課題が取り残されて、引き続きここに掲げているということです。

二列目が、これはよりSDGs的だと思われるんですけども、こういう社会課題は当然解決をしていかないといけないということなんですけれども、それだけではなくて、人間として、経済活動、持続可能な経済成長というのはしっかりと確保をしていかないといけないだろうということ、エネルギーですとか、成長・雇用、イノベーション、それから、つくる責任、使う責任といった、よ

り持続可能な経済を達成していくという観点のゴールが並んでいます。それから三列目、下段は、気候変動、生物多様性といった、ざっくり言えば、主に環境に焦点を当てたロゴが並んでいるということでございます。

その右側に目を移していただきました。これはSDGsの五つの特徴と言われるもの、前文にも書いてあるわけですけども、この四つ目、統合性というところに「社会・経済・環境に統合的に取り組む」というふうに書いてあります。

バランスよく、この三つの要素をしつかりと勘案しながら、物事を進めていくということがございます。そういう意味では、一段目が社会、二段目が経済、三段目が環境ということ、社会、経済、環境に統合的に取り組むというふうに示してあるというふうにも理解ができるんだろうというふうに思っております。

この五つの特徴を見ていきますけれども、一番上の普遍性というところで、先進国を含めて、すべての国が行動をするということが求められております。

実は、御存じの方もいるかと思うんですけども、SDGsが採択される前に、MDGs、ミレニアム開発目標というのがございました。

これは二〇〇〇年から二〇一五年までの間の国際目標なんですけれども、これは、どちらかというと、発展途上国の課題を先進国が支援すること、国際課題を解決していきましようというものでした。

ただ、SDGsはそれだけではなからうということで、発展途上国だけでなく先進国も、例えば日本も、六人あるいは七人のうち一人は相対的貧困の状態にあると言われております。そういう経済格差のもとで教育の格差が生まれるとか、それから、ジェンダーの問題にしても、いつも日本は、ジェンダーの国際指標では必ずしも褒





### 第3講 SDGsの概要と政府の取組

て、十二兆ドルの価値、それから三億八千万人の雇用が創出されると言われております。

そういった中で、ESG投資というのが、SDGsと並んで最近よく聞くようになりました。これは何かといいますと、ESG、まさに環境のE、社会のS、ガバナンス（企業統治）のGですね。この頭文字を取ったESG投資というのが非常に盛んになっております。

実際に、このESG投資の統計を見ますと、過去数年で二倍、三倍になってくるような勢いになってきており、投資家が、SDGsとも密接にリンクする環境だったり、社会だったり、それから企業統治、こういったものに着目して投資をするようになった。日本でも、世界最大規模の年金運用機関とも言われるGPIF、ここが二〇一七年に公式にESG投資に乗り出すことを発表いたしました。それに倣うように、生保、損保業界、金融業界、いわゆる機関投資家といわれる方々が、短期的なりタームではなくて、中長期的なESGという要素を勘案して、お金を動かすようになってきた。そうすると何が起るかというと、当然、企業は、そのお金が動く方向にその活動をシフトせざるを得ない。特に、上場企業にとっては、これが株価につながってきたりする。

ということ、こういうESGの流れにしたがつて、特に大手企業を中心に、SDGsをやっているかないといけないという流れになってきています。なので、ある意味、これはおもしろいんですけど、市場のメカニズムで結構このSDGsが展開をしてきているということになります。

先ほど「誰一人取り残さない」と申し上げました。皮肉ではあるんですけども、やはり企業さんとかも横を見ながらやりますので、SDGsに取り組みないリスクというものを皆考えているんですね。そういう意味で、SDGsで協力し、競争する時代に、逆に言えば、SDGsをやらないと

められた順位にはなかなか行かないということであり。最近でいえば、食品ロスの話、プラスチックごみ、さらに言えば児童虐待の話。児童虐待等、日本を含めた先進国も、こういう課題を抱えています。なので、先進国も自分事として取り組んでいく。それをさらに、可能であれば、発展途上国にも支援の形で協力をしていくという建て付けになっております。

それから、包摂性というところで、ここはまさにSDGsのコンセプトであります「誰一人取り残さない」ということです。

実は、日本は予てから、「人間の安全保障」という概念を国際社会の中でずっと提唱してきました。これは、国際社会の支援、あるいは、国際社会の中でやり取りをする中では、当然その国同士、地域同士のやりとり、あるいは、援助が中心になるわけですが、そうではなくて、やはり一人一人の個人の置かれた状況ですとかニーズ、こういうものをしっかりと配慮をして、そういう支援というのをやっていかなければならないということと、誰一人取り残さない」という、よりわかりやすい言葉として反映をされたということ。もちろん、日本政府として、このSDGsの交渉の中に、人間の安全保障の概念がちゃんと反映されるように交渉してきたわけですが、それがこういいう形で反映されたということは非常に我々としても高く評価しております。だからこそ、日本として、このSDGsをしつかり推進していく責任があるんだろう。うちの河野外務大臣（当時）もよく言っておりますけれども、「誰一人取り残さない」ということは、逆に言えば、誰もが何かができる、SDGs推進のために、助け合いのために何かができるということでもあろうと思っております。

今申し上げたような人間の安全保障の背景も



ありまして、日本政府としては、色々な、皆様も含めたステークホルダーの方々とともに、これをしつかり推進していきたいというふうに思っております。

今ステークホルダーという言葉を出しましたけれども、包摂性の下には参画型ということで、まさに国だけじゃなくて、民間企業それから地方自治体、市民社会、それから個人に至るまで、すべてが何かできることがSDGsの中には書いてあります。個人でも、例えばプラスチックごみを削減するとか、先ほどのフードロスの話ですとか、あるいは、本当に単純なところだと、交通法規を守って交通事故の死者数を半減するとか、そういう個人々々にもできることが色々書いてあるということになります。

統合性は先ほど申し上げたとおりです。透明性は、言いつ放しでは困りますので、これをちゃんと検証して、進捗を図るプロセスというのが色々設けられておりまして、まさに来月、二〇一五年九月から四年たったということで、初めて国連で首脳級のSDGsのレビュー会合が開かれます。国連総会の一環としてやるわけですが、これも、ここにも安倍総理に出でたこと、日本の取り組みを報告していただくということを考えております。

次に参りまして、何でこのSDGsというのができて、これが広まりを見せているかということなんですかけれども、主に二つあるんだろうというふうに思っております。

一つは、先ほど申し上げたような色々な課題、貧困ですとか、難民ですとか、色々な問題があるわけですが、古くからある貧困、教育、保健、そういうものをより顕在化するとともに、難民の話であったり、テロの話であったり、環境の話であったり、あるいは感染症の話であったり、そういう色々な課題がより深刻化、顕在化すると

取り残されるんじゃないかというような危機感も生まれてきているやに聞いております。

その中で、この下の段のところですが、各国の政府も、日本も含めて、このSDGsをしつかり推進するというメッセージを出しつつ、世界の中でリーダーシップを発揮しているというふうな思っておりますし、先日のG20とか、今日から始まるTICADもそうですけれども、色々な国がしっかりとその主導権を握ろうとしている。地方自治体もこのSDGsというのを使いながら、色々な地方の課題ですとか、地方の魅力というのを発信していくということ。市民社会、これも、NGOやNPOの皆さん、個人の方の皆さん、非常に素晴らしいことを、社会のためにやることを色々やってこられたと思うんです。今まで、ある意味、それをばらばらにやっておられたものが、このSDGsという世界の共通言語ができたことによって、「何だ、これはお互いに同じゴールを目指してやっているのか」ということで、SDGsを共通言語として新しいネットワークが生まれる。SDGsは日本だけではなくて、世界で通じますから、まさにインターネット等々で簡単につながれる時代ですから、市民社会の中でもSDGsで共通の言語を媒介して声を大きくしていくという動きが出てきています。

というのが、一般的なSDGsをめぐる内外の動向ということかなというふうに分析しております。

その中で、日本政府としての取組についてですが、二〇一五年の九月に国連で採択されました、その半年後の二〇一六年の五月には、総理を本部長として、官房長官及び外務大臣を副本部長とし、全閣僚を構成員とするSDGs推進本部というのを立ち上げました。これは、日本政府として、全政府を挙げてSDGsをしつかり推進し



ていこうという意思を示したものです。当時は、これだけ政府一丸となって推進本部を立ち上げるといふ取り組みは非常に先駆的な取り組みとあり、非常に高く評価されました。

ちなみに、外務省が今こうやって色々と広報も含めて活動しておりますけれども、この推進本部の事務局を外務省、とりわけ地球規模課題総括課が務めております。いずれにしましても、二〇一六年五月にそういうものを立ち上げて、半年に一回、全閣僚が集まって会合をやっております。

第二回の会合では、政府のSDGsを進めるに当たっての全体的な指針を示すSDGs実施指針というのを定めましたし、三回目以降は、例えば「SDGsというものがあることはわかった、それを進めることが重要であることもわかった、じゃ具体的に何をすればいいですか」という質問が当然来るわけです。なので、それはこうだという解は必ずしもないのですが、例えば政府としては、こういうものはなかなかいいのではないかと、このことを示すために、ジャパンSDGsアワードを設立しました。

第四回目以降は、より具体的になってきて、SDGsアクションプランという、全省庁のSDGsに資する取り組みをここで取りまとめたアクションプランというものををつくるようになっていくというわけです。

それから、第五回会合、これはSDGs未来都市といまして、これは自治体版です。地方自治体でしっかりとSDGsを進めていっていただいているところを認定して、それを後押しするというものです。こういったものをやっているということになります。

ちなみに、SDGsは当然政府だけで進めるものではないので、このSDGs本部会合

たところによると、それこそ全国色々なところからお越しいただいているというふう聞いております。皆さんのご出身の都道府県の中でも選ばれたところがあるかと思えますけれども、過去二回やっております、これは外務省というよりも、内閣府地方創生事務局の方でやっております。SDGsをしっかりと推進している自治体を認定し、大体毎年三十都市ぐらい認定していますが、そのうちの十都市はSDGsモデル都市としまして、内閣府の方から財政的な支援もあるということ、そういうインセンティブもあって、各自治体でも頑張っております。

特に、神奈川県は非常に熱心でございまして、第一回目の未来都市の中でも、神奈川県、横浜市、鎌倉市、十個しかないモデル都市の中でも三つを神奈川県が占めている。今年も、小田原市、川崎

の前には必ずSDGs推進円卓会議というものを設けて、この中の構成員は、民間企業の方々、投資家の方々、国際機関の方々、あるいはNPO、NGOの方々、色々な方に有識者として御参加いただいております。この中で意見を出していただいて、その意見を極力、なかなかすべてというわけにはいきませんが、施策の中に反映をすべく努力をしているということになります。

次に、今の拡大版SDGsアクションプラン、つまり、現行のアクションプランに何が書かれているかというところですが、大きく三つの柱を建てております。

一つは、「SDGsと運動する『Society's 0』の推進」、要するに「ビジネスとイノベーションを通じて社会課題を解決していきましょう」ということです。日本がまさに得意とするビジネス、それからイノベーション、こういったものをしっかりと活用して社会課題を解決していく、それを政府として後押ししていくというのが一本目の柱でございます。

二本目が、「SDGsを原動力とした地方創生、強靱かつ環境に優しい魅力的なまちづくり」ということです。後ほど御説明いたしますSDGs未来都市もそうですし、それから、G20、一応首脳会合は終わってしまいましたが、その前に色々なところで、予備会合に色々な大臣会合が開かれました。外務大臣会合はまだなんですけれども、これも十一月に名古屋で開かれるということ。色々な地方の都市で、こういう関連の行事を開いてきましたので、そういうところをハブにして、このSDGsをしっかりとアピールしていくということも含めて、地方創生といった柱を建てていたり、最近、プラスチックの話とか、気候変動問題、地球温暖化の影響等も言われますけれども、災害が激甚化しているということもございまして、より強靱なまちづくりというのをしつ

市が新たに未来都市に選ばれるということで、神奈川県が突出して頑張っております。全国津々浦々、北は北海道から南は沖縄に至るまで、色々なところで認定されておりますので、地元自治体で、どういったところが認定されているのか、あるいは認定されていないのかということも、ぜひ御参考までに知っていただければなというふうに思っております。

それから、ジャパンSDGsアワードですが、今回を絶賛公募中でございます。過去二回やっております、先ほど申し上げたとおり、SDGsを推進していくことが重要だということはおわかりかと思います。実際のところ、そういうものを「見える化」する意味を込め

かり推し進めていこう。さらに、それを世界にも共有していこうというのが二本目の柱でございます。

三本目の柱は、どちらかというと、より外務省的ですが、二〇三〇年を見据えた中で、やはり若い世代の方々、それから女性のエンパワーメントというのは必須であろうということで、色々な施策を通じて、国内外で次世代それから女性のエンパワーメントを進めていこうということになります。

こういう三本柱の中で、色々な施策、もし御心があれば、インターネットにも載せておりますので、ダウンロードしていただければと思います。いろいろな施策をとりまわっておりますので、あ興味、辞書的に、政府としてどういうことをやっているんだらうという御関心がある方は後ほどこのSDGsアクションプランというもので検索していただければと思っております。

先日G20の大坂サミットでは、詳しくは話しませんが、先日も、まさにSDGsの推進という大前提のもと、質の高いインフラ、防災、海洋プラスチックごみの話であったり、気候変動の話であったり、女性、保険、教育というものについて、やはり世界でどういうことをやっていくべきか、それから、日本として、どういうことをやっていくのかということを議論し、アピールをしました。

そして、今日まさに、先ほど申し上げたTICADでも、アフリカの開発、発展なくしてSDGsの達成なしなんです。なので、アフリカの開発、発展をどういうふう国際社会として支援をし、日本として支援をしていくか。それは、最終的にはSDGsの達成ということにもつながっていくわけですので、こういうところでも日本政府としてしっかりとやっているということになります。SDGs未来都市なんですけれども、今日何っ

て、政府として表彰しているものがございます。このアワードを受賞しますと、大体十二月ごろ、年末にやっておりますけれども、総理官邸で総理あるいは大臣から表彰されるというものでございます。

SDGsの認知度は、全国で大分上がってきたとはいえ、電通さんの調査によると、今年の調査で一六%から二〇%程度というふうにならなっております。企業はもうちょっと高いんじゃないかと思えます。役員レベルには相当浸透してきていますが、現場レベルにはなかなかまだ浸透してきていない。あるいは、企業の骨格となる経営の中心にはまだまだ及んでいないということがいわれております。

ただ、その中で色々な企業がSDGsに取り組んでおられますが我々としては、特に中小企業の中で推進をしていきたいと考えております。その一つの大きな施策として、今日おられるメンバーの中にも日本青年会議所さんのメンバーがおられるんじゃないかと思えます。外務省は、海外のネットワークは持っていますけれども、国内のネットワーク、拠点というのを持っておりません。なので、これをどういうふうに進進していくかという中で、日本青年会議所（JC）さんは、今年の施策の一丁目一番地としてSDGsの推進というのを掲げておられますので、その中で、外務省として、正式にタイアップをしました。日本青年会議所さんは、全国に拠点があるだけでなく、中小企業の経営者の方が多いですので、そういうところでタイアップをして進めております。

今日、企業だけじゃなくて、こういう神道とか宗教界、色々なところでJCさんがメンバーとしておられるんだということを再認識し、そういう観点でもタイアップしてよかったなというふうに思っています。

ほかにも色々な地方公共団体においても、県の

中心の施策にSDGsを埋め込んでいく動きもあります。例えば、北九州市は、過去の古い公害の経験があるわけですが、その経験を活かして環境分野での国際協力を推進するなど、地域の特性を生かした取り組みをSDGsを通じてやる。それから、地方における産官学の連携を進めていくとか、地方の中でも少しずつ盛り上がりを見えています。

それから、市民社会、次世代のところなんですけれども、一つ申し上げたいのは、SDGsは来年度から学習指導要領の中で本格的に実施されるようになっています。これにより、小学校から、来年度から順次なんですけれども、学校で教えられるようになります。もちろん、生徒一人一人によつ



て理解の差はあるとは思いますが、少なくとも学校でSDGsについて学んだ生徒が、今後、層になって社会に出てくるということだと思います。今後は、SDGsの認知度も大幅に上がると思いますが、そういった意識を持った若者たちが社会に出てくるわけですから、そういう中において、大人、とりわけ採用等を担当する企業あるいは大学、そういったところがSDGsを知らないというのは今後は済まされないといいことなんだろうというふうに思っております。

そういった中で、堅い話ばかりやっていてもなかなかSDGsが一般には広まらないので、我々も色々な方々と連携をして、柔らかく、お茶の間にもSDGsを届けようということ、日々奮闘しております。ピコ太郎さんをお願いして宣伝してもらったり、最近ですと、ハロキティ、サンリオさんと協力をして動画をつくったりということもしております。

そのほか、ミス日本とか、女性誌等々含めたファッション業界、鉄道、航空業界、こういう運輸業界も最近非常に盛り上がりがあります。それから、エンタメ業界や宗教界もそうですし、最近スポーツの世界でも、SDGsを掲げたSDGsマッチ等、サッカーや野球でも広まっております。

その中で、政府としても、SDGsのツイッターというものを運用して今はフォロワーが一万六千人以上になりましたので、まだまだではあります。盛り上がりは日々感じております。よかつたら後ほど外務省×SDGsのツイッターもフォローいただければありがたいなというふうに思っております。

そういう中で、今後どういうことを政府としてやっていくかということです。SDGsアクションプラン、先ほど御説明した政府の施策を取りまとめたものですが、これに基づいて、今後もしっかり国内外でSDGsの推進を図っていく。

今日始まっているTICAD、それから、来月開催されるSDGsの首脳会合、さらに来年には東京オリンピック・パラリンピックがある。そういう重要な機会が目白押しですので、そういう機会をとらえて、しっかりとSDGsを発信していきたいというふうに思っております。御清聴ありがとうございました。(了)



# 令和元年度 神道青年全国協議会 活動報告



## 令和元年・二年度 役員

役職	氏名	奉務神社/職名
会長	金田 祐季	宇倍神社/禰宜
副会長	東角井真臣	氷川神社/権宮司
副会長	西高辻信宏	太宰府天満宮/宮司
副会長	猪熊 兼高	白鳥神社/禰宜
理事	大鳥居良人	亀戸天神社/禰宜
理事	瀬尾 直史	東照宮/禰宜
理事	芦原 大記	旭川神社/禰宜
理事	林 重陽	谷地八幡宮/権禰宜
理事	河村 忠伸	秋葉山本宮秋葉神社/権宮司
理事	河崎 智洋	大野湊神社/禰宜
理事	上野 潤	熊野速玉大社/権宮司
理事	吉川 泰正	福山八幡宮/禰宜
理事	田窪 大朗	吹揚神社/禰宜
理事	外山 貴寛	櫻井神社/禰宜
理事	高島 俊亮	天祖神社/権禰宜
理事	北方 宏和	札幌諏訪神社/禰宜
理事	吉田 芳樹	春日神社/禰宜
理事	宇治土公祐高	猿田彦神社/権禰宜
理事	長谷川宏幸	高瀬神社/禰宜
理事	上村 秀嗣	須佐男神社/宮司
理事	湯浅 迪彦	中山神社/権禰宜
理事	種子田 幸	新田神社/権禰宜
本庁派遣理事	平尾 朝典	神社本庁/主事
兼総務局長	小佐野正崇	富士山小御嶽神社/禰宜
事業委員長	本澤 雅臣	宇佐神社/禰宜
神宮啓発委員長	篠 泰比呂	氷川神社/禰宜
周年委員長	千秋 季嗣	神宮/神宮宮掌
参与	浅野 将伯	手力雄神社/禰宜
監事	小林 慶直	白山神社/禰宜
監事	藤原 大修	盛岡八幡宮/権禰宜
総務局長	古谷 欣栄	神社本庁/録事
総務局長	中山 岳洋	神社本庁/録事
総務局長	山森 信人	神社本庁/録事

令和元年度  
活動報告

平成三十一年

四月五日  
監査会 於 神社本庁

四月十六日  
第一回役員会 於 神社本庁

四月十七日  
創立七十周年記念大会 於 明治記念館



四月十八日  
第七十一回定例総会 於 神社本庁



四月十八日  
全国会長会就任奉告参拜 於 明治神宮



# 令和元年度 活動報告

令和元年

五月二十三日

全日本仏教青年会意見交換会  
於 日本橋「伊勢亭」

五月二十九・三十日

役員就任並びに

創立七十周年奉告参拝

○神宮参拝

○熱田神宮参拝



五月三十日

第二回役員会

於 熱田神宮会館

六月二十日

第三回役員会

於 本社本庁



六月三十日

『神青協通信』第一三九号発行

六月二十日

第一回役員勉強会 於 本社本庁

「神社セキユリティの基礎」

講師 セコム株式会社

桜井 俊之 先生



七月五〜九日

北方四島交流事業

七月十七日

第四回役員会 於 本社本庁

七月十七日

第二回役員勉強会 於 本社本庁

「Well Being」神道の可能性」

講師 株式会社 Campus for H

共同創業者 石川 善樹 先生

八月六日

神宮啓発委員会の為の神宮研修会

於 神宮



令和元年度  
活動報告

八月二十七日  
第五回役員会 於 神社本庁



八月二十七日、二十八日  
夏期セミナー 於 神社本庁  
「新しい御代の教化活動」

【第一講】「践祚大嘗祭の基礎知識」  
講師 國學院大學 研究開発推進センター 助教 高野 裕基 先生

【第二講】「言論界における左派・右派の現状とその対立を超えてゆく方法」  
講師 政治学者・株式会社 山猫総合研究所 代表取締役 三浦 増麗 先生

【第三講】「SDGsの概要と政府の取組」  
講師 外務省国際協力局 地球規模課題 総括課長 春田 博己 先生



八月三十日  
令和の天下大赦  
【正午、全国一斉斎行】



九月十一日  
硫黄島訪島並びに慰霊事業に協力  
於 硫黄島



令和元年度  
活動報告

十月二日

第六回役員会

於 石垣離島ターミナル会議室

十月三日

御大典奉祝創立七十周年記念事業

「国家平安祈願祭」

於 波照間島 聖寿奉祝の碑



十一月九日

天皇陛下御即位をお祝ひする国民祭典に協力

第一部「奉祝まつり」

於 皇居外苑・内堀通り

第二部「祝賀式典」

於 皇居前広場

十一月二十一日

第七回役員会

於 神社本庁

十一月二十一日

顧問会

於 明治記念館

十一月二十一日

台風十九号被災地区へ見舞金贈呈

十二月二十九日

中間監査会

於 神社本庁

令和二年

一月一日

『神青協通信』第一四〇号発行



# 令和元年度 活動報告

二月一(三十一)日  
第二回 インスタグラム  
神社フォトコンテスト  
「わたしと神社」



二月二十八日  
第八回役員会  
於 日本文化興隆財団会議室

二月二十八日  
第三回役員勉強会  
於 日本文化興隆財団会議室  
「キャッシュレス社会と神社」  
講師 一般社団法人キャッシュレス  
推進協議会事務局長・常務理事  
福田 好郎 先生



二月二十九日  
建国記念の日認知度向上キャンペーン  
表彰委員会 於 神社本庁

二月二十九日  
第九回役員会 於 神社本庁

二月十九日  
第四回役員勉強会 於 神社本庁  
【第一講】「日本とモンゴルについて」  
講師 外務省 アジア大洋州局  
中国・モンゴル第一課  
主査 森井 怜 先生  
【第二講】「秋草俊少将の生涯」  
陸軍中野学校とシベリア抑留」  
講師 中野二誠公理事  
池田 真之 先生

三月三十一日  
会報『神青協』第一三〇号発行





授与品・記念品御奉製

株式会社 長谷川製作所

代表取締役 長谷川義貢

HASEGAWA  
creation with warmth



〒340-0025 埼玉県草加市谷塚仲町466-1

TEL: 048-921-1221 / FAX: 048-921-1515

全国各神社御用達

神符・守札・木札・錦守・御守矢・交通安全守  
集印帳・御守り袋・絵馬・その他各種御札・御守  
奉書紙・書道半紙・耐水奉書・他各種和紙謹製

創業江戸時代後期 真心で奉仕する

い 今村紙業株式会社

代表取締役 今村和弘

〒409-3601 山梨県西八代郡市川三郷町市川大門6237-11

電話 055 (272) 0514

FAX 055 (272) 8818

奉じる心を大切に 全国社寺 授与品 調度品 総合奉産

金欄錦守・絵馬・木札・紙札・記念品・製造販売

京都・吉祥院

東和奉産株式会社



本社

〒601-8348

京都市南区吉祥院観音堂町7

Tel(075) 691-3000

Fax(075) 691-3300

Email info@towahosan.jp

HP <http://www.towahosan.jp/>

北関東営業所

〒319-0323

茨城県水戸市鯉淵町

Tel(029) 297-8077

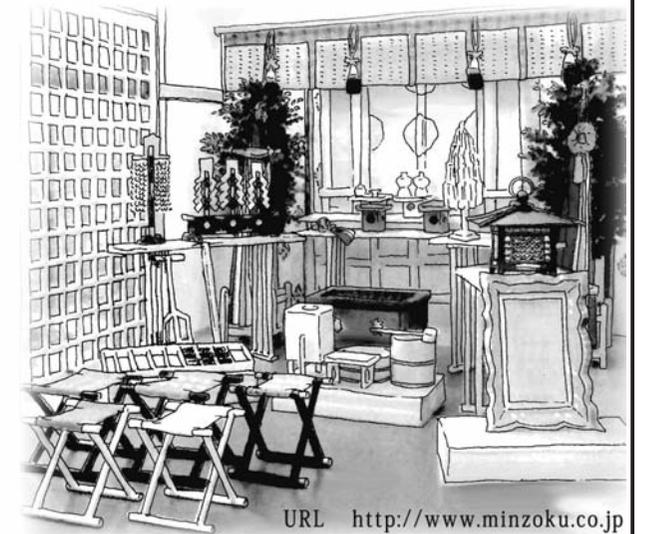
Fax(029) 297-8076

神具 祭具 授与品 御装束 その他

株式会社  
民俗工芸

〒857-1162 長崎県佐世保市卸本町18-1

TEL0956-34-5500 FAX0956-34-5511



URL <http://www.minzoku.co.jp>

神社本庁 各神社 御用達

- 交通安全御守護 ● 御社頭授与品
- 開運招福鈴 ● 御参拝記念品

立案調製致します

◆技術と信用◆ 鈴木徽章工芸株式会社



〒113-0032 東京都文京区弥生 2-12-1

TEL. 03-3814-1811(代) FAX. 03-3818-8332

E-mail: info@suzuki-kisho.co.jp

<http://www.suzuki-kisho.co.jp>



創業百年 信頼のブランド

麻・鈴緒・鰐口紐・化繊注連縄製造

有限会社 モミヂヤ

〒328-0042 栃木市沼和田町 12-14

フリーダイヤル 0120-22-1312

FAX 0282-22-1387

<https://momidiya.com/>

## 神社授与品奉製

御神矢・絵馬・招福熊手・木札・メタル守  
御神笛・ステッカー・御守袋・弓矢・御守各種



信頼、真心

有限会社

# 福岡奉製

事務所 〒834-0081 福岡県八女市立花町山崎 1961  
TEL (0943) 23-3412 FAX (0943) 24-4483  
E-mail fukuoka@mx3.et.tiki.ne.jp

八女千歳あめ本舗 工場 〒834-0082 福岡県八女市立花町兼松 208-3  
TEL (0943) 37-1117 FAX (0943) 37-1118

## 御社頭授与品記念品奉製

金襴錦守 錦袋 木札  
金属製守 紙札 ステッカー  
樹脂製守 熊手 絵馬  
その他各種授与品記念品

# 株式会社 三愛工芸

〒311-4143 茨城県水戸市大塚町字谷津1761番16 電話 水戸 (029) 251-2051(代)  
FAX 水戸 (029) 253-5844 代表メールアドレス/sanaikougei@movie.ocn.ne.jp

御社寺ならではの御守を  
オーダーメイドで奉製いたします  
色・柄・形などお気軽に御相談ください

祈りのかたち  
京の伝統と  
真心を込めて



京都奉製株式会社  
京都本社  
東京営業所 / 東海営業所  
仙台営業所 / 福岡営業所  
☎ 0120-164124  
(イロヨイニシキ)  
<http://www.omamori.co.jp>

誠実と真心で奉仕する



## 御守・授与品・参拝記念品奉製 天然石厄除開運腕輪守・天然石みくじ

御一報次第カタログ御送り致します。

# グリーン産商株式会社

〒547-0033 大阪市平野区平野西4丁目8番29号  
TEL (06) 6702-6009(代表) FAX 0120-34-2996 [sansho@green3.co.jp](mailto:sansho@green3.co.jp)

神社本庁 御用達  
國學院大學 推薦店  
明治神宮 指定店

誠実奉仕・信用第一

# 瀬戸装束店

〒164-0001 東京都中野区中野3丁目10番5号  
電話：03-3381-4927 / FAX03-3381-4927  
JR・地下鉄東西線 中野駅 南口下車 徒歩7分



ゆとりとやすらぎの宿  
**神宮会館**  
伊勢神宮崇敬会

—ご宿泊に関するお問い合わせ—  
〒516-0025  
伊勢市宇治中之切町152  
TEL.0596-22-0001/FAX.0596-22-1517

インスタグラム

好評配信中!



**神社で人気のアイテム カメラスタンド (スマホ対応)**

今、多くの神社でご採用いただいています！

- ・訪れた人々に撮影ポイントをお知らせできます。
- ・撮影者不要なので、全員が写真に納まります。
- ・他人に頼まなくて良いので気兼ねなく撮影できます。
- ・インバウンドに大人気 (行列が出来ます。)
- ・内外の SNS でも紹介されています！！

旗ポール国内シェア No.1

大型幟ポールもございます。 株式会社 **サンポール**

〒105-0004 東京都港区新橋2-2-9 KDX新橋ビル8F  
TEL(03)3591-8501 FAX(03)3591-8561  
担当:営業企画部 脇坂 k-wakisaka@sunpole.co.jp

工事不要の据置式もあります。

カタログ請求  
問合せ先

●神社の火災保険 無料鑑定実施中

神社賠償責任保険、神社の火災保険、お祭り傷害保険  
など神社に必要な損害保険・生命保険を取扱しております。

神社の保険専門

**村上代理店**

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-5-10  
TEL:03-6447-5455 FAX:03-6447-5456

神社の保険  <http://www.murakami-hoken.co.jp/>

日本の文化財を 確かにつなぐ

漆塗・彩色・鍍金具・各種工事

**株式会社 小西美術工芸社**

東京本社 日光支社  
東京都港区芝 4-4-5 三田 KM ビル 3F 栃木県日光市所野 2829-1  
電話 03-5765-1481 / FAX 03-3455-9250 電話 0288-54-1198 / FAX 0288-54-1196

**創業百有余年**  
伝統の技術を活かした授与品作り

全国の神社でご利用頂いております

御朱印帳・木札・紙札・熊手・金欄御守袋  
守護矢・交通安全守・ステッカー・その他各種授与品

ご一報いただければカタログ送付致します

株式会社 **井丸井紙店** TEL 055-272-0136  
〒409-3601 山梨県西八代郡市川三郷町市川大門763 FAX 055-272-3966

創業 明治以前

各種御神符・守札 その他授与品全般

湊御神符奉製所

**株式会社 湊**

伊勢市神宮会館前 (〒516-0025)  
TEL(0596)22-2442(代表) FAX(0596)28-8445 info@ise-minato.co.jp

神棚セットの事なら ...

**クボデラ** 株式会社

〒165-0025  
東京都中野区沼袋4-27-15  
TEL 03-3386-1153  
FAX 03-3386-1165  
Mail: info@kubodera.jp  
URL: http://corp.kubodera.jp

なぜ成功する人は  
神棚と神社を  
大切にしているのか？

和田裕美さん推薦  
あの経営者も実践している!

榊・玉串

新鮮な状態でお届けする自慢の品質です

日本文化興隆財団事業品のご案内  
**神話絵本シリーズ**



日本文化興隆財団では、日本神話の啓発活動の一環で、子供向けの神話絵本を刊行しております。絵本・造形作家のたたらなおき氏の色彩豊かで独特のタッチで描く神話は、幼少でも面白おかしく、神話の世界観に触れることができる内容です。

また、原画が連続した絵巻物になっている特徴を活かし、巻末のQRコードをスマートフォンなどで読み取ると、原画の神話絵巻の動画を朗読付きで無料で楽しむことができます。

<p>国生みの話</p> <p>A5判 / カラー / 16頁 200円+税・送料実費</p>	<p>うみさち やまさち</p> <p>A5判 / カラー / 18頁 200円+税・送料実費</p>	<p>神武天皇</p> <p>A5判 / カラー / 16頁 200円+税・送料実費</p>	<p>アマテラスと スサノオ</p> <p>A5判 / カラー / 16頁 200円+税・送料実費</p>	<p>大国主の物語</p> <p>A5判 / カラー / 20頁 200円+税・送料実費</p>
---	---	--	---	--

ご注文は、インターネット・電話・ファックスで承ります。

■インターネットの場合 お支払いはクレジットカード・コンビニ決済が選択できます。

<http://www.nihonbunka.or.jp/>

ご利用いただけるクレジットカード  
 VISA・MasterCard・JCB・AMEX・DINERS

ご利用いただけるコンビニ

※コンビニの場合は、一律200円(税別)の手数料がかかります。



■電話・ファックスの場合

電話 03-5775-1145 受付時間 9時~18時 ※土日祝祭日、年末年始を除く

FAX 03-3475-5805 注文内容をご記入の上送信してください。(24時間対応)

■数量、配送地域によって送料は変わりますのでお問い合わせください。ホームページからのご注文の場合は、送料が自動計算され事前に確認することができます。

公益財団法人日本文化興隆財団 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-5-10

特殊鋼製 **鳥居**

安全性抜群・自信をもっておすすめ  
 (神戸震災地で耐震性実証済)

**有限会社 宮田鉄工所**

《本社》 〒932-0121 富山県小矢部市矢水町665-1 ☎(0766)54-6250 (代)  
 FAX(0766)54-6249

《石川工場》 〒929-0426 石川県河北郡津幡町竹橋×85 ☎(076)288-0326  
 FAX(076)288-0327

ホームページ <http://miyata-tekkousyo.co.jp/>

メールアドレス [miyata-tekkousyo@nifty.com](mailto:miyata-tekkousyo@nifty.com)



A series of 20 vertical dotted lines spaced evenly across the page, intended for handwriting practice.

■会報『神青協』第三〇号

令和元年度

神道青年全国協議会 広報委員会

委員長	湯浅 迪彦
副委員長	吉田 芳樹
委員	長谷川宏幸
委員	瀬尾 直史
担当副会長	猪熊 兼高
担当監事	浅野 将伯



神道青年全国協議会

東京都渋谷区代々木1丁目1番2号